上田市文化財調査報告書第82集

常入遺跡群

下町田遺跡 II

信州大学遺伝子実験施設建設に係る常入遺跡群下町田遺跡第2次発掘調査報告書

2000.3

信州大学
上田市
上田市教育委員会

上田市文化財調査報告書第82集

常入遺跡群

下町田遺跡 II

信州大学遺伝子実験施設建設に係る常入遺跡群下町田遺跡第2次発掘調査報告書

2000.3

信州大学
上田市
上田市教育委員会

序

本年度、上田市は市制施行８０周年を迎えました。

８０年前の大正８年（1919年）は蚕糸業が空前の活況を迎えていました。蚕糸業は近代日本の基幹産業であり、上田地方はこの一大中心地として知られていました。またこの頃、上田は教育・知識水準の高まりが頂点に達し、全国的に知られた文化都市でもありました。

蚕糸業が飛躍的に発展した江戸時代末期に、物資と人々の交流が格段に盛んになったことによりもたらされた広い視野と知識は、大正時代になると、豊かな経済力を背景に大きく実を結びました。上田で生まれた文化運動は県内外の各地に広がり、日本の教育、文化に大きな影響を与えました。

例えば、市制施行の前年の大正７年（1918年）、山本鼎が自由画運動をおこし、その翌年農民美術練習所を開所しました。個性尊重の芸術教育は、わが上田から日本中に広がりました。さらに、大正10年（1921年）信濃自由大学（のち上田自由大学）が横町の神職合議所を会場に設立されました。これは、地方の一般の人々が仕事に就きながら自由に大学教育を受ける機会を得られるよう、上田の青年達が自主的に企画し運営した教育機関です。

これらは近代上田の基礎作りに功績があっただけでなく、全国的にも注目される業績を残しており、ひいては世界史的にみても先進的な理念に基づいた運動であったといえるのです。

８０年後の今日、２１世紀を目前にしてわが国の社会は様々な分野で国際化に向かっています。このような中にあって、私たち教育に携わる者は、ある重大な使命と希望を抱いております。自国や故郷の自然や文化を深く理解し誇りを持って語ることのできる人を一人でも多く育てたい、このように思っているのです。

埋蔵文化財は過去の人々の生活を知ることのできる貴重な情報源であり、私たちの郷土の歴史を解き明かすかけがえのない財産です。この生きた教材を生涯学習の中で活用していくことが、現代に生きる私たちの生活を豊かにするものと確信しております。

このたび、信州大学繊維学部において、遺伝子実験施設を建設するに際し、建設地に所在する「下町田遺跡」を発掘調査し、その結果をここに御報告します。いうまでもなく、繊維学部は明治44年（1911年）に設立されて以来、日本の発展に大きく貢献してきました。同時に、先にも申し上げたように近代上田の文化・産業の繁栄の象徴というべきものであります。このようなところで、文化財の発掘調査を行うことに意味深いものを感ぜずにはおれません。大学関係者ならびに施工者各位に文化財保護の理念を深く御理解いただき、調査は順調に進捗し、弥生時代後期から古墳時代初頭に比定される良好な集落遺跡の一部が確認されました。衷心から関係各位に御礼申し上げ、序といたします。

平成12年3月

上田市教育委員会教育長　我妻忠夫

例　言

1　本書は、長野県上田市常田三丁目１５番１号信州大学繊維学部構内における、信州大学遺伝子実験施設の建設に伴う、常入遺跡群下町田遺跡の発掘調査報告書である。

2　調査は、信州大学の委託に基づき、上田市（上田市教育委員会事務局文化課）が実施した。

3　現地での調査は、平成１１年４月８日から６月１０日まで実施し、整理作業・報告書作成作業は、平成１２年３月まで実施した。

4　遺構の実測は、須藤千恵子、井沢光子、市村みつ子、大井敬子、山本万里が行った他、空中写真測量、図化を株式会社協同測量に委託して行った。また、遺構実測の基準となる国家座標によるグリッドの杭打ち、基準点、水準点の設置も同社に委託して実施した。

5　遺物の整理及び報告書の作成作業は、久保田敦子の指示のもとに市村みつ子、井沢光子、大井敬子、山本万里、丸田由紀子が行った。また、遺物の実測の一部は、小川忠博に写真撮影を委託して、原寸大に焼き付けたものを基礎に図化、トレースした。

6　遺構の写真は、中沢徳士が撮影した。航空写真は、株式会社協同測量に委託して撮影した。

7　遺物の写真の一部は、小川忠博に委託したほか、久保田敦子が撮影した。

8　本調査にかかわる資料は上田市教育委員会が保管している。

10　本調査にあたり多くの方々や諸機関の御指導と御協力をいただいた。また、五十嵐幹雄先生、山岸猪久馬先生、中谷進先生、川口剛先生には学術上の御教示をいただいた。心より感謝する次第である。

凡　例

遺構

1　遺構は、次のように略号で表した。また、番号は1996年の調査からの連番とした。
　竪穴住居址（ＳＢ－　）　ピット（Ｐ－　）　竪穴住居址内の柱穴（Ｐ　）土坑（ＳＫ－　）

2　遺構の実測図については、次のとおりである。

（1）　国家座標の北を頁の上とした。例外の場合は、方位を示した。

（2）　原図１／20、縮小１／３とした。詳細な図が必要な場合は、原図１／10、縮小１／３とした。

（3）　縮尺は、図版に図で表している。

（4）　標高の単位はｍである。

（5）　網点は、焼土を表す。

3　遺構の記述については次のとおりである。

（1）　長さの単位は、ｍである。

（2）　主軸方位は国家座標による北と住居址の軸線との角度で示した。

（3）　竪穴住居址の壁高、土坑、ピットの深さは、検出面からの深さを示した。ただし、住居址内の周溝およびピットの深さは住居址の床面からに深さを示した。

4　土層の色調は、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修1990）を用いた。

4　遺構の写真の縮尺は任意である。

遺物

1　遺物実測図については、次のとおりである。

（1）　原図１／１、縮小１／３である。

（2）　網点は、赤色塗彩を施した範囲を示す。

2　遺物観察表については、次のとおりである。

（1）　法量の単位はcm、ｇである。

（2）　「胎」を胎土、「焼」を焼成、「色」を色調とした。

（3）　（　）内の数値は、土器については推定値、石器については残存値を示す。

（4）　土器の色調は上記の『新版標準土色帖』を用いた。

3　遺物の写真の縮尺は任意である。

目　次

序

例言

凡例

目次

第一章　調査の経緯…… 1

第1節　調査に至る経過…… 1

第2節　調査の体制…… 1

第3節　調査日誌…… 2

第4節　調査の方法…… 3

第二章　遺跡の環境…… 5

第1節　自然的環境…… 5

第2節　歴史的環境…… 7

第3節　遺跡の層序……12

第三章　調査の結果……13

第1節　調査の概要……15

第2節　遺構と遺物……15

写真図版

第一章　調査の経緯

第１節　調査に至る経過

平成１０年１１月、信州大学（以下「大学」という。）は、平成１１年度において繊維学部敷地内に遺伝子実験施設を建設するにあたり、埋蔵文化財の有無についての照会を、上田市教育委員会事務局（以下「事務局」という。）に行った。

照会地は、繊維学部の敷地を中心に広がる「常入遺跡群」の範囲にあり、この遺跡群では過去に、２回の発掘調査が行われているほか、表採遺物についての論攷も行われている。

昭和２５年（1950）、五十嵐幹雄氏は、『信州大学繊維学部保存の彌生式土器』（「信濃」第２巻１２号　信濃史学会 1950 年）の中で、「…上田市には彌生式から祝部式にかけての大きな遺跡が三箇処あるが、当遺跡はその一であって…」と評価した。また、昭和４１年（1966）には、五十嵐氏を団長として小林幹雄氏、川上元氏らによって繊維学部内の桑園で学術発掘調査を行い、古墳時代中期から後期の住居址と土師器を発掘した。さらに、平成８年（1996）には、大学院棟の建設工事に伴う発掘調査が行われ、１，０００㎡の調査範囲から、弥生時代後期の住居址１０件とこれに伴う遺物が良好な状態で発掘されている。（「下町田遺跡」上田市教育委員会 1997 年）

これらの経過から、常入遺跡群は、弥生時代後期から古墳時代にかけての上田地域における標式的な遺跡と評価され、特に遺跡群内の下町田遺跡については、注目されたのである。

事務局ではこれらの経過もふまえ、遺跡の存在は確実なものの、調査に先立ってその性格を把握するため、平成１０年１２月１１日に試掘調査を実施した。この結果、弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての遺構と遺物が濃密に検出され、大学と再度遺跡の保護協議を行い、工事に先立ち遺跡の発掘調査を行い、遺跡の記録保存をはかることとした。

第２節　調査の体制

常田遺跡群下町田遺跡第２次発掘調査に係る体制は、以下のとおりである。調査事務は上田市教育委員会事務局文化課が行った。

教育長　我妻忠夫
教育次長　内藤正則
文化課長　川上元
文化財係長　細川修

主　　査　平林祐蔵（担当者）
　　中沢徳士（担当者）
　　塩崎幸夫
　　久保田敦子（担当者）
主　　事　西沢和浩（平成11年9月30日退任）
　　清水　彰
　　小笠原　正
嘱　　託　須齊千恵子（担当者）

調査作業員（順不同、敬称略）

石巻賢忠、小林哲三、小柳治雄、佐野和男、春原親樹、高桑豊治、中島昭吾、中村清春、名川真由美、西沢勝、東山唯夫、東山恒子、細尾好子、満木重雄、村田宣子、横沢生枝、横沢昇、井沢光子、市村みつ子、大井敬子、丸田由紀子、山本万里

第3節　調査日誌（抄）

平成11年

4月8日　調査地区設定。表土剥着手。

4月9日　表土剥と併せて、遺構検出作業始める。

4月12日　本日より調査作業員を投入して作業を行う。朝、注意事項や安全確認、勤務形態等を説明する。包含層から多量に弥生土器が出土する。

4月13日　表土剥終了する。引き続き遺構検出作業を行う。

4月14日　本日から(株)共同測量社が基準点測量等の作業を開始する。

4月15日　弥生土器片が多数出土する。

4月16日　農業用のごみ穴跡などの撹乱が激しく、遺構検出の確認に手間取る。

4月19日　引き続き遺構検出作業を行う。

4月20日　調査区の東南部の農業用ごみ穴を掘り上げる。

4月21日　弥生時代の竪穴住居址が確認される。

4月22日　弥生時代後期の竪穴住居址数カ所確認する。

4月23日　撹乱が激しく遺構の確認が困難である。

4月26日　本日より遺構掘り上げ作業に着手する。

4月28日　第25号住居址の床面が遺構検出面から1mの深さで確認される。予想より深くて驚く。明日から、ゴールデンウィークの連休になるため、シート等をかぶせ遺跡の保護を行う。

5月6日　第24号住居址ほぼ完掘する。
5月10日　本日より、調査作業員を増員する。
5月11日　遺構の切り合いが激しく、苦労する。
5月12日　暑い日である。
5月13日　調査作業員を増員する。
5月14日　調査作業員を増員する。排土置き場を整理する。
5月17日　調査作業員を増員する。風があり、作業しやすい日であった。
5月25日　信州大学の学生三人が調査に参加する。
5月26日　山岸猪久馬先生来訪。
6月1日　暑い日である。
6月4日　昨日より梅雨に入ると発表あり。遺構掘り上げ及び調査範囲内の清掃を行う。
6月7日　現地説明会を開く。信州大学の学生や先生が訪れる。
6月9日　正午より測量用航空撮影を行う。
6月10日　遺構掘り上げ作業。午後より機材を撤収して現地での調査を終了する。

この後、上田市天神二丁目の埋蔵文化財整理室で遺物の洗浄、注記、接合、図化及び現地調査で得た各種資料の整理並びに報告書の作成作業を行い、平成 12 年3月に報告書を刊行して調査を終了した。

第4節　調査の方法

1　遺跡名

遺跡名は、1977 年に刊行された上田市教育委員会『上田市の原始・古代文化』に記載されている「下町田」とした。従来は、1977 年の長野県教育委員会『長野県市町村遺跡分布地図』及び 1979 年の上田市教育委員会『上田市文化財分布地図』の名称によっていたが、1996 年の第1次調査のときに「下町田」の名称を用いたので引き続きこれを用いた。

2　遺跡略号

遺跡略号として、Ｓｈｉｍｏ－ｍａｃｈｉ－ｄａの「Ｓ Ｍ Ｄ」を付し、第2次調査を示すローマ数字「Ⅱ」を組み合わせて「SMD-Ⅱ」とした。各種の記号や遺物の注記等にこの略号を用いた。

3　座標とグリッドの設定

下町田遺跡第1次発掘調査で用いたものと連続したグリッドを設定し、遺物の取り上げと測量等に

用いた。これは、国家座標に従い、３×３ｍの方眼をはり、方眼の交点に記号を与えたものである。記号は、任意の地点を原点０とし、そこから方向を示すために東・西・南・北にＥ・Ｗ・Ｓ・Ｎを、距離を示すために３ｍを１単位とした１・２・３・４…の数字を与え、この両者の組み合わせによって表した。例えば、原点０から南に 12m、東に 36ｍの地点のグリッドはＳ４Ｅ１２となる。原点０の地点は、国家座標第Ⅷ系のＸ＝43,218.000、Y=－21,096.000 である。

4　調査方法

調査範囲は、試掘調査の結果に基づき、建物の範囲とした。また、調査に際しては、表土の排除はバックホーを用い、その後の遺構検出、遺構掘り上げはすべて人手によった。

5　遺構測量

遺構の平面実測は、上のグリッドを基準に簡易遣り方を用いて行った。更に測量用の空中写真の撮影と図化作業を委託して実施した。

第二章　遺跡の環境

第1節　自然的環境

常入遺跡群下町田遺跡のある上田市は、長野県の東部に位置し、上田盆地を中心に展開している。この地方は、典型的な内陸性の気候で、年間平均降水量が1,000㎜前後ときわめて少ない。このため、湧水地や川筋を中心に開発が進展している。

上田盆地に接して西方に塩田平の盆地があり、これらはともに三角形で、周辺はそれぞれ第三系の基盤に囲まれている。また、両盆地の境界を千曲川が北西に流下していて、常入遺跡群が所在するのはその右岸である。

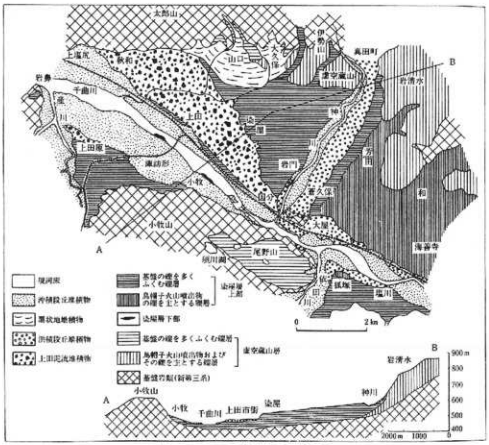
上田盆地の地形は、北方を底辺とする逆三角形を呈し、一辺はほぼ10kmである。北方の基盤は太郎山山地で、南面は急峻な斜面で上田盆地に接している。南西方の基盤は小牧山山地である。東方の高まりは基盤ではなく第四系の烏帽子岳火山となっている。また、盆地の東縁には神川が南西に流下している。

この地域の主な平坦面は、高位から虚空蔵山面、染屋面、上田城面があり、さらに低位には千曲川および神川によって形成された段丘面がある。虚空蔵山面から上田城面までは東方に高く、千曲川に向かって傾斜し、また、北方の太郎山山地からは南方に傾斜している。したがって、現在の上田盆地は上田城を中心とする盆状の地形となっている。また、虚空蔵山面、染屋面は西方に傾斜し、上田城面はほとんど水平である。すなわち古い面ほど勾配が大きい。これは古い面ほど上部が上昇したことを示している。なお、虚空蔵山面、染屋面は虚空蔵山の東方で神川に切られている。

上田盆地付近の地質構造は、基盤の第三系が落ち込み、これを埋めて第四系が堆積している。また、盆地の東方は第四紀の烏帽子岳火山の高まりがある。

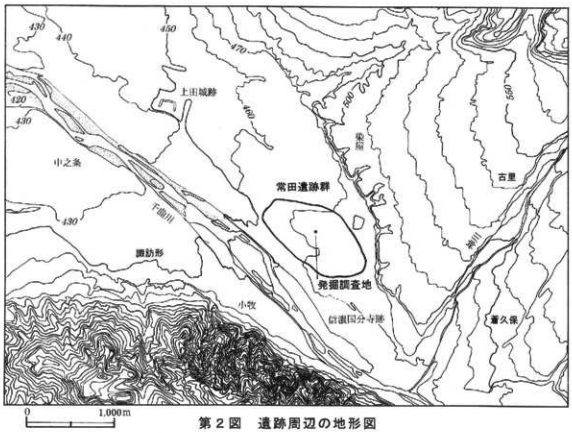
この付近の第三系は中新世の内村層・別所層・青木層及び鮮新世の小川層である。これらのうち、北方の太郎山山地のものは、大部分は内村層で、この山地の東部の伊勢山付近には別所層が分布する。山地東部の伊勢山付近の別所層は、黒色頁岩からなり、小牧山山地の基盤は青木層及び小川層で、北西部に青木層が、また南東部に小川層が分布している。上田盆地の北西部の泉田山塊を形成する基盤は、主に別所層の黒色頁岩であるが、このなかにヒン岩の岩脈が貫入している。上田盆地の地下には別所層及び青木層が分布するものと推定される。これは太郎山の内村層と小牧山の青木層の分布地域の間が上田盆地となっているからである。

平地に分布する第四系は、虚空蔵山層、染屋層、上田泥流堆積物に区分される。虚空蔵山層は、最下位層で時代は更新世中期である。虚空蔵山面の分布地域で、岩清水、虚空蔵山、太郎山の麓の大久保の尾根を構成して分布する。染屋層は、染屋台の平坦面下を構成する地層で、下部層と上部層に区分される。上田泥流堆積物は、千曲川右岸で上田城面を覆う。分布は大部分が上田盆地に限られてい



第１図　上田盆地の地質図

（植村武・山田哲雄編「日本の地質４中部地方Ⅰ」共立出版株式会社）より



第２図　遺跡周辺の地形図

るが、千曲川沿いの上流にも点々と分布し、小諸懐古園裏の崖から更に塩名田塚原の段丘崖まで追跡される。

このような自然的環境の中で下町田遺跡は、上田城面に位置し、地質学では第四系上田泥流堆積物の上面にあたる。これらの地形と地質について以下に更に詳しく述べる。

上田城面は上田盆地の中央部に分布し、千曲川河床と染屋面の間に存在している。上田泥流は千曲川に添って上流に分布するが、広い面を形成するのはここだけである。比高は上田城付近からこの上流にかけて最も大きく約8mから10mであるが、この上流では神川に切られ、下流では秋和付近で小さく1mから2mである。大部分は上田泥流堆積物で、この上位を覆う堆積物はないが、下位には礫層があり、これを不整合に覆っている。

この面を覆う上田泥流堆積物は、火山性泥流堆積物である。火山性泥流堆積物は現在の火山学名は「岩宵なだれ」と呼ばれている。好露頭は上田城の下の崖で、この特徴は千曲川上流の塩名田までずっと同じである。5〜20㎝大の安山岩の角礫がまばらに火山灰のマトリックス中に存在する。安山岩にはいろいろな種類があり、どの種が多いというのではない。火山岩体の大崩壊によって大規模な泥流が発生し、途中の諸種の火山岩を取り込んだと思われる。特に、2〜3m大の巨石岩塊が存在するが、この岩質は崩れそうであるが、崩れないでここまで運ばれてきたということは、この岩塊は流下中にあまり変化を受けなかったのではないかと考えられる。

第2節　歴史的環境

ド町田遺跡は、常入遺跡群に包括される8遺跡の中の一遺跡である。

上田城面の西端と東端、すなわち秋和地区とこの常入地区には、弥生時代から平安時代の遺跡が集中している。中心部には近世上田城の遺構が散見できるが、それ以外の遺跡については、市街地化のためもあり、不明である。

<縄文時代>

太郎山山麓に縄文時代前・中・後期の遺跡が分布する。中でも、太郎山に源を発する黄金沢扇状地扇端にある八幡裏遺跡群の思川遺跡は、上田地方を代表する該期遺跡の一つとして上げられる。思川遺跡は、昭和27年に病棟の改築に伴って五十嵐幹雄氏によって発掘調査が行われた。調査では明確な遺構は確認されなかったものの、中期から後期にかけての土器や石器とともに、ニホンジカやイノシシを中心とする相当量の動物遺存体が出土した。その後平成6年に国立長野病院の建設工事に伴い約8,000㎡が調査された八幡裏遺跡第2次発掘調査では、柄鏡形敷石住居址を含む住居址7軒と土壙、集石遺構などが検出された。中でも土壙から検出された屈葬人骨は、遺存状態もよく、貴重な調査例となった。出土した遺物は、中期の加曾利E式、後期の称名寺式、堀之内式、加曾利B式などの土器

第３図　周辺遺跡分布図　（1:20,000）

番号	遺跡名	所在地	時代	備　考
44	熱泰寺遺跡	住吉字熱泰寺	縄文	
52	染屋台条理遺跡	上野・住吉・古里・国分	平安	1985年から数回にわたる調査
53	向田古墳	古里字向田	古墳	半壊
54	国分遺跡群	国分字古城・堂浦・屋敷	弥生～平安	
56	国分寺周辺遺跡群	国分字仁王堂・明神前他	縄文～平安	1994年から県埋文センター調査
57	常入遺跡群	常入字堀之内	縄文～平安	下町田遺跡ほか7遺跡
58	金井裏遺跡	上田字金井裏・蟹原	縄文～平安	1985. 1996年上田市調査
62	雁堀遺跡	上田字雁堀	弥生・平安	
63	西丘遺跡	上田字西丘	平安	
64	八幡裏遺跡群	緑ケ丘字思川・大星前他	縄文～平安	1994・1996年上田市調査
65	海野遺跡	中央・大手	弥生・平安	
66	上田城跡	中央・中央西・大手・北大手	近世	
84	六句古墳	小牧字六句	近世	
86	初太郎占墳	小牧字花水	近世	
95	渋取田遺跡	諏訪形字渋取田・中堰	縄文	
96	中沢遺跡	諏訪形字中沢	平安	
428	小牧遺跡	小牧字城山	近世	
457	染屋城遺跡	古里字英	近世	

第１表　周辺遺跡一覧表

のほか、石器類、土偶、大珠、獣骨など多岐にわたっている。その後、平成８年度に行われた国立長野病院看護婦宿舎建設に伴う同遺跡の第３次発掘調査でも、中期後葉から後期前葉の土器を伴う３軒の敷石住居址が確認されている。

その他、住吉の熟泰寺遺跡では、長島の矢出沢川右岸の畑地から縄文時代の石錐が採集されている。また、国分寺周辺遺跡群の浦沖遺跡は、昭和 24 年に発掘調査が行われ、中後期に属すると思われる住居址が検出されている。平成６年度・７年度に行われた市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴う発掘調査では、遺構の検出はなかったが前期から後期の土器片が多く出土した。

<弥生時代>

弥生時代の遺跡としては、上田盆地では前・中期の遺跡は僅かしか確認されていない。八幡裏遺跡は数少ない該期遺跡のひとつで、大正 14 年に上田温泉電軌北東線の敷設工事が行われた際に、中期栗林Ⅱ式期の壺形土器２点と大型蛤刃石斧が出土している。このように表採や工事中の出土例はあるものの、遺構を伴った例としては確認されていない。

後期では、国分寺周辺遺跡群が平成６年度と７年度に市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って発掘調査され、後期箱清水式期から古墳時代前期の集落と溝が確認された。また、国分遺跡群の上沢沖遺跡からも箱清水式が表採されている。

今回調査した常入遺跡群は、第二次大戦前から上田盆地の弥生時代の一大遺跡と確認されていたが、平成８年度の信州大学繊維学部構内における研究棟の建設に伴い、1,000 ㎡の発掘調査が行われ、10軒の竪穴住居址が確認されている。

また、上田地籍の北小学校の東方、黄金沢扇状地の扇央に位置する雁堀遺跡から箱清水式土器が表採されている。

<古墳時代>

古墳時代になると、太郎山麓に前方後円墳の二子塚古墳、方墳の大蔵京古墳が築造されている。

二子塚古墳（上田市指定文化財）は、定型化した前方後円墳としては東信地方で唯一の古墳である。墳丘は後世の改変が激しいが、現在の規模は中軸の全長約 51m、前方部の長さ約 26m、最大幅約 25m、高さ約５m、後円部の長さ約 25m、最大幅約 39m、高さ約６mを測る。古墳の北側には周濠の一部とみられる窪みがあり、墳丘から表採された円筒埴輪片により６世紀前半の築造と推定されている。本古墳の周囲にはかつて４～５基の円墳が存在していたと伝えられるが、現存するのは北西部の円墳１基のみである。これらの古墳は、二子塚古墳の陪塚と言われていたが、時期的に異なるため現在では否定されている。

大蔵京古墳（上田市指定文化財）は、一辺が 32～35mの方墳で、高さは５～8mを測る。墳丘上から表採された土師器により、４世紀末から５世紀前半の築造と推定されており、現在確認されている

県内最古の方墳で、上小地区では最古の古墳である。

風呂川古墳は、墳丘は失われていたが、平成４年に財団法人長野県埋蔵文化財センターによって北側周濠の一部が調査された。周濠の幅は 4.0～5.5m、調査面からの深さは約 1.5mを測る。北東辺の北隅寄りには、掘り残しが一箇所設けられ、その西側から石組みとともに多数の土師器が出土した。古墳の規模は、一辺が 25～30mの方墳と推定され、築造年代は、一括出土した土師器により５世紀第２四半期と推定されている。

後期古墳についても、この山麓に６基ほど散見できるが、いわゆる群集墳的な古墳群は確認されていない。しかし、1987 年の下水道工事中に発見された豊原古墳のように、墳丘ごと太郎山から押し出した土砂によって埋もれているケースもあり、地表では確認できない古墳の存在も想定できる。

また、神科地区には、染屋面の段丘端に向田古墳がある。これは、半壊しているが、墳丘の径 7.5m、高さ 1.6mの円墳と思われる。

集落遺跡はとしては、太郎山麓に多く分布しているが、発掘調査が実施された例は少なく、その様相は明確ではない。平成８年度に発掘調査された八幡裏遺跡群第４次調査では、該期の住居址が７軒検出されたほか、国立長野病院の敷地の北側にある段丘の上面を調査した平成６年度の第１次調査でも古墳時代後期の住居址が１軒確認されている。

平成６・７年度に、国分寺周辺遺跡群が市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って発掘調査され、130 軒の中・後期の住居址が検出された。特に５世紀後半から６世紀代の遺構密度は非常に高く、集落分布は短期で変容していることが確認された。また、国分遺跡群の幾つかの遺跡からもこの期の土器が表採されている。

また、今回調査した常入遺跡群には、この期の大きな集落があることが知られている。1966 年に五十嵐幹雄氏らによって、この遺跡群中の本書で扱う下町田遺跡に隣接する西町田遺跡で発掘調査が実施され、上田盆地における古墳時代後期の標識的遺跡として評価されている。

<奈良・平安>

奈良・平安時代の遺跡もこの地域に広く分布している。これまでの調査結果からはきわめて密度の薄い遺跡しか確認されていなかったが、近年の発掘調査により次第に明瞭となってきた。

八幡裏遺跡からは、第２次と第４次調査で 15 軒の住居址を検出した。

市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って平成６・７年度に発掘調査された国分寺周辺遺跡群からは、奈良時代の住居址が 35 軒、平安時代の住居址が 27 軒検出された。

この時代、信濃国分寺遺跡は周知のとおりであるが、問題は、国府所在地である。信濃国の国府が、松本平に移る以前は、国分寺の所在する上田地域であったろうことは推論されてきたが、未だに結論を得られない状況である。この下町田遺跡周辺の信州大学繊維学部構内は、染屋台や塩田平と並び有力な候補地として注目を集めている。しかし、今回の調査及び第１次調査では、残念ながら国府関係

の資料は出土しなかった。また、令制東山道も上田盆地を通過し、そのルートについて地名からの研究は深まっているが、考古学的な確証はいまだに得られていない。

<中世以降>

中世以降は、「常田荘」が八乗院御領として営まれたものの、中心は千曲川左岸の塩田平の塩田北条氏仏教文化に移った感がある。しかし、戦国時代の真田氏の上田城築城と城下町形成により再び上田盆地の中心地となり、近世から近代にかけては、「蚕都」として栄え、今回調査を行った信州大学繊維学部は、その象徴なのである。

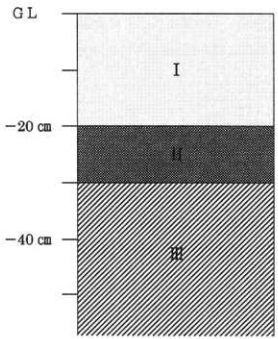
第3節　遺跡の層序

今回調査した下町田遺跡の標準土層は、下図のとおりである。調査地区は、大学の附属農場として使われていた場所の一角で、表土は耕作土である。

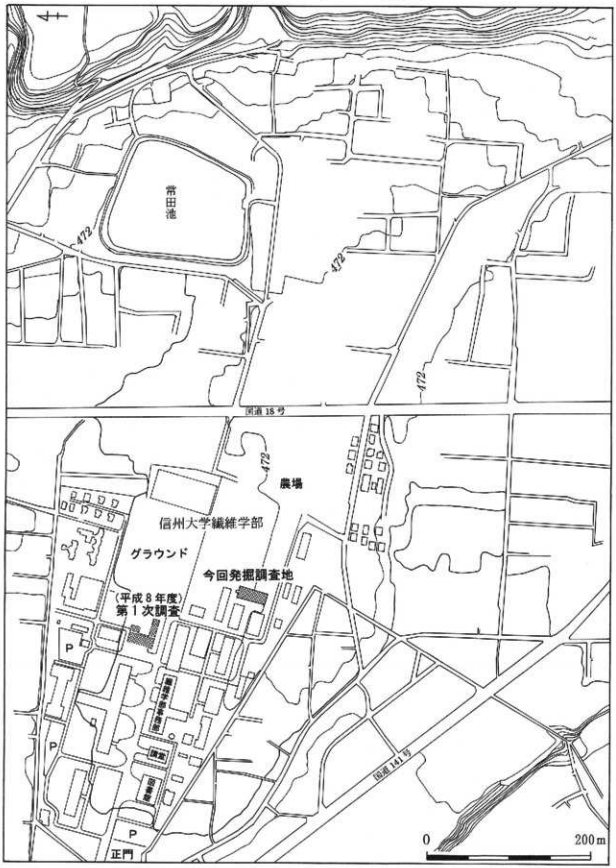
Ⅰ層　　耕作土。厚みは、20 cm～40 cmあり、小石混じりのふかふかした暗褐色土である。

Ⅱ層　　硬くしまりの良い層で、Ⅰ層よりやや暗い黒褐色を呈している。

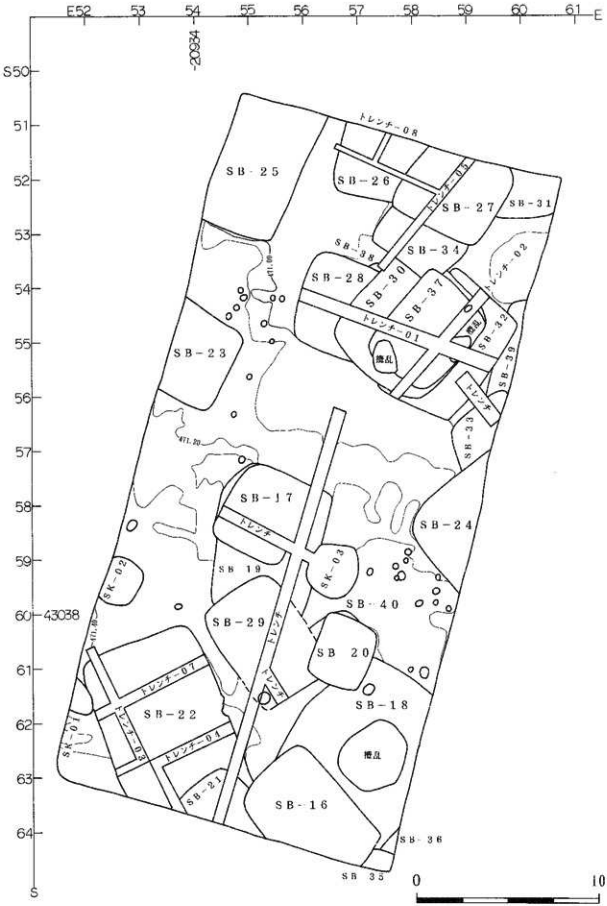
Ⅲ層　　地山の明るい黄橙色の砂礫層で、地表から30 cm～40 cmの深さから始まる。これは千曲川火山泥流と呼ばれる層である。本調査で検出された竪穴遺構はこの層で確認され、この層を掘りこんでいる。



第三章　調査の結果



第4図　調査地位置図


E52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
E
-20934
S50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
-43038
61
62
63
64
S
SB-25
SB-26
SB-27
SB-31
SB-34
SB-28
SB-30
SB-37
SB-23
SB-17
SB-24
SB-19
SB-40
SB-29
SB-20
SB-22
SB-18
SB-21
SB-16
SB-36
SB-35
トレンチ-08
トレンチ-02
トレンチ-01
トレンチ-07
トレンチ-04
SK-02
SK-03
SK-01
攪乱
0
10m

第５図　遺構全体図

第1節　調査の概要

今回の調査で検出された遺構は、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居址25軒と土坑3基とピット群である。

遺物は、千曲川流域を中心として広がる箱清水式土器が多量に出土した。さらに、半数以上の住居址からこれとともに東海、北陸地方の外来系土器を出土した。

竪穴住居址の平面形態は、隅丸長方形を呈するものと隅丸方形を呈するものが見られる。また、周溝がある住居址や床の一部に高まりがある住居址があった。炉が確認された住居址は半数以下であるが、北側の主柱穴間に位置するものが多い。形態は地床炉のほか、石囲い炉、土器敷き炉が見られる。竪穴住居址の検出密度は平成8年の第1次調査より濃く、地形も勘案すると、この調査地域はこの集落跡の中心部に該当する可能性もあると考えられる。

今回の調査により、弥生時代後期から古墳時代初頭にかけて、上田盆地川東地区において最大規模の集落がここに営まれていたことが伺われる。

第2節　遺構と遺物

竪穴住居址の平面形態については、隅丸長方形の住居址が第16号（第6図）、18号（第8図）、19号（第9図）、22号（第13図）、25号（第16図）、29号（第21図）、40号竪穴住居址（第29図）等である。隅丸方形の住居址については、第17号（第7図）、27号（第17図）、30号竪穴住居址（第19図）が見られる。

このうち、周溝がある住居址は、第17号（第7図）、23号（第12図）、24号（第14図）、25号（第16図）、27号（第17図）、30号竪穴住居址（第19図）である。第17号（第7図）、19号竪穴住居址（第9図）にはベッド状遺構があり、第16号（第6図）、22号竪穴住居址（第13図）は壁の一部に階段状の立ち上りが見られた。

炉については、第16号竪穴住居址（第6図）、18号（第8図）、19号（第9図）、20号（第10図）、21号（第11図）、22号（第13図）、24号（第14図）、25号竪穴住居址（第16図）等のものが北側の主柱穴間に位置している。形態は、地床炉が第16号（第6図）、21号（第11図）、24号（第14図）、25号（第16図）、第30号竪穴住居址（第19図）で、石囲い炉は第18号（第8図）、22号竪穴住居址（第13図）で、土器敷き炉は第19号（第9図）、30号（第19図）、40号竪穴住居址（第29図）に見られる。

遺物は、箱清水式土器の壺、甕、高坏、鉢、深鉢、蓋、甑が遺構や包含層から多量に出土した。またこれらのほか、紡錘車が第21号（第37図）と22号竪穴住居址（第38図）から、土器片を加工した土製円盤が第19号竪穴住居址（第35図）から、ミニチュア土器が第16号（第32図）、25号（第

41図)、26号(第42図)、27号(第43図)、29号(第45図)及び、33号住居址等(第49図)から出土した。第19号竪穴住居址出土の鉢(第35図63)の底部内面にはベンガラが付着していた。

これらに伴って、東海地方、北陸地方に系譜が求められる外来系土器の壺、甕、高坏等が出土した。東海系の土器が出土している住居址は、第17号(第33図)、20号(第36図)、23号(第39図)、27号(第43図)、28号(第44図)、30号(第46図)、32号(第48図)、34号(第50図)、37号竪穴住居址(第52図)である。北陸系の土器が出土している住居址は、第17号(第33図)、20号(第36図)、22号(第38図)、23号(第39図)、24号(第40図)、25号(第41図)、26号(第42図)、27号(第43図)、28号(第44図)、30号(第46図)、32号(第48図)、34号(第50図)、37号竪穴住居址(第52図)及び第1号土坑(第55図)等である。そのうち、第20号、23号、27号、28号、30号、32号、34号、37号竪穴住居址は、箱清水式土器は僅かしか出土しなかった。

石器は、石包丁が第16号竪穴住居址から、石戈と推定される石器片が第32号竪穴住居址から、打製石斧が第26号と40号竪穴住居址から、砥石が第30号竪穴住居址ほかから出土した。その他、打製石鏃、くぼみ石、磨石等も出土した(写真図版49〜51)。

1　竪穴住居址

第16号竪穴住居址(挿図番号第6図)

本住居址は、調査地区の南端に位置する(S63E56、S63E57、S64E55、S64E56、S64E57、S64E58、S65E56、S65E57、S65E58グリッド)。住居址の南西側は未調査である。第18号竪穴住居址、第21号竪穴住居址、第35号竪穴住居址と重複して、それらを切っている。

規模は、北東の壁が7.4m、北西の壁が5.0mで、平面形は隅丸長方形を呈する。主軸方向はN43°Wである。検出面から床までの壁の高さは0.54m〜0.56mである。床面積は未調査の部分があるため不明であるが、調査した部分の大きさは26.772㎡である。床の標高は470.80mである。

床面は全体的に堅緻に締まっている。床面上には、炭化物の分布があった。柱穴は5つ確認された。そのうち、P1、P2およびP5は主柱穴と思われる。炉は地床炉で、主柱穴間に位置する。炉床は橙褐色に被熱している。南東の壁の一部が、約2mに渡って階段状を呈している。

遺物は、覆土中および床面(第32図4〜6、17、27、29)から出土した。

第17号竪穴住居址(挿図番号第7図)

本住居址は、調査地区の中央に位置する(S58E55、S58E56、S59E55、S59E56グリッド)。第19号住居址と重複して切る。また、2本のトレンチにより北側の壁と、床面の一部が破壊する。

規模は、北西の壁が4.9m、南西の壁が4.3mで、平面形は方形に近い隅丸長方形を呈する。主軸方向はN65° Wである。また、検出面から床までの壁の高さは0.44mから0.68mを測る。床面積は18.127㎡で、床の標高は470.60mである。

柱穴は7つ確認された。そのうち、P1とP6は主柱穴と推定され、その他の主柱穴はトレンチにより破壊されたと思われる。壁際には全体に周溝がめぐり、この周溝はP3とP4を連結している。また、北西の壁に近い床はベッド状に高まっている。床面は全体的に堅緻で、特に周溝の内側の床は硬化している。また、P3の周囲は緩やかに高まり、特に堅緻である。床の中央より南西に橙褐色に被熱した痕があるが、掘り込みはない。

遺物は、主に覆土中から出土し、床面上からは壺（第33図1）が出土した。

第18号竪穴住居址（挿図番号第8図）

本住居址は、調査地区の南東端に位置する（S62E56、S62E57、S62E58、S62E59、S63E56、S63E57、S63E58、S64E55、S64E56、S64E57、S64E58グリッド）。東側は未調査である。第16号竪穴住居址と重複し、床の南西部をこれに破壊される。また、撹乱によって床の一部が破壊されている。

規模や形態は不明であるが、推定でおよそ9m×7mの隅丸長方形であると思われる。検出面から床までの壁の高さは0.20m～0.26mで、床の標高は471.00mである。主軸方向はN45° Eである。

柱穴は6個確認された。4個の主柱穴を持つと推定されるが、P5、P6以外は撹乱等に破壊されて不明である。床面は、ほぼ全面が堅緻に締まっている。炉等は4箇所確認された。一つは石囲炉で、主柱穴間に位置する。これは、大きさ0.58m×0.52m、深さ0.09mに掘り窪められ、川原石が3方を囲ったもので、炉床は熱を受け橙褐色を呈している。その他は、南西部の床面に地床炉が2箇所確認された。そのうち一つは、大きさ0.40m×0.40m、深さ0.06mで、もう一つは大きさ0.30m×1.20m、深さ0.08mである。また、床の中央に不整形を呈した被熱痕がある。これは掘り窪めらておらず、規模はおよそ2.22m×1.02mである。

遺物は覆土中から多く出土し、床面上からは散乱した状態で出土（第34図1、3、4、11）した。

第19号竪穴住居址（挿図番号第9図）

本住居址は、調査地区の中央に位置している（S58E55、S58E56、S58E57、S59E55、S59E56、S59E57、S60E55、S60E56、S60E57グリッド）。第17号竪穴住居址、第29号竪穴住居址、第3号土坑と重複し、第17号竪穴住居址に北壁と西壁の一部を破壊される。また、トレンチによって壁の一部を破壊する。

規模は、東の壁が8.2m、南の壁が5.4mである。プランは隅丸長方形を呈するが、南西のコーナーは比較的鋭い。主軸方向はN16° Eである。検出面から床までの壁の高さは0.68m～0.80m、床面積

は 39.024 ㎡で床の標高は 470.38m である。

柱穴は 14 個確認された。そのうち、P4、P1、P3、P2 は主柱穴と考えられる。P1 と P4 の間の距離は 2.6m、P1 と P2 の距離は 4.2m である。また、P1、P4、P3 の断面は 2 段になっている。南の壁際の P8 は、周囲の床面が緩やかに高まっていて、硬化している。

床面は全体的に堅緻に締まっている。この住居址の北側は、床面近くまで第 17 号竪穴住居址に切られているため、形態は正確に確認できないが、ベッド状を呈していたと思われる。また、東側の壁と西側の壁の断面が一部にわたって階段状を呈する。炉は土器敷き炉で、主柱穴間に位置する。規模 0.52m×0.40m の浅い掘り込みの中に土器の底部（第 35 図４）が敷かれている。土器の下部およびその周辺の床面は、橙褐色を呈し被熱している。

遺物は覆土中から多量に出土し、床面からは東壁の付近から壺等（第 35 図３、６）が出土した。

第 20 号竪穴住居址（挿図番号第 10 図）

本住居址は調査地区の南東に位置している（S６１E５７、S６１E５８、S６２E５７、S６２E５８グリッド）。第２９号竪穴住居址、第４０号竪穴住居址と重複して切る。

規模は、北西の壁が 3.6m、南西の壁が 3.1m で、平面形は方形に近い隅丸長方形を呈する。主軸方向はＮ20° Ｅである。検出面から床までの壁の高さは 0.40m で、床面積は 9.89 ㎡である。床の標高は 470.90m である。

柱穴は確認されなかった。床は一部に堅緻な部分があるが、全体的に不安定である。床面には橙褐色の熱を受けた痕があるが、掘り窪められていない。規模は 1.7m×1.0m で、平面形は不整形である。

遺物は、覆土中および床面直上に炭化した木片と土器（第 36 図）が確認された。

第 21 号竪穴住居址（挿図番号第 11 図）

本住居址は、調査地区の南端に位置する（Ｓ６３E５５、Ｓ６４E５４、Ｓ６４E５５グリッド）。この住居址の南側は未調査である。第 16 号竪穴住居址と第 22 号竪穴住居址と重複し、第 22 号竪穴住居址を切り、第 16 号竪穴住居址に東壁と床の一部を切られる。また、トレンチに北西と北東の壁の一部を破壊する。

大きさと平面形は不明である。主軸方向は N40° Wであると思われる。検出面から床までの壁の高さは 0.46m～0.60m で、床面の標高は 470.82m である。床面積は不明である。

柱穴は３つ確認された。そのうち、Ｐ３は主柱穴の一つと思われる。床面は堅緻に締まっている。炉は２ヶ所確認され、どちらも地床炉である。1 つは主柱穴間と思われる場所に位置し、規模は、0.72m ×0.56m の楕円形で、深さは 0.06m である。この炉の北西側に更にもう一つの炉が位置している。規模は 0.26m×0.26mの円形をなし、深さは 0.04mである。両方とも被熱して橙褐色を呈している。

遺物は覆土から主に出土し（第 37 図）、床面上からは確認されなかった。

第 22 号竪穴住居址（挿図番号第 13 図）

本住居址は、調査区の南西側に位置する（Ｓ６１Ｅ５３、Ｓ６１Ｅ５４、Ｓ６１Ｅ５５、Ｓ６２Ｅ５３、Ｓ６２Ｅ５４、Ｓ６２Ｅ５５、Ｓ６３Ｅ５３、Ｓ６３Ｅ５４、Ｓ６３Ｅ５５、Ｓ６４Ｅ５３、Ｓ６４Ｅ５４、Ｓ６４Ｅ５５グリッド）。第 21 号竪穴住居址、第 1 号土坑と重複して切られ、北西の隅の壁と住居址の南部を床から破壊される。また、撹乱により北東の壁を破壊され、トレンチにより北東の壁と南西の壁の一部を破壊した。

北西の壁の長さは 6.92m を測るが、それ以外の壁の長さは不明である。全体の大きさは確認できないが、本調査で検出された竪穴住居址の中では比較的大きい住居址と思われる。形態は、隅丸長方形であると推定される。主軸方向は N23° Wである。検出面から床までの壁の高さは 0.22m～0.52m で、床面の標高は 471.00mである。

柱穴は、16 個確認された。そのうち、Ｐ11 とＰ２は主柱穴と考えられる。また、住居址の全体の大きさが不明なので断言できないが、Ｐ16 とＰ15 も同様に主柱穴と思われる。床面は全体的に堅緻で硬くなっている。北西の壁側の床と北東の壁側の床が一部にわたって、階段状に高まっている。炉は２ヶ所確認された。一つは石囲い炉で、北の主柱穴間に位置している。大きさ 0.76m×0.57m、深さ 0.12mに掘り窪められて、長細い川原石が三方を囲っている。炉底は熱を受けて橙褐色を呈している。もう一つは、地床炉で、さきの石囲い炉より南東に位置している。径 0.23m、深さ 0.02mに掘り窪められている。被熱して橙褐色を呈した部分は、この窪みより一回り大きい。

遺物は主に覆土から出土した（第 38 図）。

第 23 号竪穴住居址（挿図番号第 12 図）

本住居址は、調査地区の北西部に位置している（Ｓ５５Ｅ５４、Ｓ５５Ｅ５５、Ｓ５６Ｅ５４、Ｓ５６Ｅ５５、Ｓ５７Ｅ５４、Ｓ５７Ｅ５５グリッド）。重複関係はないが、この住居址の北西部は未調査である。また、トレンチで東側の壁近くの床を破壊している。

東壁の長さは 4.95mを測るが、その他の壁の長さは不明である。平面形態も不明であるが、隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、東壁の方向の軸線はN65° Ｅである。検出面から床までの壁の高さは 0.45m～0.50mである。床面の標高は 479.70mである。

北から東の壁際に周溝がめぐる。柱穴は 3 個確認された。このうち、Ｐ１は溝で周溝と連結している。床面は全体的に堅緻に締まっている。炉および被熱痕は確認されなかった。

遺物は、主に覆土中から出土した（第 39 図）。

第 24 号竪穴住居址（挿図番号第 14 図）

本住居址は調査地区の東端から検出された（Ｓ５８Ｅ５９、Ｓ５８Ｅ６０、Ｓ５９Ｅ５９、Ｓ５９Ｅ６０、Ｓ６０Ｅ５９グリッド）。第 33 号竪穴住居址と重複して切る。住居址の北東部から南東部は

調査区外になる。

全体の規模は、不明である。検出面から床までの壁の高さは 0.30m～0.40m で、床の標高は 470.90m である。主軸方向も不明であるが、北西の壁の軸は N50° E である。形態は、隅丸長方形と推定される。

柱穴は、3 個確認された。床面は全体的に堅緻である。北西と南西の壁際の床に周溝が造られている。南西の周溝からは間仕切り状に溝が伸びている。炉は一箇所確認された。これは径 0.58m の地床炉で、0.08m の深さで掘り窪められている。炉床は被熱し、橙褐色を呈している。

床面上に炭化した木材が部分的に検出された。また、土器は覆土中から主に出土した（第 40 図）。

第 25 号竪穴住居址（挿図番号第 16 図）

本住居址は、調査区域の北西隅から検出された（S51E55、S51E56、S51E57、S52E55、S52E56、S52E57、S53E55、S53E56、S54E56グリッド）。住居址の南東部のみが本調査で確認され、それ以外は調査区域外である。

全体の規模は不明である。平面形態は、不明であるが隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、東壁の方向は N19° E である。検出面から床までの壁の高さは 0.70m～0.78m で、床の標高は 470.24m である。

柱穴は 12 個検出された。そのうち、P1 は主柱穴の一つと推定される。

床面は全体的に堅緻に締まっている。南東隅の床に短く周溝が施されている。また、その周溝を囲んで間仕切り状に周溝が廻っている。炉は、主柱穴間と推定される場所に地床炉が一箇所確認された。これは大きさ 0.36m×0.28m、深さ 0.08m に掘り窪められている。炉床とその周辺は熱を受けて橙褐色を呈している。

遺物は覆土上部に多く出土し、床面上に僅かに出土（第 41 図 9）した。

第 26 号竪穴住居址（挿図番号第 15 図）

本住居址は、調査地区の北端に検出された（S52E57、S52E58、S52E59、S53E57、S53E58グリッド）。住居址の北側半分が未調査である。第 27 号竪穴住居址と重複し、東側の壁と床が破壊されている。また、トレンチにより、西壁の一部を破壊する。

全体の規模は不明である。平面形態は不明であるが、隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、西壁の方向は、N18° E である。検出面から床までの壁の高さは 0.4m で、床面の標高は 470.50m である。

床は全体的に堅緻であり、部分的に特に硬くなっている。柱穴は 5 箇所確認された。また、北側の床面の一部が被熱して、橙褐色を呈している。形態は不整形で、掘り窪められていなく、およそ 0.70m×0.40m の大きさに広がっている。

遺物は、覆土中から散在して出土した。また、床面上からも僅かに出土（第42図13）した。

第27号竪穴住居址（挿図番号第17図）

本住居址は、調査地区の北端に検出された（S52E58、S52E59、S52E60、S53E58、S53E59、S53E60、S54E59、S54E60グリッド）。この住居址は北側が未調査である。第26号竪穴住居址、第31号竪穴住居址、第34号竪穴住居址と重複して切る。また、トレンチにより北西と南西の壁の一部が破壊される。

全体の規模は不明であるが、南西の壁は5.12mである。平面形態も不明であるが、隅丸方形を呈すると推定される。主軸方向は、N32.5°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.44mで、床面の標高は470.54mである。

床は全体的に堅緻である。南西の隅に周溝が掘られている。柱穴は4つ検出された。炉等は確認されなかったので不明である。

遺物は覆土中から多く出土し、南東の隅から底部を欠いた甕（第43図12）が出土した。

第28号竪穴住居址（挿図番号第18図）

本住居址は、調査地区の北側に位置している（S54E57、S55E56、S55E57、S56E57グリッド）。第38号竪穴住居址を切り、第30号竪穴住居址に住居址の東側を破壊される。

全体の大きさは不明であるが、西壁の長さは5.06mである。平面形態は不明であるが、隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、西壁の方向はN18°Eである。検出面から床までの壁の高さは0.24m～0.30mである。床面の標高は470.70mである。

床面は比較的脆弱である。柱穴は2箇所確認された。炉等は確認されなかった。

遺物は主に覆土中から出土した（第44図）。

第29号竪穴住居址（挿図番号第21図）

本住居址は、調査地区の南側に位置する（S60E55、S60E56、S61E55、S61E56、S61E57、S62E58、S62E59）。第19号竪穴住居址と第40号竪穴住居址と重複してこれらを切る。更に、第20号竪穴住居址と重複して南東隅を破壊される。また、トレンチにより壁と床面の一部を破壊する。

規模は、南西の壁が6.6m、北西の壁が4.40mで、床面積は27.28㎡である。平面形態は隅丸長方形で、主軸方向はN31°Wである。検出面から床までの壁の高さは0.06mで、床面の標高は471.20mである。

床面は全体的に脆弱である。また、床面には北部と南東部に6箇所被熱痕がある。いずれも掘り窪められたものではない。柱穴は4つ確認された。

遺物は、僅かに覆土中と床面上（第45図4）から出土した。

第30号竪穴住居址（挿図番号第19図）

本住居址は、調査地区の北側に位置する（S54E58、S54E59、S55E57、S55E58、S55E59、S55E60、S56E57、S56E58、S56E59）。第28号竪穴住居址、第32号竪穴住居址、第38号竪穴住居址を切り、第34号竪穴住居址と第37号竪穴住居址に切られる。また、農業用のごみ穴等の攪乱やトレンチによって床や壁が部分的に破壊される。

規模は、南西の壁が6.3m、北西の壁が7.0mで、床面積は41.53㎡である。平面形態は、方形に近い隅丸長方形で、主軸方向はN40°Eである。検出面から床面までの壁の高さは、南西の壁で0.44mであり、床面の標高は、470.43mである。

床面は全体的に堅緻で締まりがあるが、部分的にそうでない場所もある。床面は凹凸が著しい。周溝は、何箇所か途切れながらも一周している。北西の床面には溝で方形に仕切られた何らかの施設の跡が認められる。柱穴等は17箇所確認されたが、主柱穴は不明である。炉は2ヶ所確認された。1つは土器敷き炉で、中央よりやや西側の床を掘り窪め高坏の坏部（第46図15）を敷いている。大きさは、24cm×18cmで、深さは7cmを測る。炉の底の床は焼けて橙褐色を呈する。もう1つは、それより更に西側の床にあり、これは地床炉である。大きさは、0.21m×0.18mで、深さは10cmである。炉の底及びその周辺の床は熱を受けて橙褐色を呈する。

遺物は、覆土中から多量に出土したほか、床面上（第46図2、6、11、16）から出土した。

第31号竪穴住居址（挿図番号第20図）

本住居址は、北東隅に位置する（S52E60、S52E61、S53E60、S53E61グリッド）。この住居址は、北部以外は調査区域外である。また、第27号竪穴住居址に床を切られる。

全体の大きさは不明である。また、平面形態および主軸方向も不明である。検出面から床までの壁の高さは0.3mで、床面の標高は470.64mである。

床面は堅緻に締まっている。柱穴は4つ検出された。炉等は検出されなかった。

遺物は、主に覆土中から出土し、P2の中から甕（第47図5）が出土した。また、炭化物を多く含む層が床面直上に部分的に広がっていた。

第32号竪穴住居址（挿図番号第24図）

本住居址は、調査地区の北東に位置する（S54E59、S54E60、S55E58、S55E59、S55E60、S56E58、S56E59、S56E60、S57E58、S57E59グリッド）。この住居址は、第30号竪穴住居址と第37号竪穴住居址に切られ、第39号竪穴住居址を切る。農業用のごみ穴等の攪乱や調査の際にいれたトレンチによって床や壁が部分的に破壊される。

規模は、南東の壁が6.90m、北東の壁が4.70mで、平面形態は隅丸長方形を呈する。主軸方向は、N37° Eである。検出面から床面までの壁の高さは、南東で0.24m、北東で0.28mである。床面積は、34.52㎡で、床の標高は、470.59mである。

床面は、全体的に堅緻で締まりがあるが、部分的にそうでない場所もある。また、凹凸が激しい。柱穴等は5つ検出されたが、大きさ、深さ位置などに統一性が見られず主柱穴は不明である。また、北東の壁際に周溝が設けられている。炉は、中央より南東側の床面が0.26m×0.30mの範囲で焼けて、橙褐色を呈するが、第30号竪穴住居址に部分的に切られているので、明確ではない。

遺物は、覆土中から多量に土器片が出土したが床面上からは検出されなかった（第48図）。

第33号竪穴住居址（挿図番号第25図）

本住居址は、調査地区の東端に位置する（S57E59、S57E60、S58E59、S58E60グリッド）。この住居址は南西部と北西部以外は調査区域外である。第24号竪穴住居址に切られ、第39号竪穴住居址と重複して切る。トレンチにより、北西の壁の一部を破壊する。

全体の大きさは不明であるが、北西の壁の長さは3.70mである。平面形態は隅丸長方形と推定される。主軸方向も不明であるが、北西の壁の方向はN17° Wである。検出面から床までの壁の高さは0.18m～0.46mで、床面の標高は470.52mである。

床面は堅緻に締まっている。また、床面直上は、部分的に炭化物が分布している。柱穴は10箇所確認された。炉等は確認されなかった。

遺物は覆土中から主に出土し、床面直上から出土しなかった（第49図）。

第34号竪穴住居址（挿図番号第22図）

本住居址は、調査地区の北側に位置する（S53E58、S53E59、S54E58、S54E59、S54E60グリッド）。第30号竪穴住居址を切り、第27号竪穴住居址と第32号竪穴住居址とに床と壁を切られる。また、トレンチにより床と壁の一部を破壊する。

全体の大きさ、平面形態は不明である。主軸方向も不明であるが、南西の壁はN48° Wを指す。検出面から床までの壁の高さは0.14m～0.18mで、床面の標高は470.70mである。

床面は比較的脆弱である。柱穴は5箇所確認された。炉等は確認されなかった。

遺物は主に覆土中から出土した（第50図）。

第35号竪穴住居址（挿図番号第23図）

本住居址は、調査地区の南東隅に位置する（S65E58グリッド）。この住居址は、一部を除いて大部分が調査区域外である。第16号竪穴住居址に切られて床を壊し、第36号竪穴住居址を切る。

規模、平面形態、主軸方向等は不明である。検出面から床までの壁の高さは、0.33mである。

床面は堅緻である。柱穴、炉等は確認されなかった。

床面上から壺の口縁部（第51図1）が出土した。

第36号竪穴住居址（挿図番号第23図）

本住居址は、調査地区の南東隅に位置する（S65E58グリッド）。この住居址は、一部を除いて大部分が未調査である。第35号竪穴住居址と同様、詳細は不明である。

第37号竪穴住居址（挿図番号第26図）

本住居址は、調査地区の北東に位置する（S54E59、S55E58、S55E59、S55E60、S56E58、S55E59）。第30号、第32号及び第34号竪穴住居址と重複して切る。

規模は、北東の壁が4.30m、南東の壁が5.20mで、検出面から床面までの壁高は北西の壁が0.34m、南西の隅が0.05mである。平面形態は隅丸長方形を呈し、主軸方向はN38°Eである。床面積は23.846㎡である。床面の標高は、470.54mである。

床面は、全体的に堅く締まりがあるが、部分的にそうでない場所もある。柱穴等は、8箇所検出されたが、主柱穴などは不明である。炉は、中央よりやや北西側の床に、径0.36mの地床炉がある。掘り窪められていないが、くり返し熱を受けたと思われる。

遺物は、覆土中から多量に土器片を出土したが、床面上からは検出されなかった（第52図）。

第38号竪穴住居址（挿図番号第27図）

本住居址は、調査地区の北側で確認された（S54E58、S55E57グリッド）。第28号竪穴住居址と第30号竪穴住居址と重複して切られている。この住居址は、一部を除いて大部分が破壊されているので詳細は不明である。

また、遺物は僅かに覆土中から出土した（第53図）。

第39号竪穴住居址（挿図番号第28図）

本住居址は、調査地区の東側に検出された（S55E60、S56E60グリッド）。第33号竪穴住居址と重複して切られている。また、トレンチにより壁の一部を破壊する。この住居址は、一部を除いて大部分が調査区域外であり、規模、平面形態等は不明である。主軸方向も不明であるが、西壁はN6°Eの方向を指す。検出面から床までの壁の高さは、0.46mである。

床は比較的堅緻である。柱穴は3箇所検出された。P1とP3の断面は段を有している。炉等は確認されなかった。

この住居址からは、遺物は検出されなかった。

第40号竪穴住居址（挿図番号第29図）

本住居址は、調査地区の南東に検出された（S61E57、S61E58、S62E57グリッド）。第20号竪穴住居址に壁の一部を破壊される。また、トレンチにより、東壁の一部を破壊する。

この住居址の大きさは、西壁の長さが3.10m、南壁の長さは2.25mで比較的小さい。平面形は隅丸長方形で、北壁は緩やかに張り出している。主軸方向は、N15° Eである。

床面は全体的に堅緻である。北東の隅の床面は、僅かに一段低くなっている。柱穴は5個確認された。いずれも壁際に造られている。炉は床面の中央よりやや北側に土器敷き炉が検出された。大きさ0.28m×0.21m、深さ0.08mの掘り込みの中に壺の底部（第54図4）が設置されていた。

遺物は覆土中から僅かに検出された（第54図）。

2　土坑

第1号土坑址（挿図番号第30図）

本遺構は、調査地区の南西に位置する（S62E52グリッド）。第2号竪穴住居址と重複して切る。また、西側は調査区域外である。規模は、全体を調査していないので不明であるが、南北に1.80mを測る。検出面と底部の比高差は28 cmで、南側の立ち上がりは、階段状を呈する。平面形態は、不定形である。遺物は覆土中と底から出土した（第55図）。

第2号土坑址（挿図番号第30図）

本遺構は、調査地区の南西に位置する（S60E53グリッド）。西側は未調査である。規模は、全体を調査していないので不明であるが、南北に2.42mを測る。主軸方向は、N33° Eである。検出面と底部の比高差は22 cmで、断面形は底部よりなだらかに立ち上がる。平面形態は、隅丸方形と思われる。遺物は、僅かに出土した（第56図）。

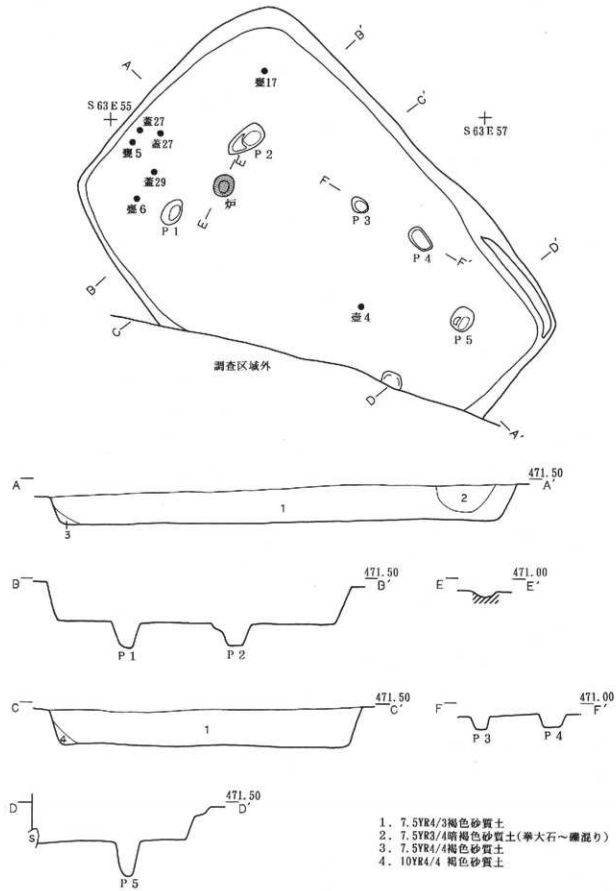
第3号土坑址（挿図番号第30図）

本遺構は、調査地区の中央に位置している（S59E57、S60E57グリッド）。

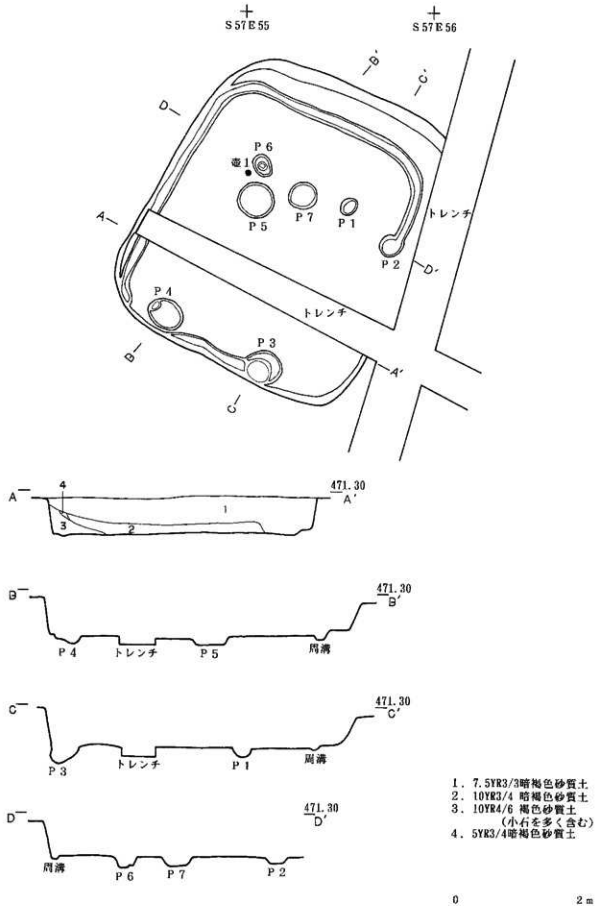
規模は、長軸が2.98m、短軸が2.12mで、平面形態は不定形を呈する。主軸方向は、N19° Eである。断面形はたらい状を呈し、検出面から底部までの壁高は12 cm～26 cmである。

3　ピット（挿図番号第31図）

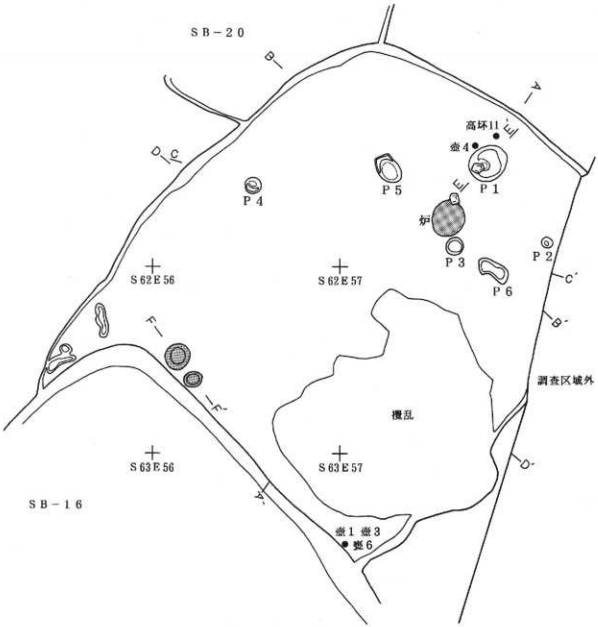
本調査地区からは、29個のピットが検出された。掘立柱を構成するようなピット群は確認されなかった。第1号ピット等から土器片が僅かに出土した（第57図）。


S 63 E 55
S 63 E 57
壷17
壷27
壷27
壷5
壷29
壷6
P 1
P 2
炉
P 3
P 4
壷4
P 5
調査区域外
A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
E
E'
F
F'
471.50
471.00
1
2
3
4
S
1．7.5YR4/3褐色砂質土
2．7.5YR3/4暗褐色砂質土(拳大石～礫混り)
3．7.5YR4/4褐色砂質土
4．10YR4/4 褐色砂質土
0
2 m

第６図　SB－16 実測図


S57E55
S57E56
P6
壺1
P5
P7
P1
P2
P4
P3
トレンチ
トレンチ
A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
471.30
471.30
471.30
471.30
1
2
3
4
P4
トレンチ
P5
周溝
P3
トレンチ
P1
周溝
周溝
P6
P7
P2
1．7.5YR3/3暗褐色砂質土
2．10YR3/4 暗褐色砂質土
3．10YR4/6 褐色砂質土
(小石を多く含む)
4．5YR3/4暗褐色砂質土
0
2m

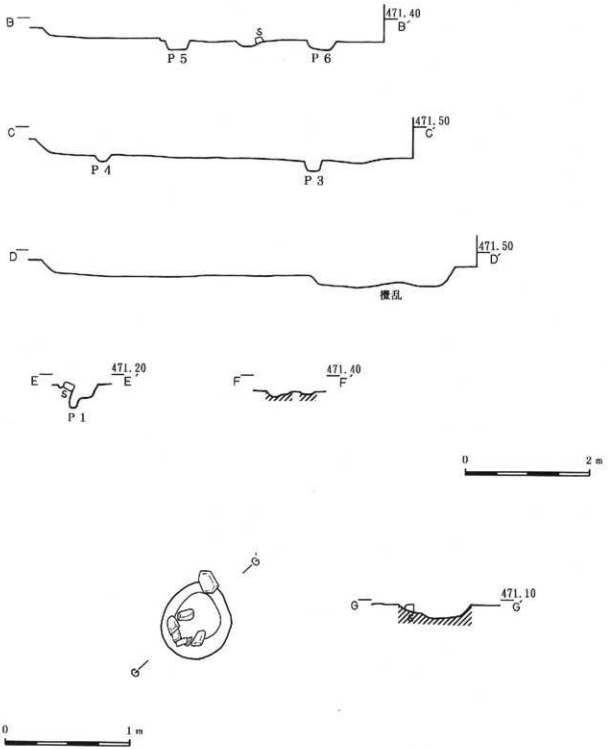
第7図　SB－17実測図



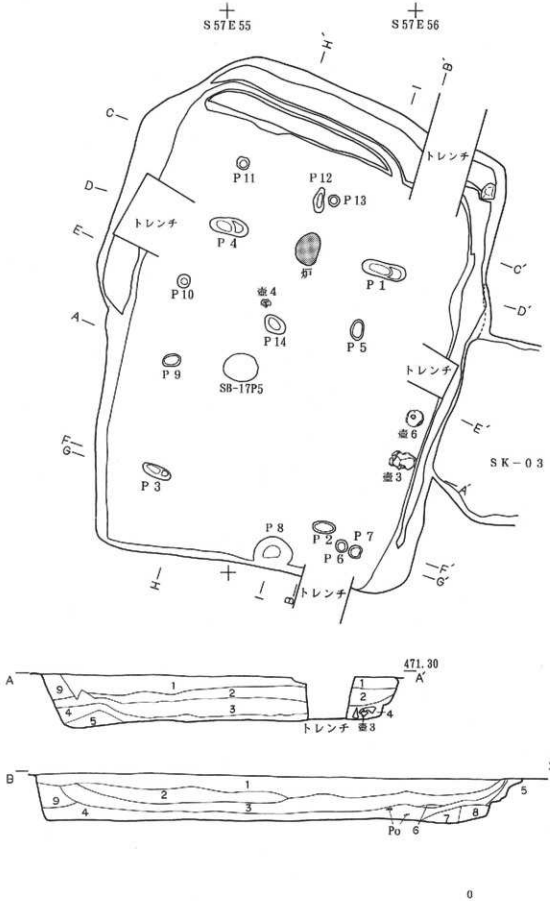
1．10YR4/4 褐色砂質土（小石混り）

0 2m

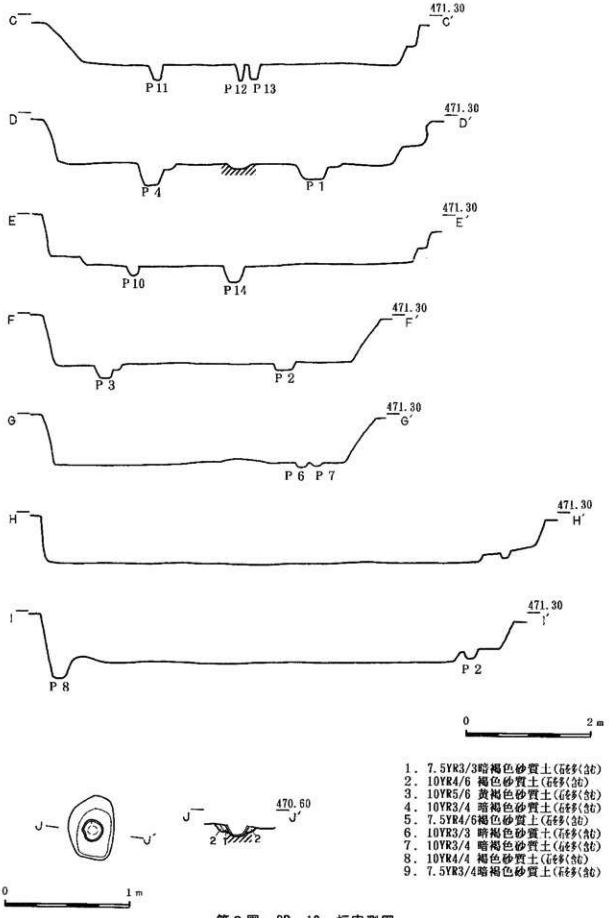
第８図　SB－18 実測図



第８図　SB－18・炉実測図

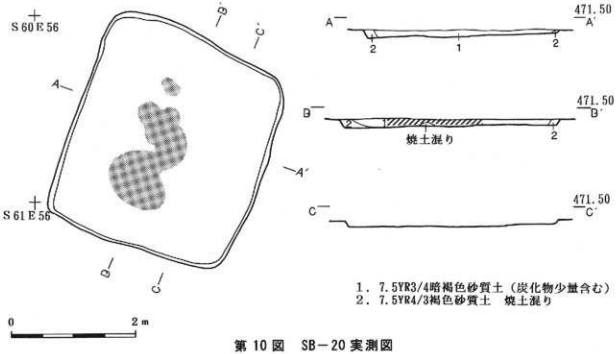

S57E55
S57E56
トレンチ
トレンチ
トレンチ
トレンチ
P11
P12
P13
P4
P10
P1
炉
歯4
P14
P5
P9
SB-17P5
歯6
歯3
SK-03
P3
P8
P2
P7
P6
471.30
A
A'
B
B'
Po
0
2m

第９図　SB－19 実測図

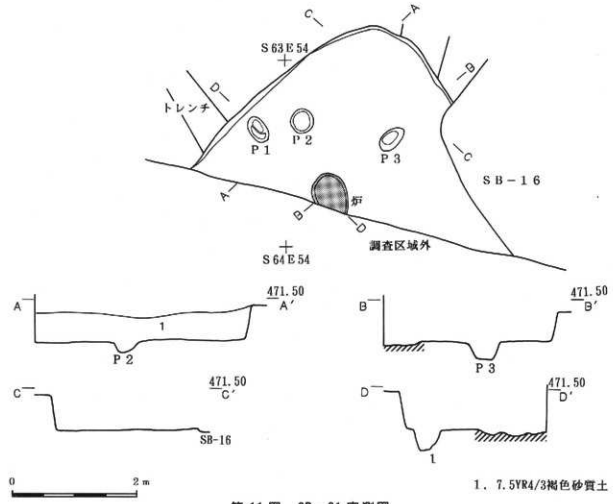


1．7.5YR3/3暗褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
2．10YR4/6 褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
3．10YR5/6 黄褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
4．10YR3/4 暗褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
5．7.5YR4/6褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
6．10YR3/3 暗褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
7．10YR3/4 暗褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
8．10YR4/4 褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)
9．7.5YR3/4暗褐色砂質土(ﾛﾑ多(含む)

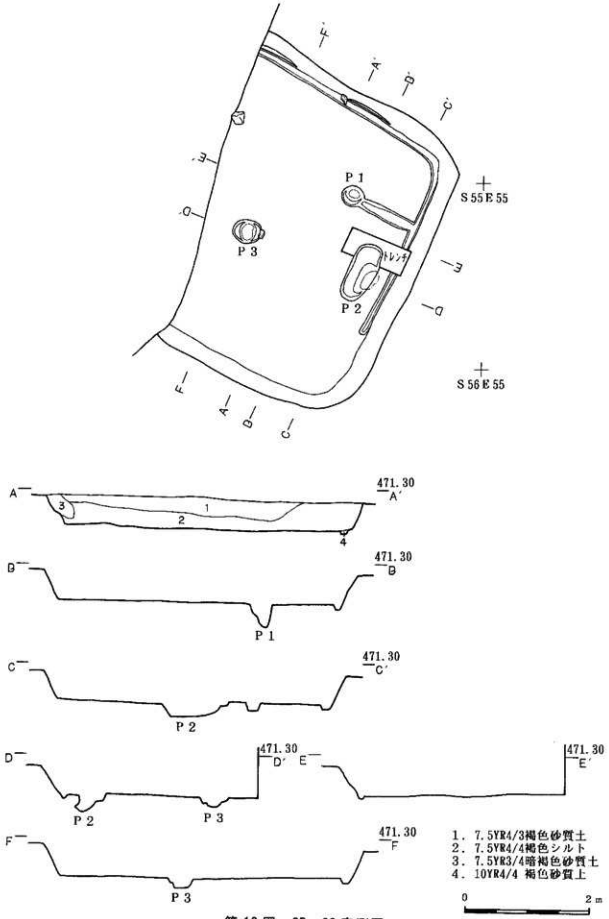
第９図　SB－19・炉実測図



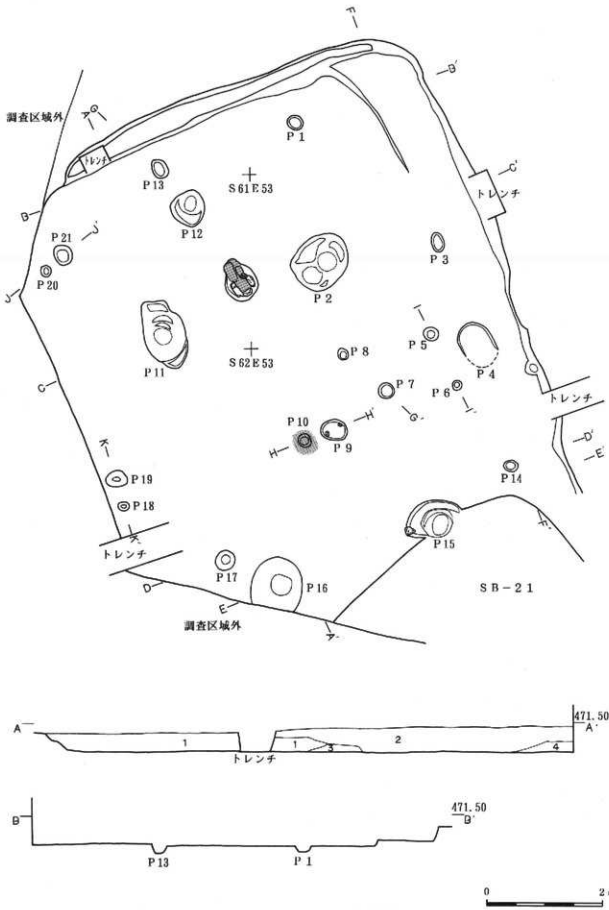
第 10 図　SB－20 実測図



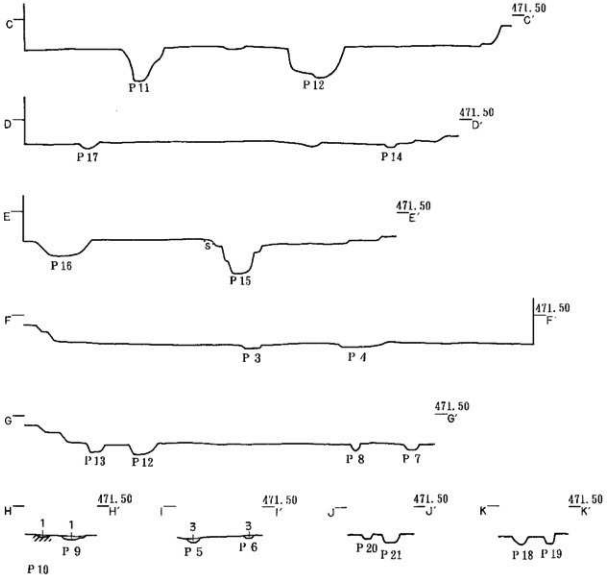
第 11 図　SB－21 実測図



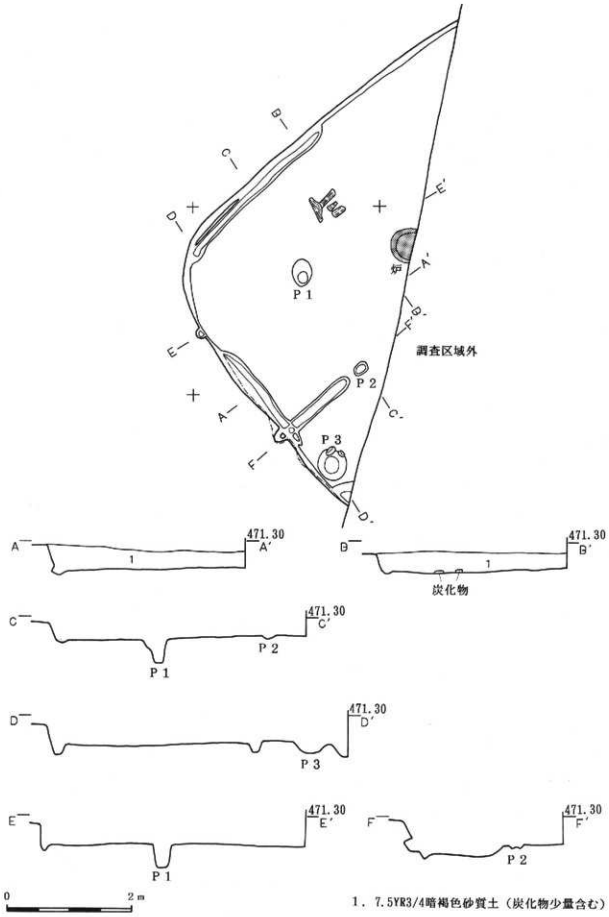
第 12 図　SB－23 実測図



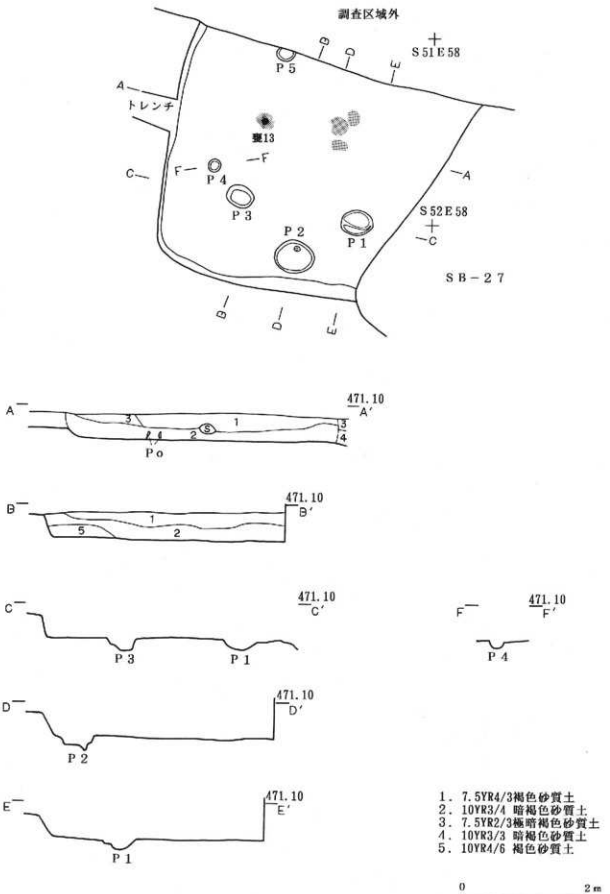
第 13 図　SB－22 実測図



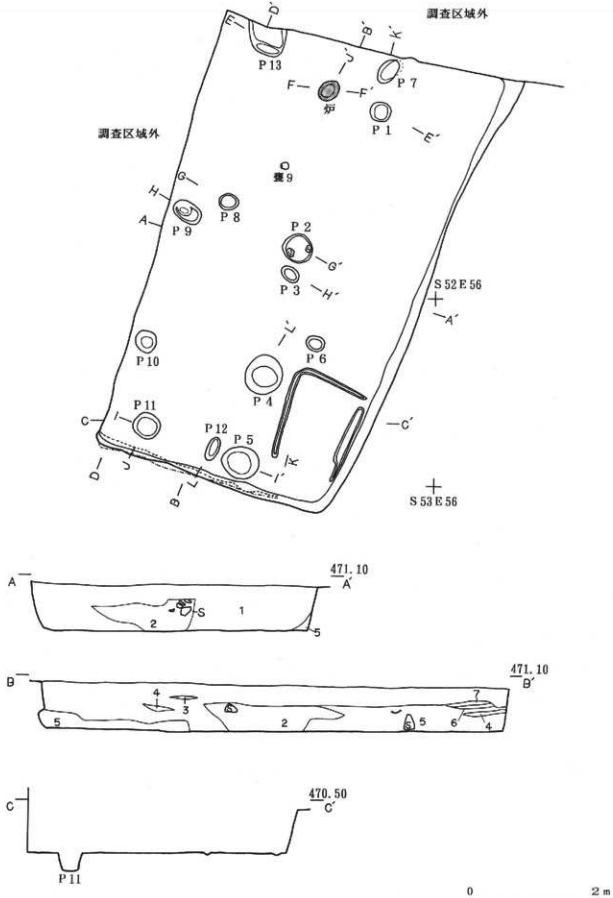
第 13 図　SB－22・炉実測図



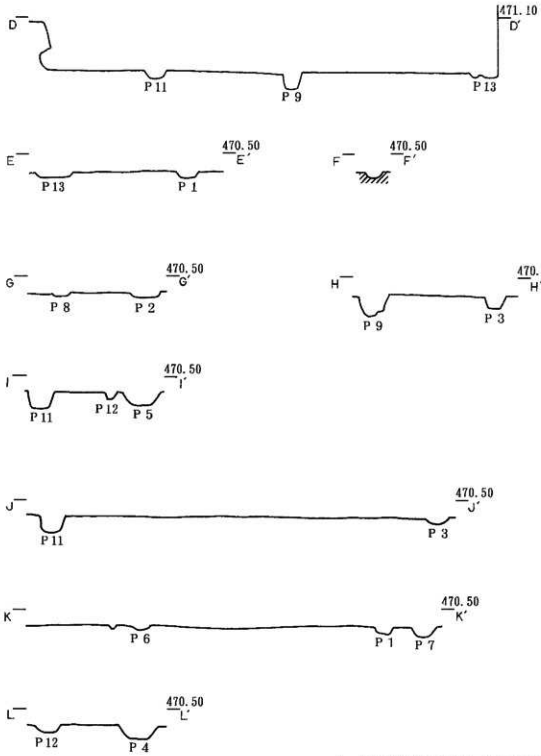
第 14 図　SB－24 実測図



第 15 図　SB－26 実測図



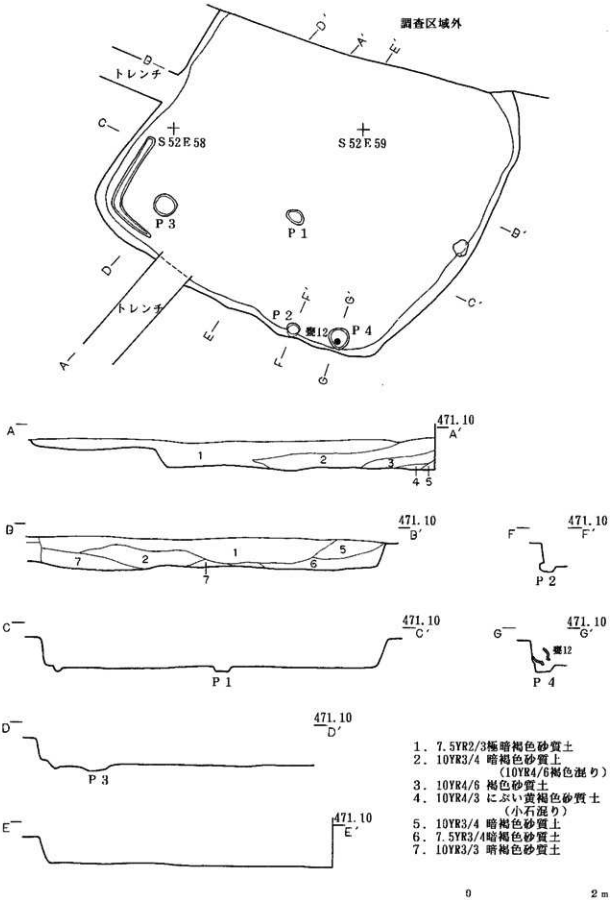
第16図　SB－25実測図



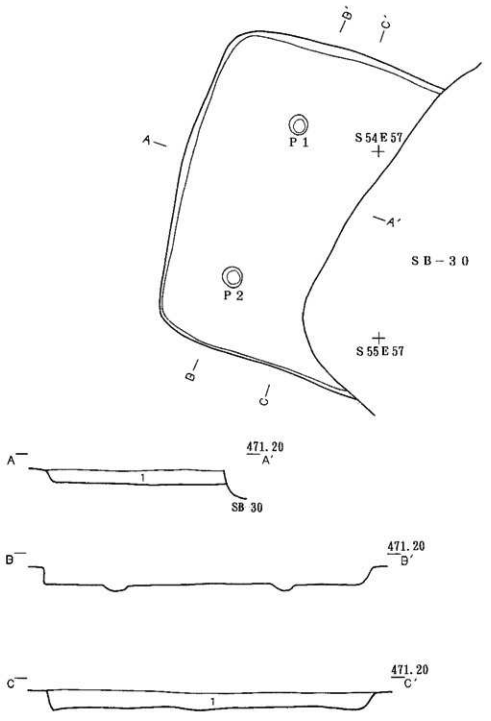
1. 10YR4/4 褐色砂質土（礫を多く含む）
2. 10YR4/4 褐色砂質土（拳大の石を含む）
3. 7.5YR3/4暗褐色シルト
4. 7.5YR4/6暗褐色砂質土
5. 10YR3/4 暗褐色砂質土
6. 7.5YR5/6焼土
7. 10YR3/4 暗褐色砂質土（炭化物を多く含む）

0　2 m

第 16 図　SB－25 実測図



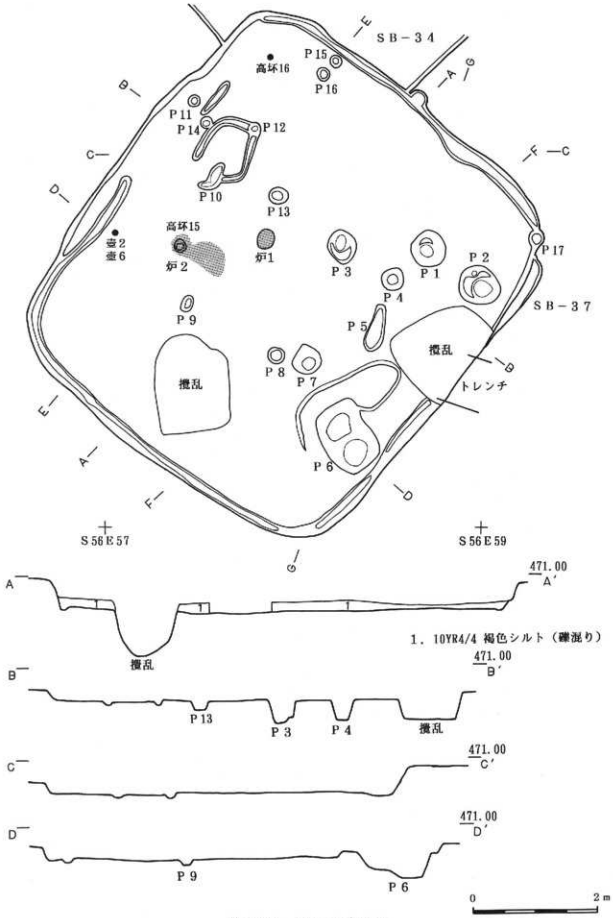
第 17 図　SB－27 実測図



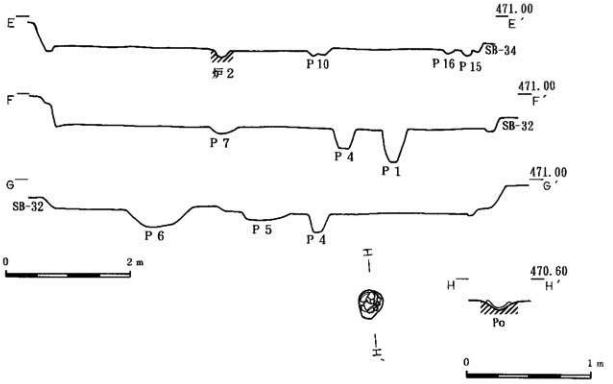
1．10YR3/4 暗褐色シルト

0　2 m

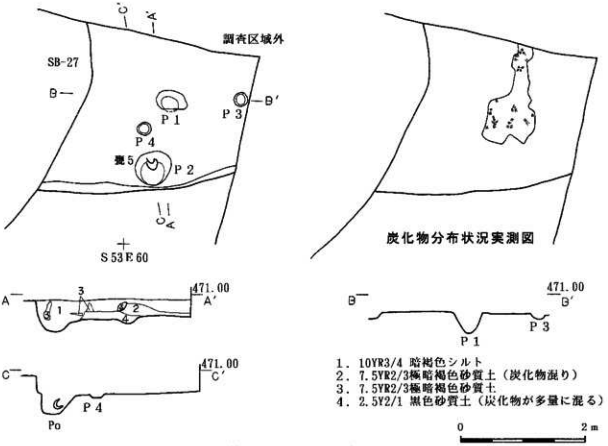
第 18 図　SB－28 実測図



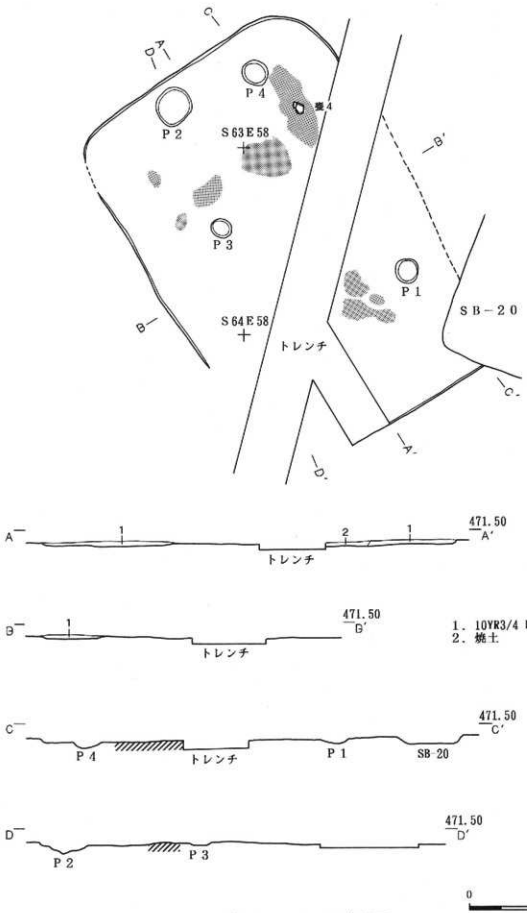
第19図　SB－30実測図



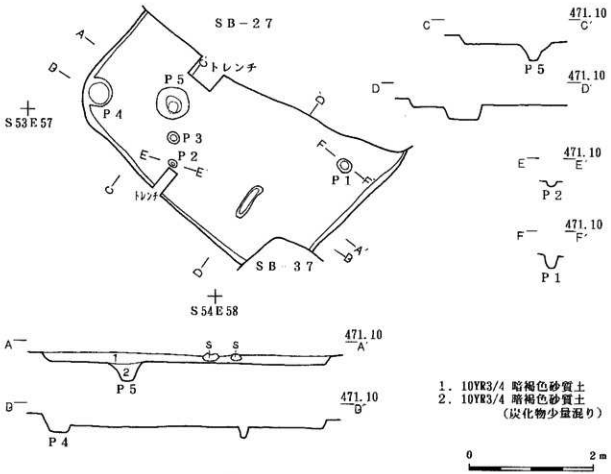
第19図　SB－30・炉実測図



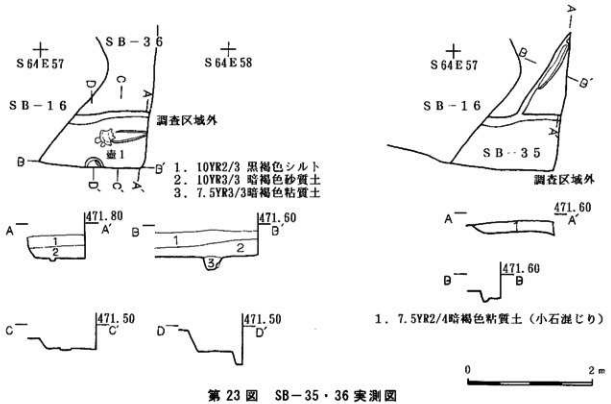
第20図　SB－31実測図



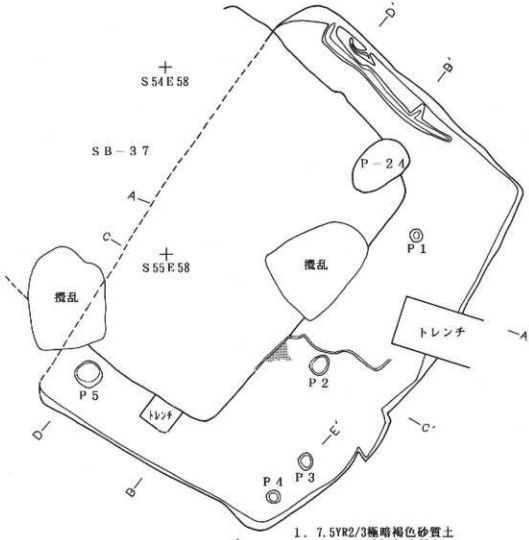
第 21 図　SB－29 実測図



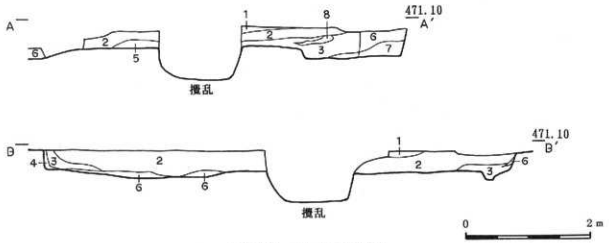
第 22 図　SB－34 実測図



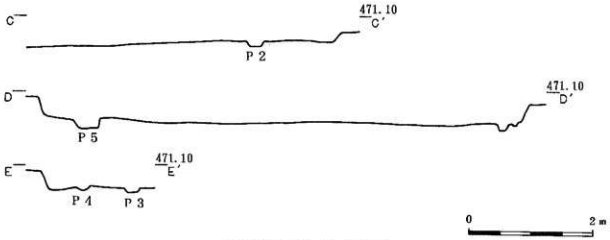
第 23 図　SB－35・36 実測図



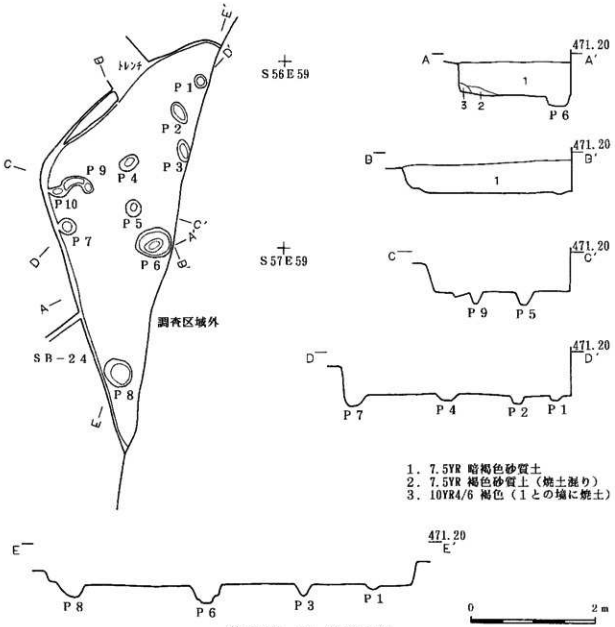
1．7.5YR2/3極暗褐色砂質土
2．10YR3/4 暗褐色砂質土
3．10YR3/3 暗褐色砂質土(10YR4/4褐色混じり)
4．10YR4/6 褐色砂質土
5．7.5YR2/2黒褐色シルト
6．10YR4/4 褐色砂質土
7．10YR4/3 にぶい黄褐色砂質土
8．10YR2/3 黒褐色砂質土(10YR4/4褐色混じり)



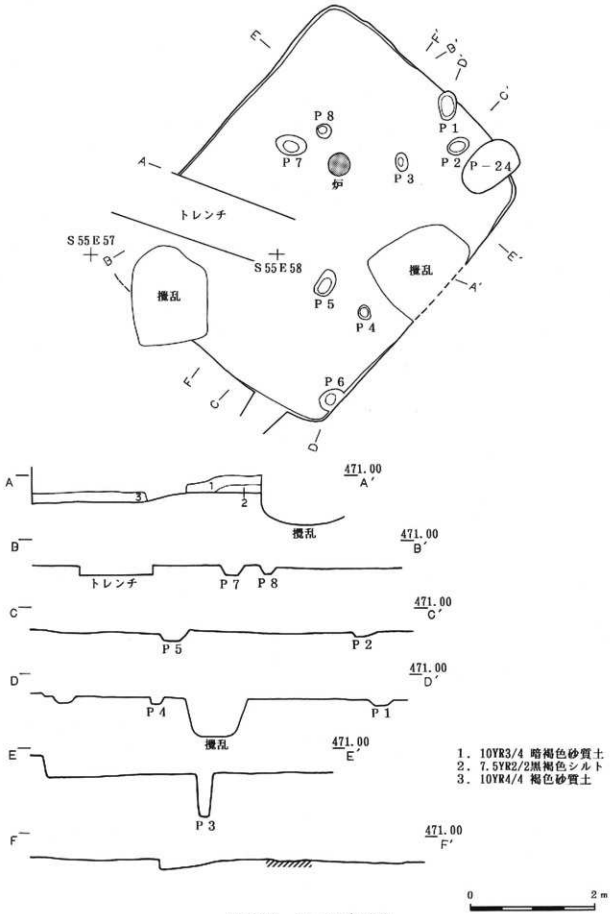
第 24 図　SB－32 実測図



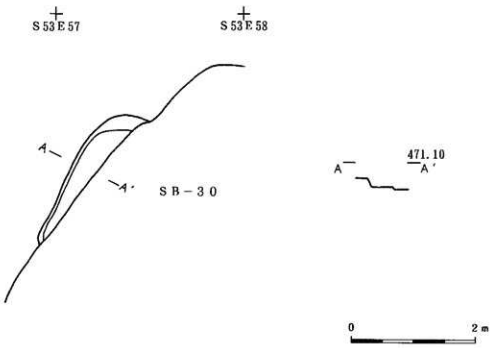
第 24 図　SB－32 実測図



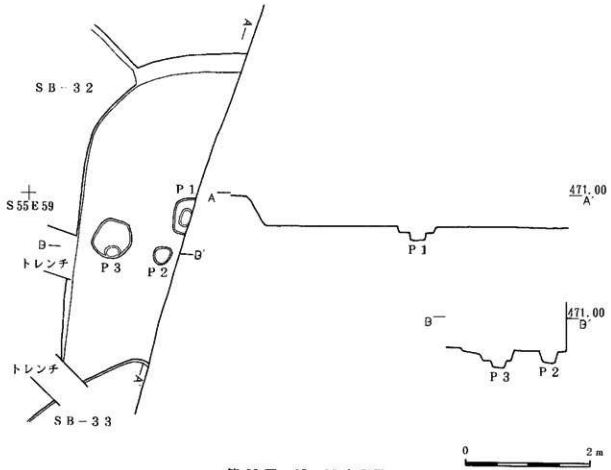
第 25 図　SB－33 実測図



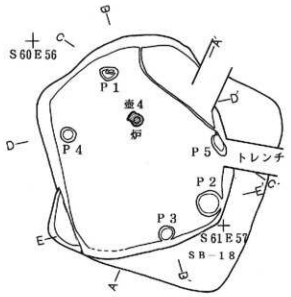
第 26 図　SB－37 実測図

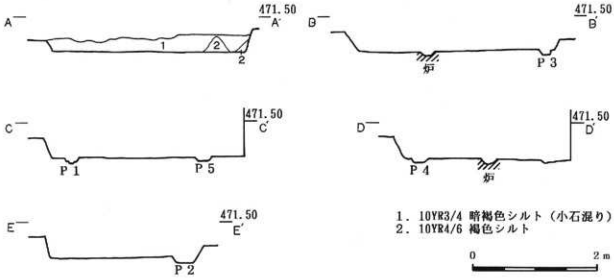


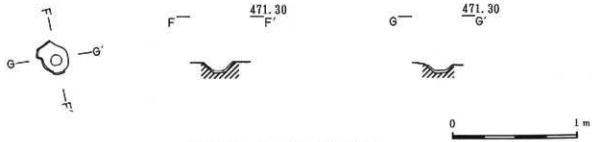
第 27 図　SB－38 実測図



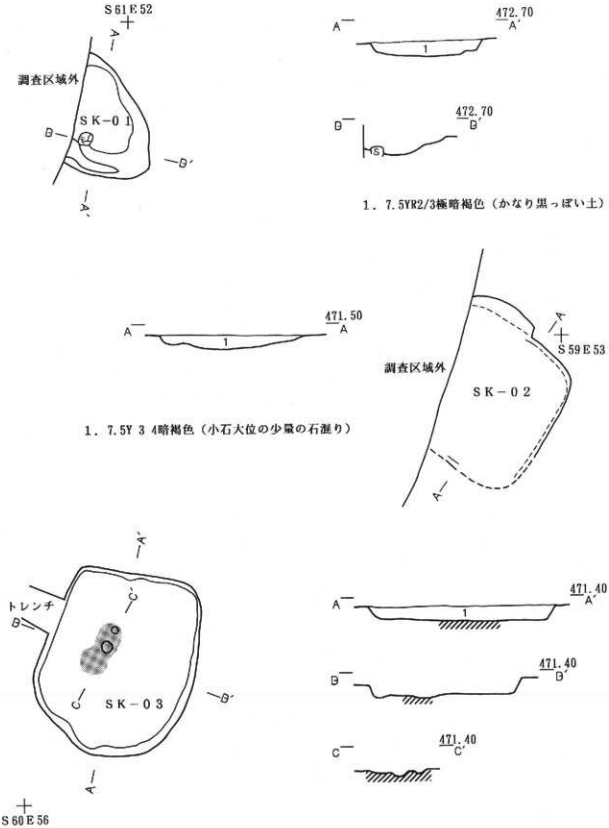
第 28 図　SB－39 実測図



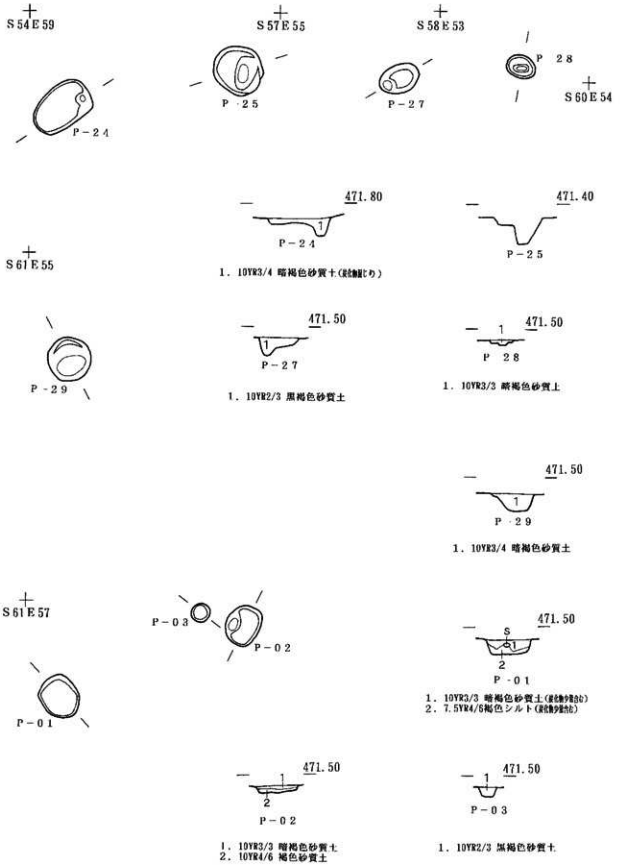




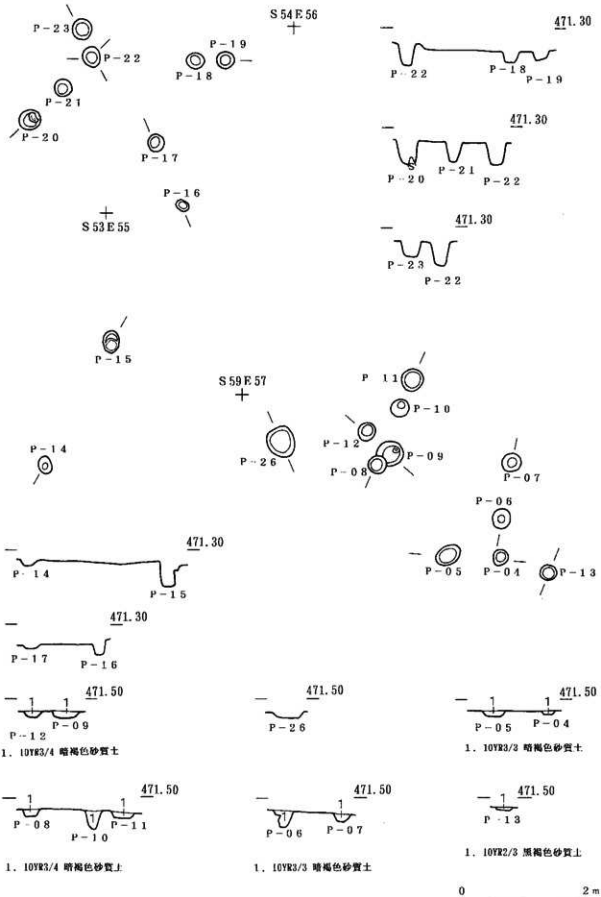
第 29 図　SB－40・炉実測図


S 61 E 52
調査区域外
SK－01
472.70
1．7.5YR2/3極暗褐色（かなり黒っぽい土）
471.50
1．7.5Y 3 4暗褐色（小石大位の少量の石混り）
S 59 E 53
SK－02
トレンチ
SK－03
471.40
S 60 E 56
1．10YR2/3 黒褐色、10YR2/3 褐色ブロック混りシルト
0
2 m

第 30 図　土坑実測図


S 54 E 59
P－24
S 57 E 55
P－25
S 58 E 53
P－27
P 28
S 60 E 54
471.80
1
P－24
1．10YR3/4 暗褐色砂質土(炭化物混じり)
471.40
P－25
S 61 E 55
P－29
471.50
1
P－27
1．10YR2/3 黒褐色砂質土
471.50
1
P 28
1．10YR3/3 暗褐色砂質土
471.50
1
P－29
1．10YR3/4 暗褐色砂質土
S 61 E 57
P－01
P－03
P－02
471.50
S
1
2
P－01
1．10YR3/3 暗褐色砂質土(炭化物少量含む)
2．7.5YR4/6褐色シルト(炭化物少量含む)
471.50
1
2
P－02
1．10YR3/3 暗褐色砂質土
2．10YR4/6 褐色砂質土
471.50
1
P－03
1．10YR2/3 黒褐色砂質土
0
2 m

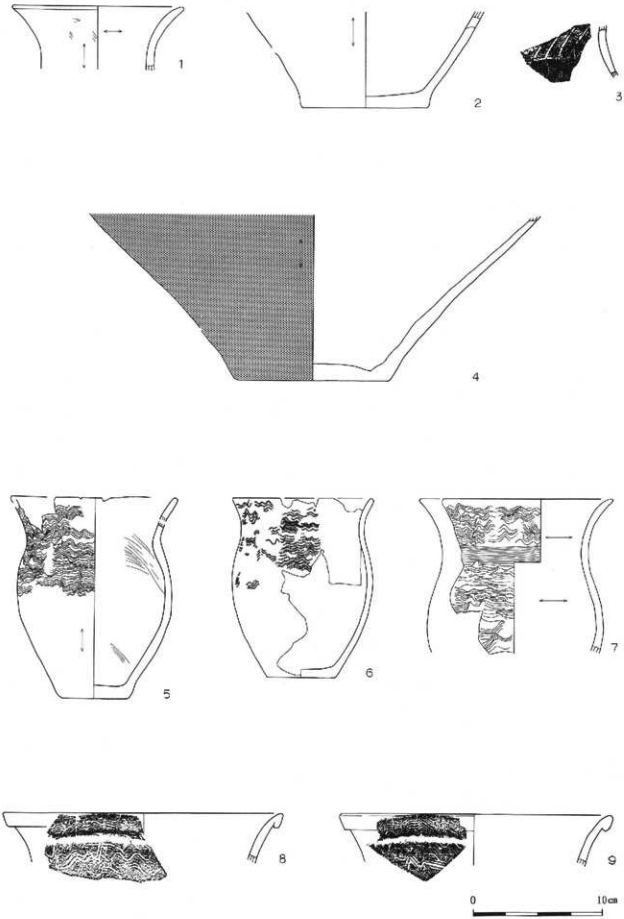
第 31 図　ピット実測図


S 54 E 56
S 53 E 55
S 59 E 57
P-23
P-22
P-19
P-18
P-21
P-20
P-17
P-16
P-15
P-14
P-26
P-11
P-10
P-12
P-09
P-08
P-07
P-06
P-05
P-04
P-13
471.30
P-22
P-18
P-19
471.30
P-20
P-21
P-22
471.30
P-23
P-22
471.30
P-14
P-15
471.30
P-17
P-16
471.50
P-12
P-09
1. 10YR3/4 暗褐色砂質土
471.50
P-26
471.50
P-05
P-04
1. 10YR3/3 暗褐色砂質土
471.50
P-08
P-10
P-11
1. 10YR3/4 暗褐色砂質土
471.50
P-06
P-07
1. 10YR3/3 暗褐色砂質土
471.50
P-13
1. 10YR2/3 黒褐色砂質土
0
2m

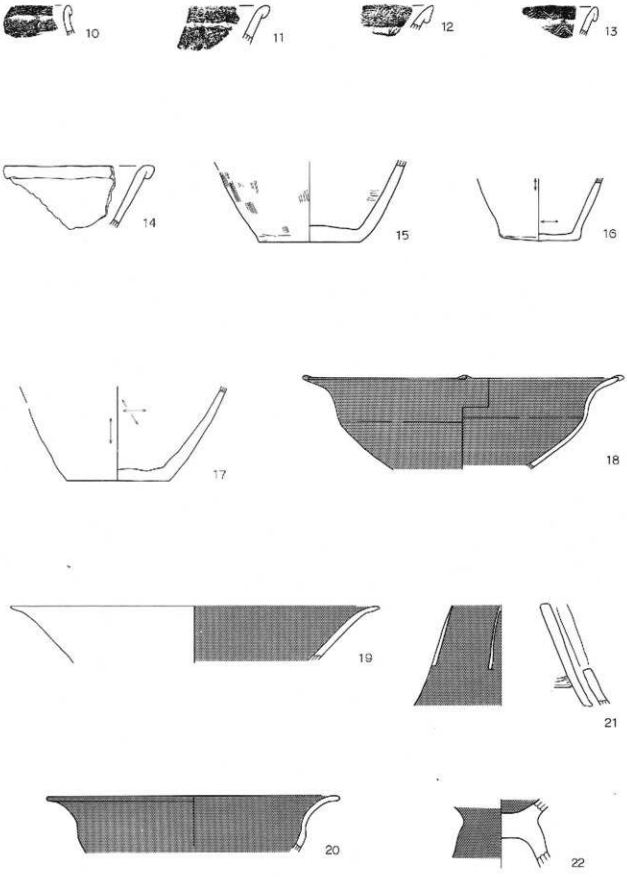
第 31 図　ピット実測図

遺構番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	備　　考
1	72	60	24	弥生（甕、壺）土器破片
2	65	72	12	
3	30	28	16	弥生（甕、壺）土器破片
4	28	22	8	
5	44	30	10	
6	32	28	28	
7	32	30	12	
8	30	30	10	弥生（甕、壺）土器破片
9	44	40	12	
10	30	28	28	弥生（甕、壺）土器破片
11	36	36	10	
12	32	26	10	
13	28	24	6	
14	28	20	10	
15	36	28	40	
16	22	16	24	
17	28	26	6	
18	32	26	20	
19	30	28	16	
20	36	34	40	弥生（甕、他）土器破片
21	30	28	32	弥生（甕、壺）土器破片
22	32	28	40	
23	36	32	24	
24	100	64	28	
25	80	80	44	弥生（甕、壺）土器破片
26	50	44	10	
27	66	46	28	
28	48	36	8	
29	72	70	28	

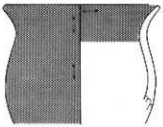
第２表　　ピット観察表

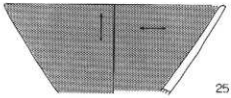


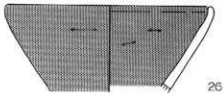
第 32 図　SB－16 遺物実測図 (1)

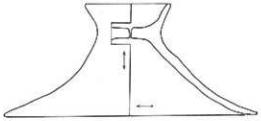


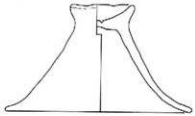
第 32 図　SB－16 遺物実測図(2)



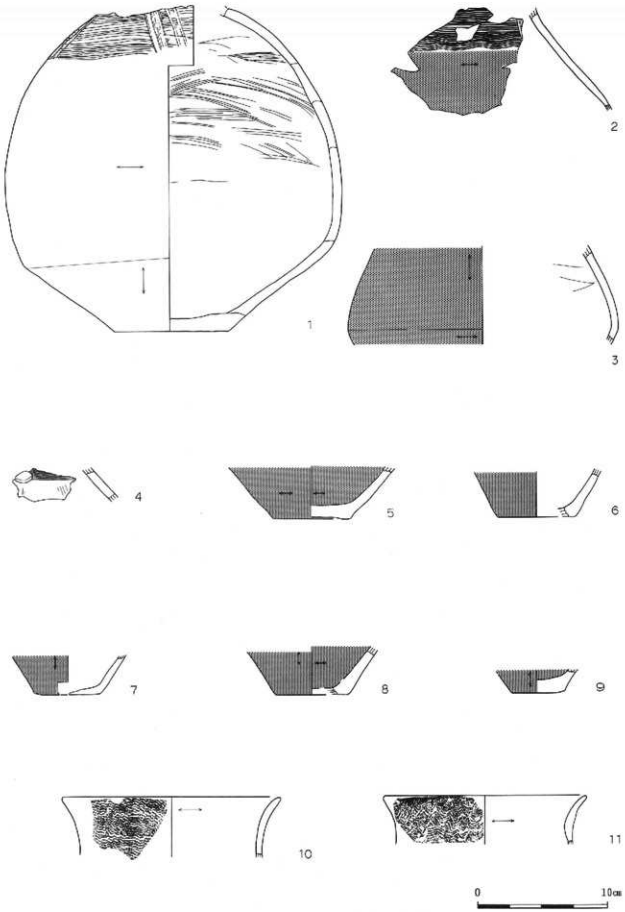




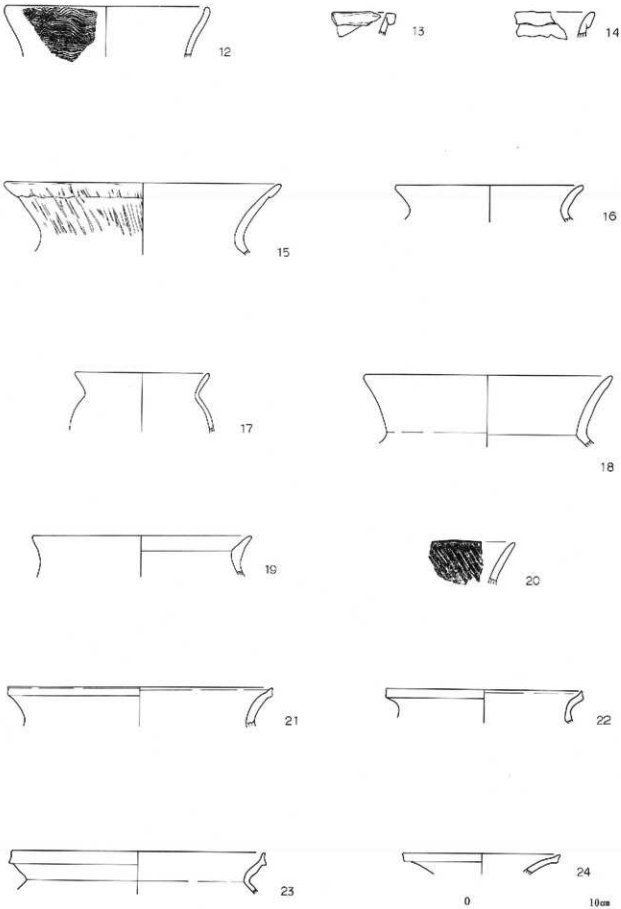




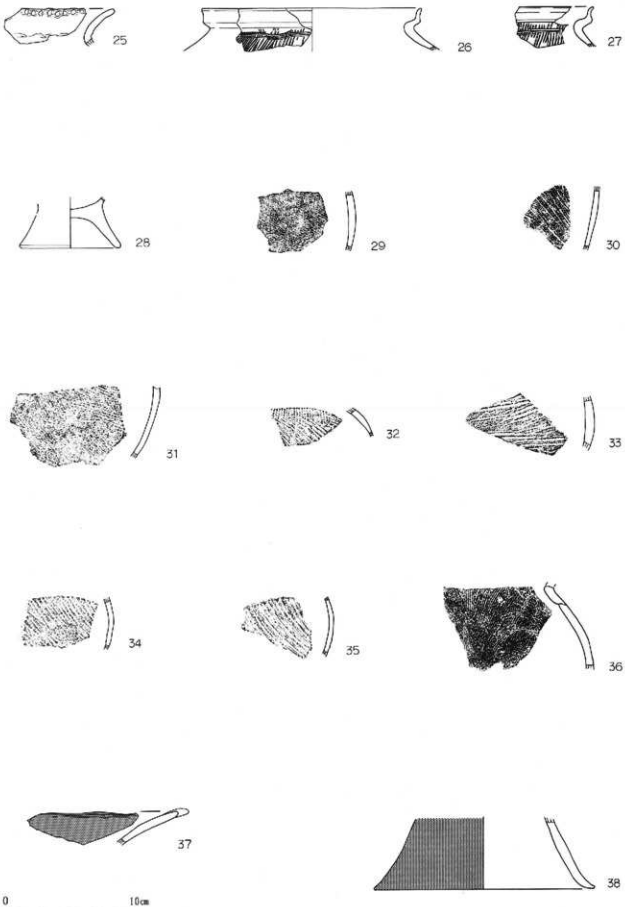
第 32 図　SB－16 遺物実測図 (3)



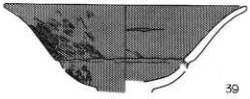
第 33 図　SB－17 遺物実測図 (1)

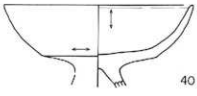


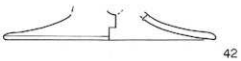
第 33 図　SB－17 遺物実測図 (2)

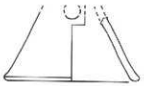


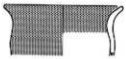
第 33 図　SB－17 遺物実測図 (3)

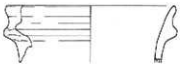




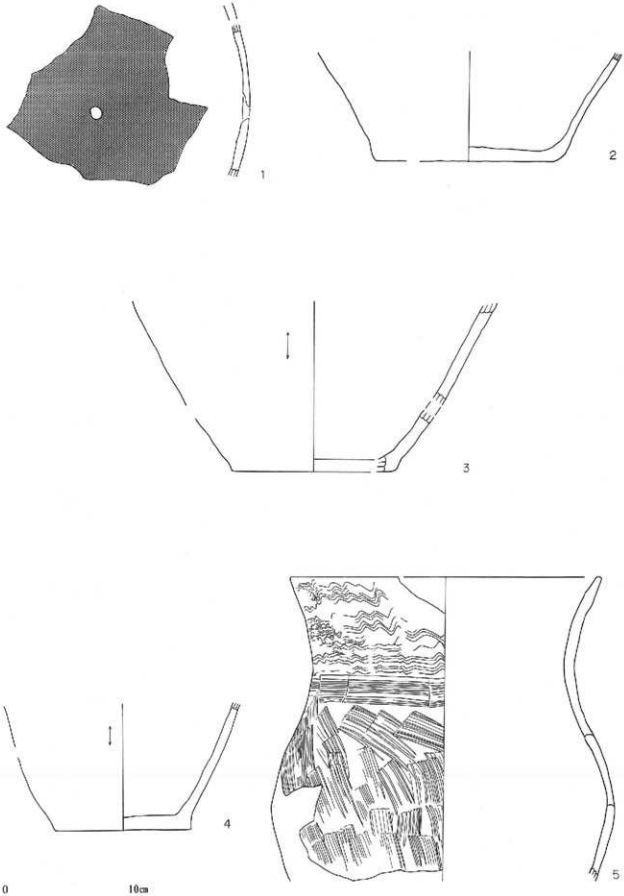




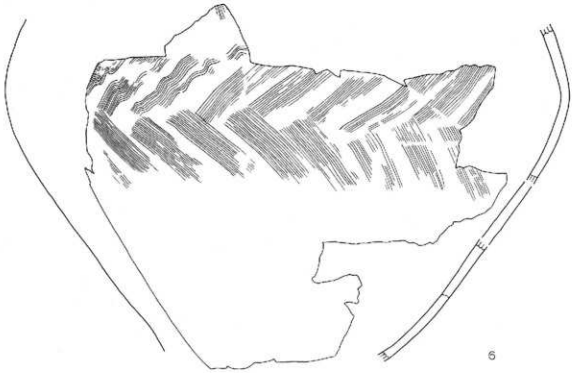


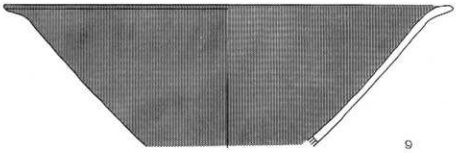


第 33 図　SB－17 遺物実測図(4)

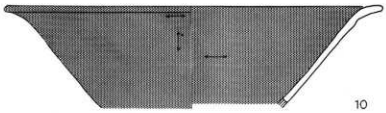


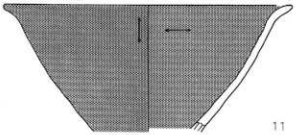
第 34 図　SB－18 遺物実測図(1)

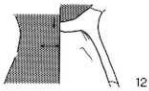


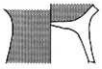


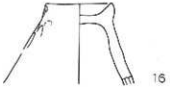
第 34 図　SB－18 遺物実測図 (2)



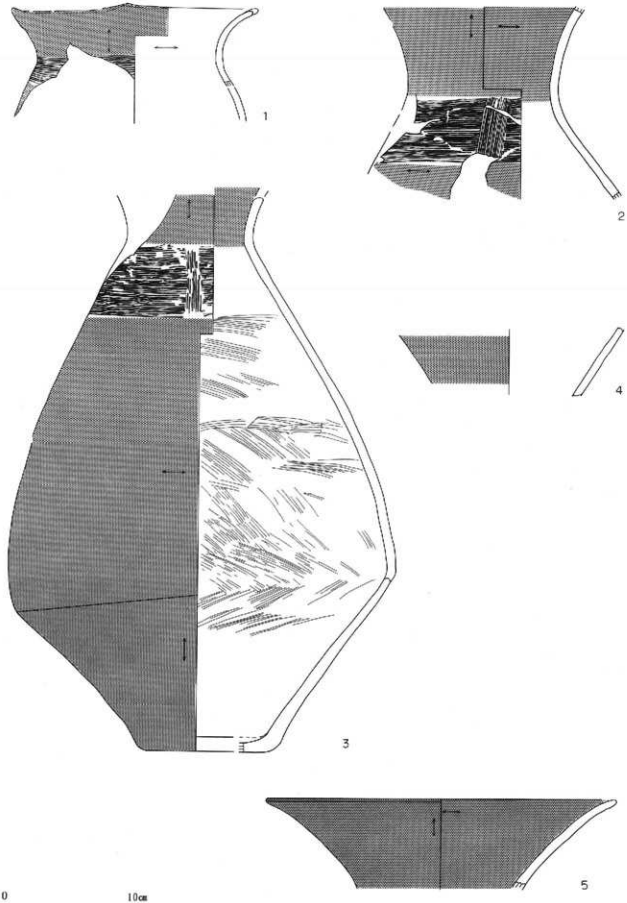




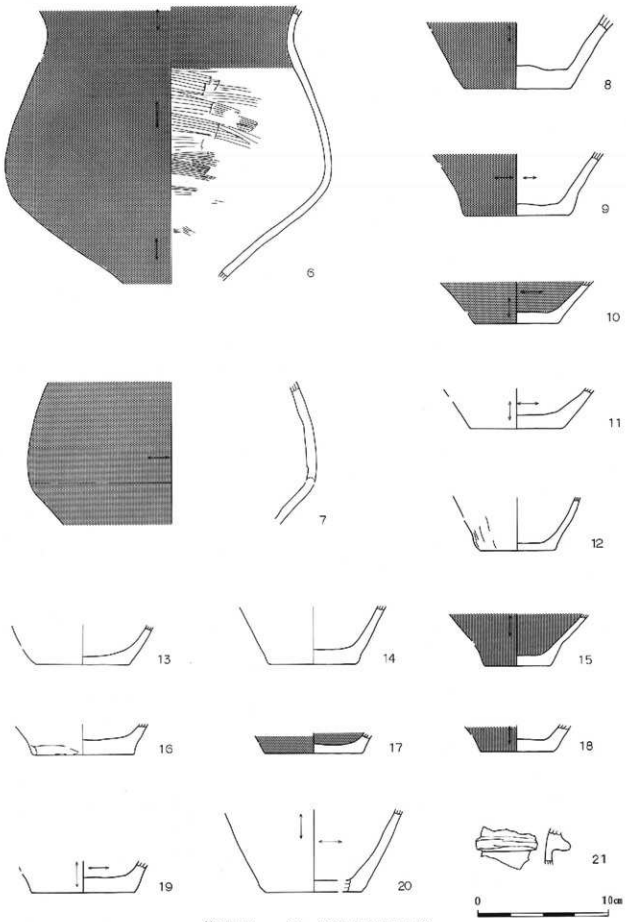




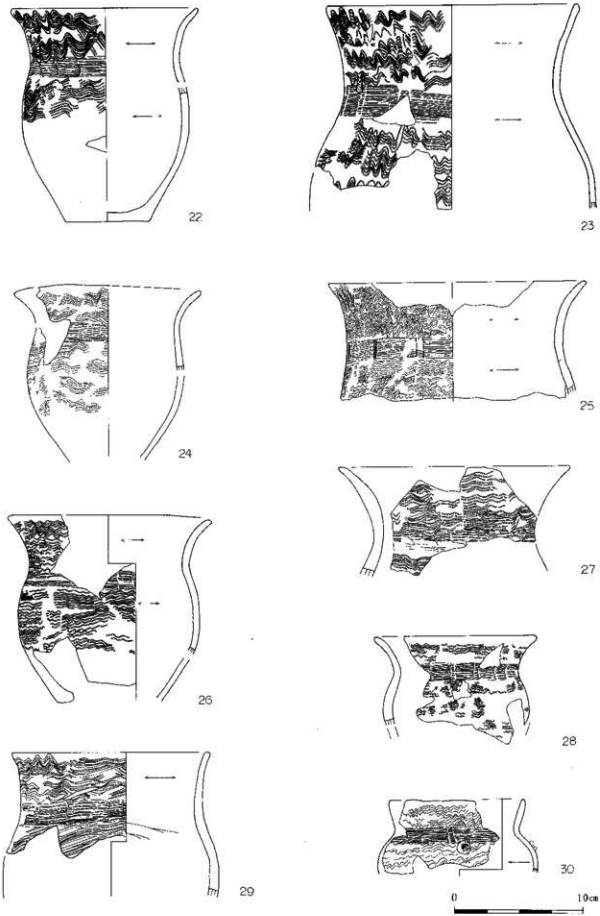
第 34 図　SB－18 遺物実測図 (3)



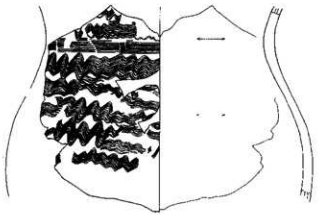
第 35 図　SB－19 遺物実測図 (1)

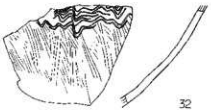


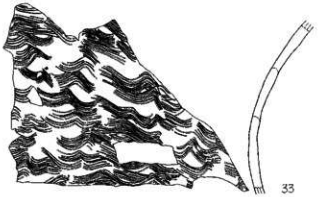
第 35 図　SB－19 遺物実測図(2)

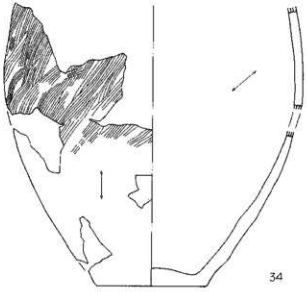


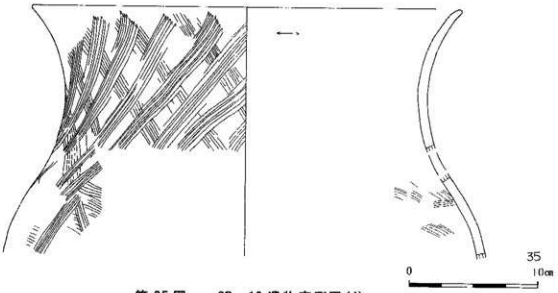
第 35 図　SB－19 遺物実測図(3)



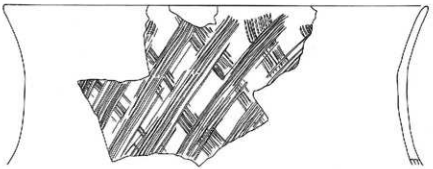


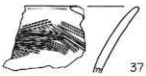


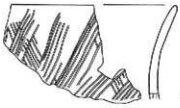


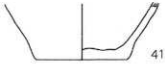


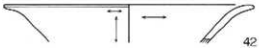
第 35 図　SB－19 遺物実測図 (4)

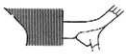


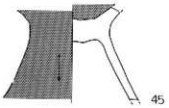


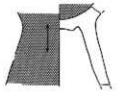


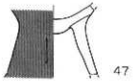


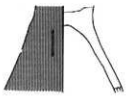


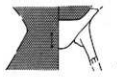




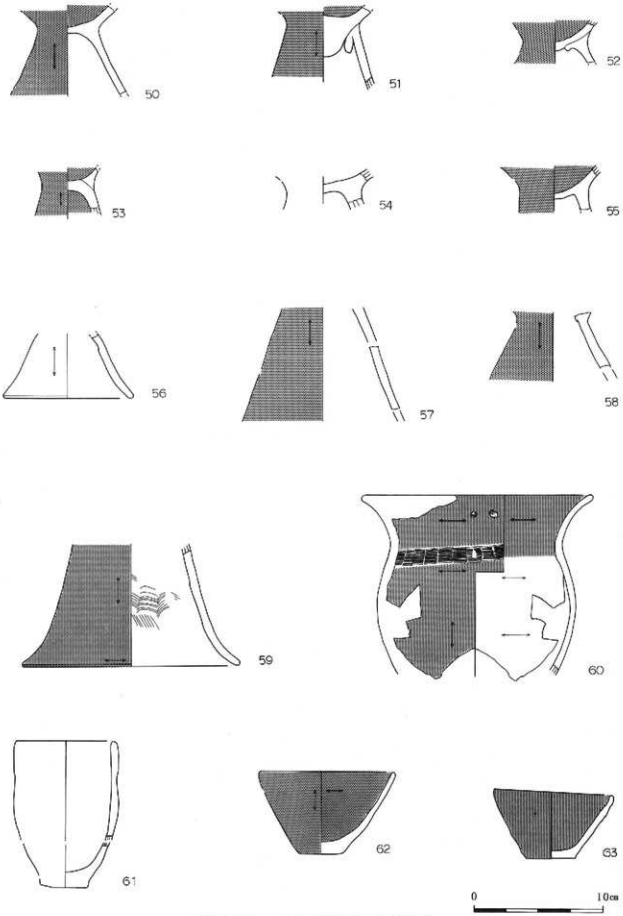




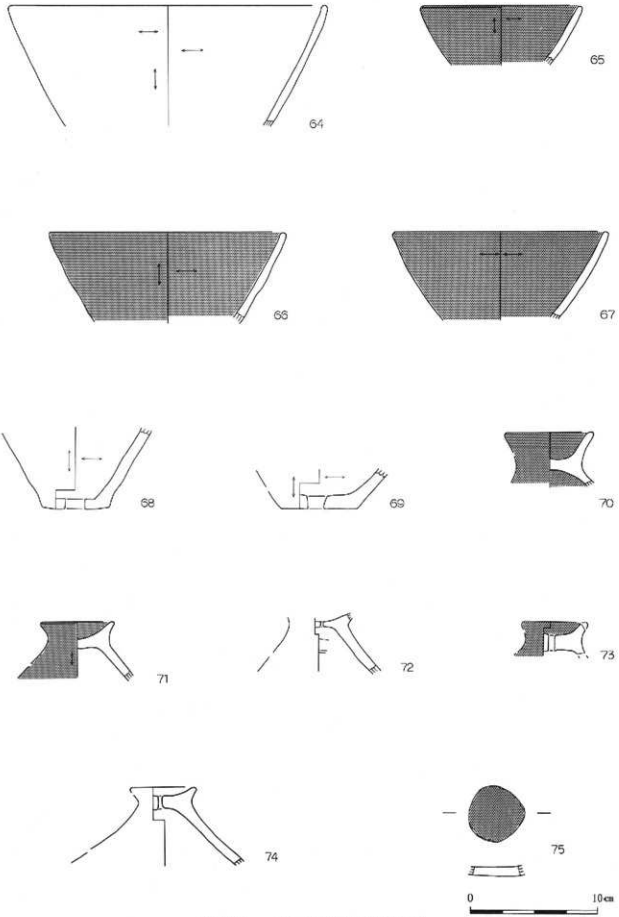




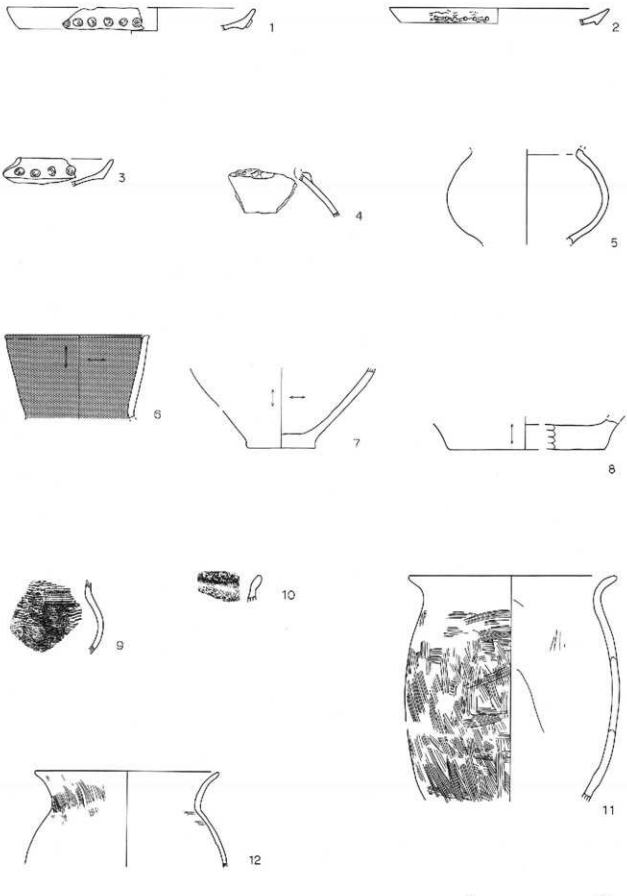
第 35 図　SB－19 遺物実測図 (5)



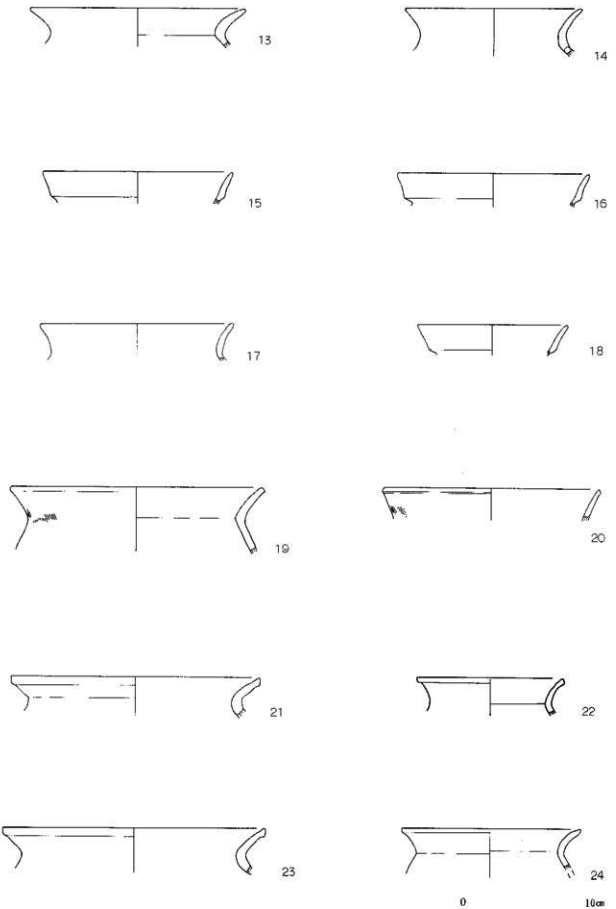
第 35 図　SB－19 遺物実測図(6)



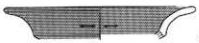
第 35 図　SB－19 遺物実測図 (7)

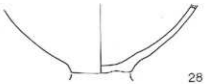


第 36 図　SB－20 遺物実測図(1)

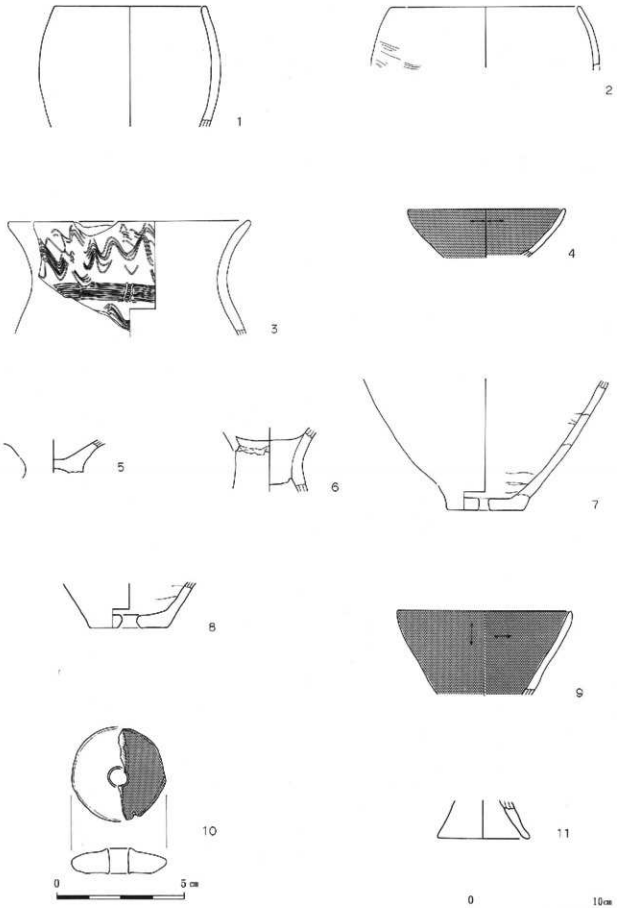


第 36 図　SB－20 遺物実測図(2)

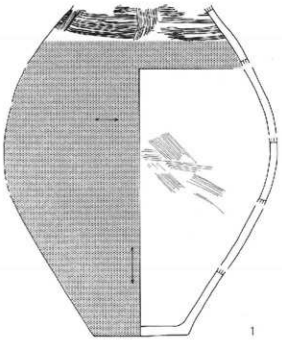


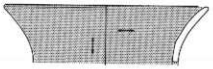


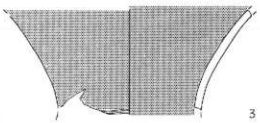
第 36 図　SB－20 遺物実測図 (3)

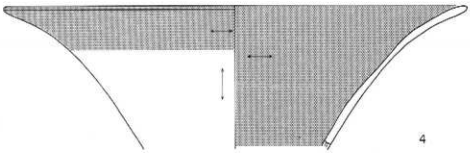


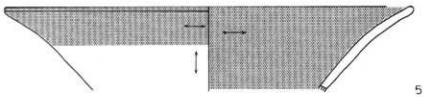
第 37 図　SB－21 遺物実測図



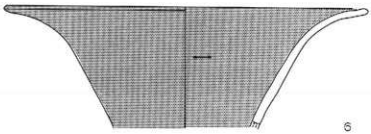


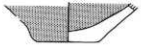


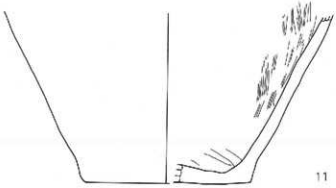


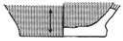


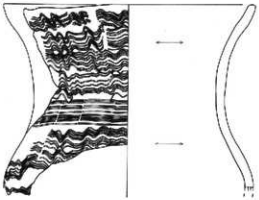
第 38 図　SB－22 遺物実測図 (1)

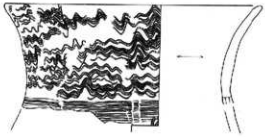




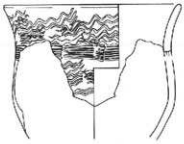


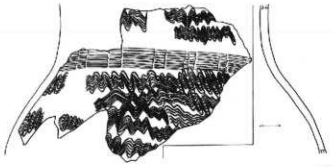


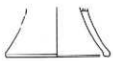


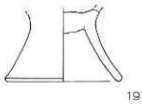


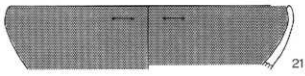
第 38 図　SB－22 遺物実測図(2)

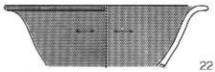




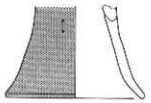


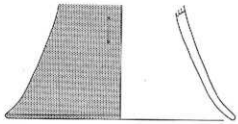


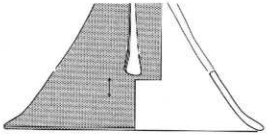


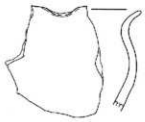


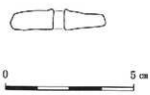
第 38 図　SB－22 遺物実測図 (3)



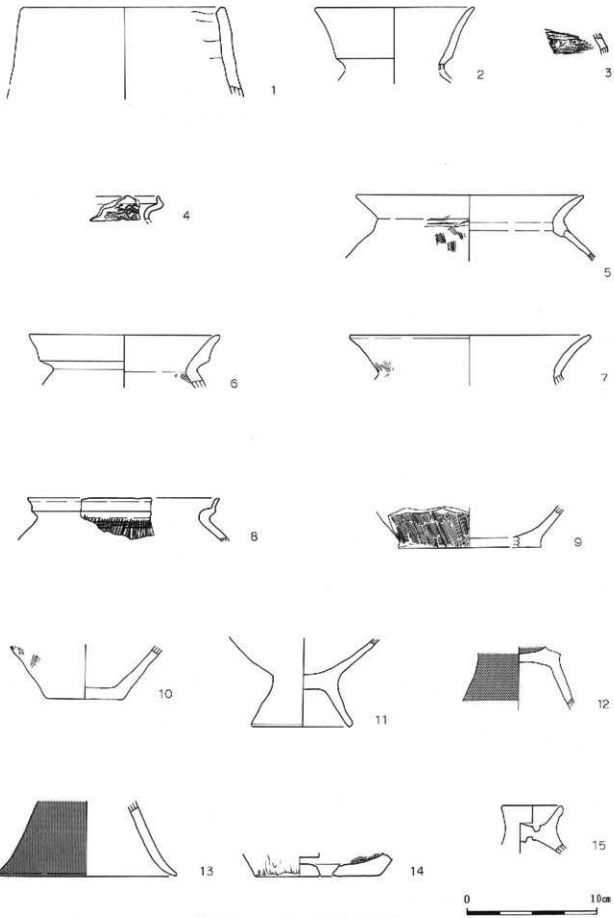




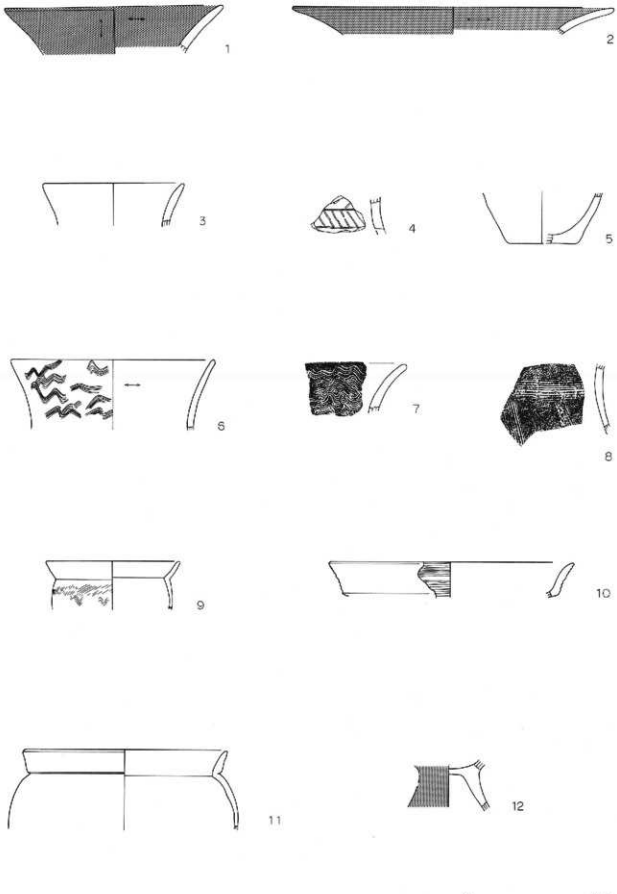




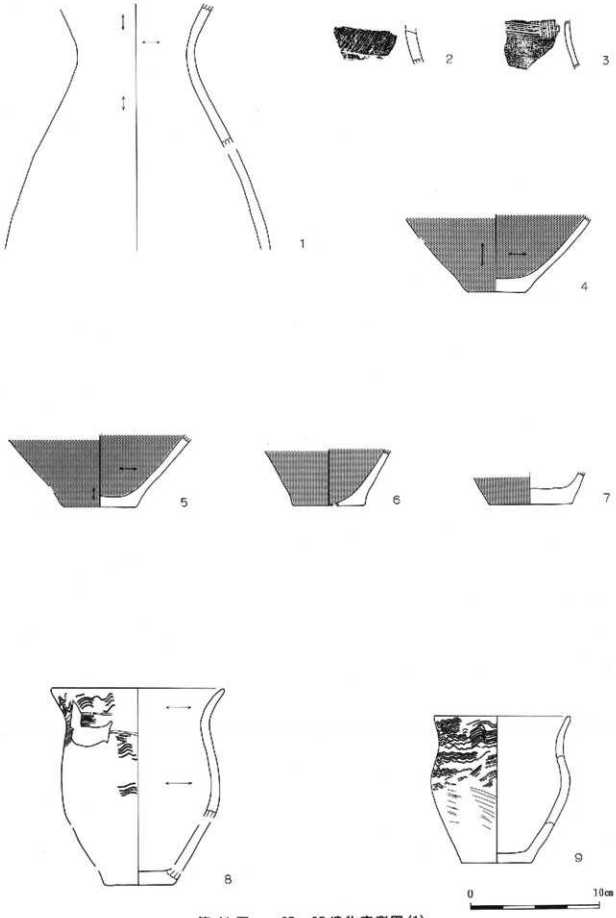
第 38 図　SB－22 遺物実測図(4)



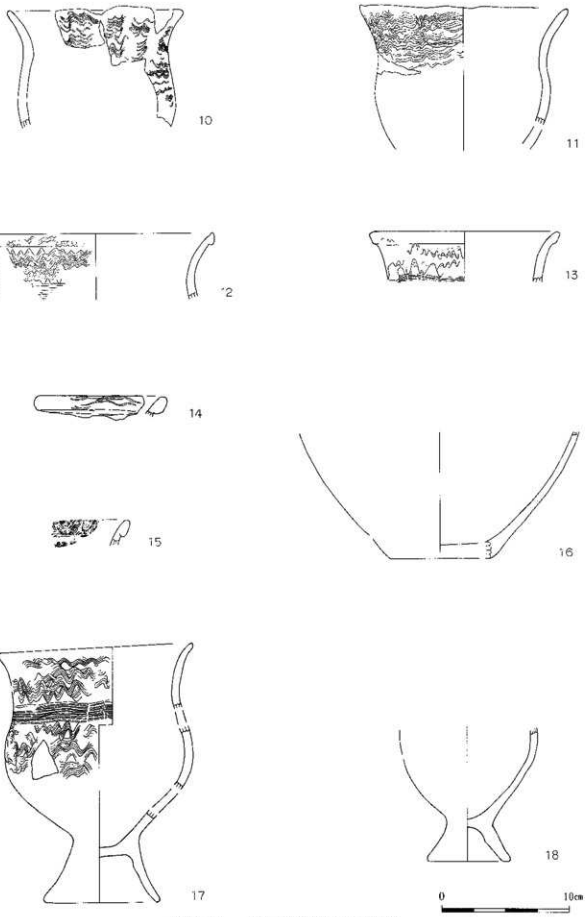
第 39 図　SB－23 遺物実測図



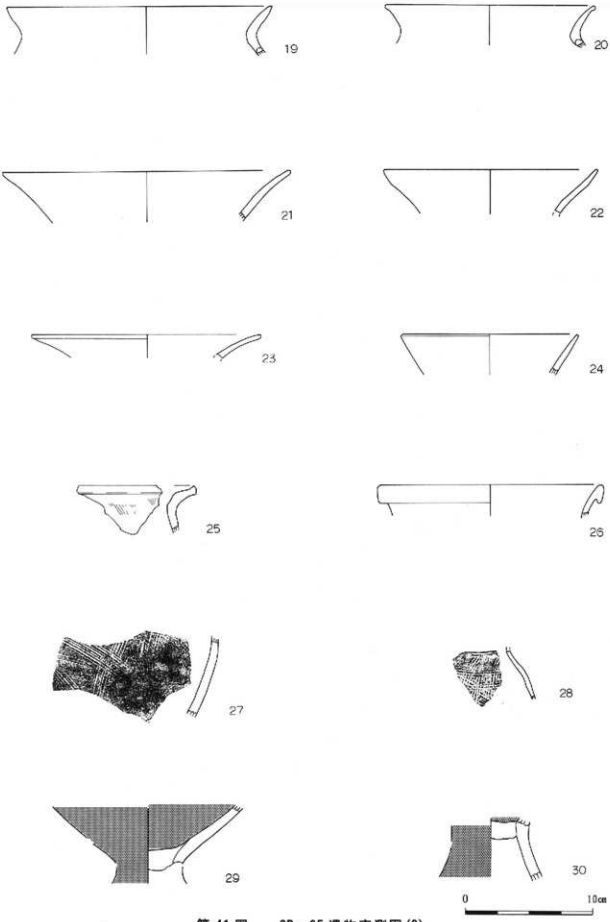
第 40 図　SB－24 遺物実測図



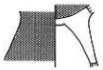
第 41 図　SB－25 遺物実測図 (1)

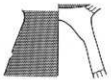


第 41 図　SB－25 遺物実測図 (2)



第 41 図　SB－25 遺物実測図 (3)

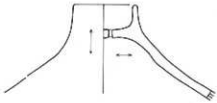

31


32

33

34

35


36

37

38

39

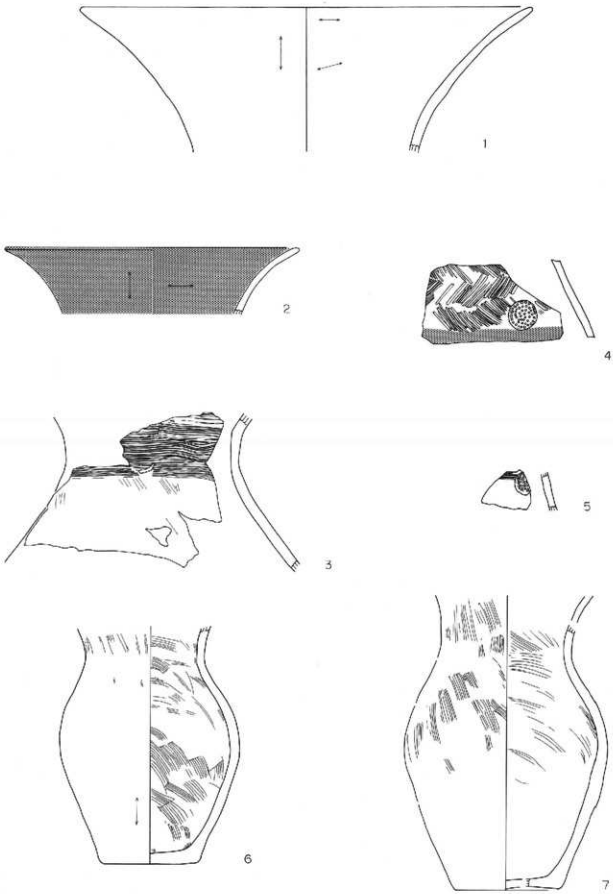
40

41

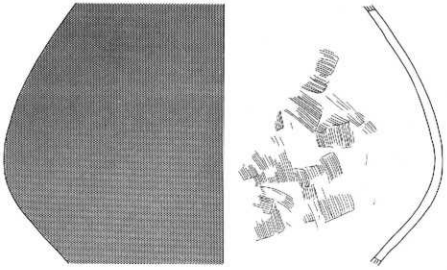
42

0 10cm

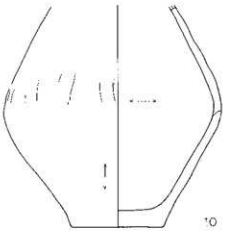
第 41 図　SB－25 遺物実測図(4)

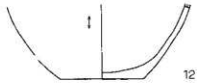


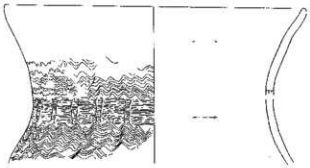
第 42 図　SB－26 遺物実測図(1)

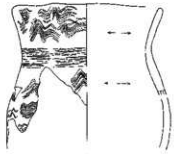


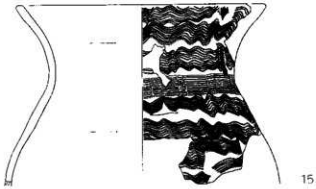
第 42 図　SB－26 遺物実測図(2)

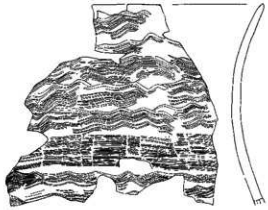




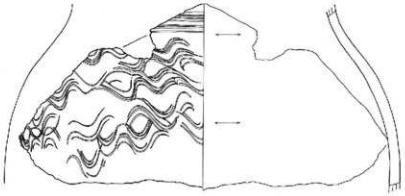


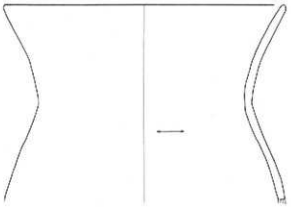


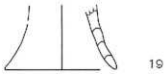


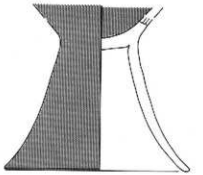


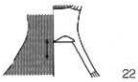
第 42 図　SB－26 遺物実測図(3)

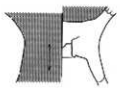




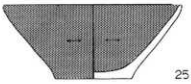


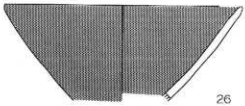


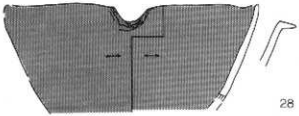


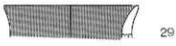


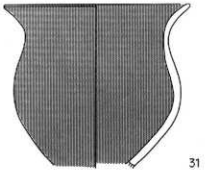
第 42 図　SB－26 遺物実測図 (4)



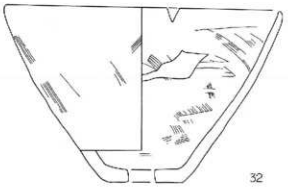


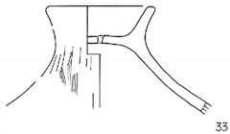


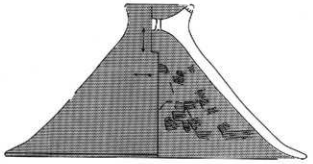


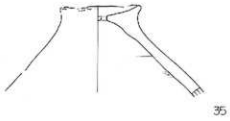


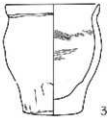
第 42 図　SB－26 遺物実測図 (5)



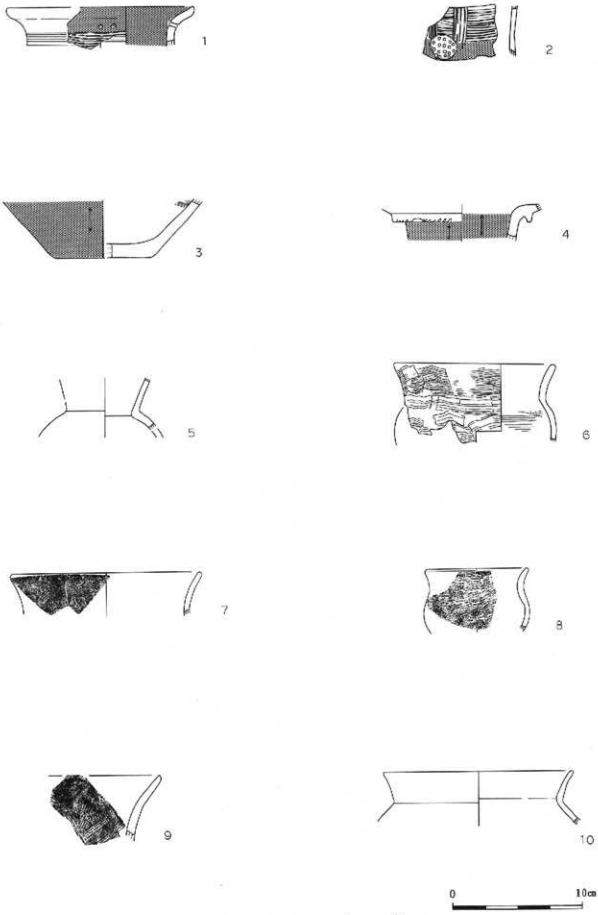




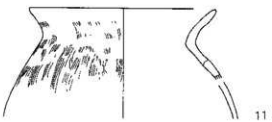


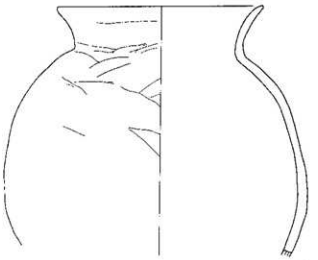


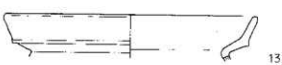
第 42 図　SB－26 遺物実測図 (6)

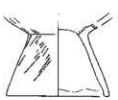


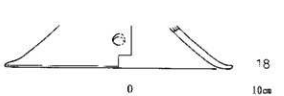
第 43 図　SB－27 遺物実測図(1)



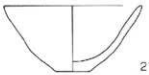


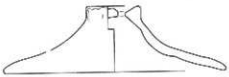




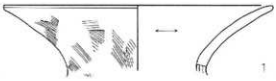


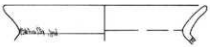
第 43 図　SB－27 遺物実測図 (2)

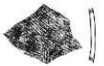


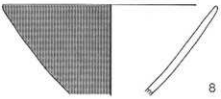


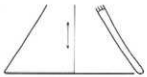
第 43 図　SB－27 遺物実測図 (3)



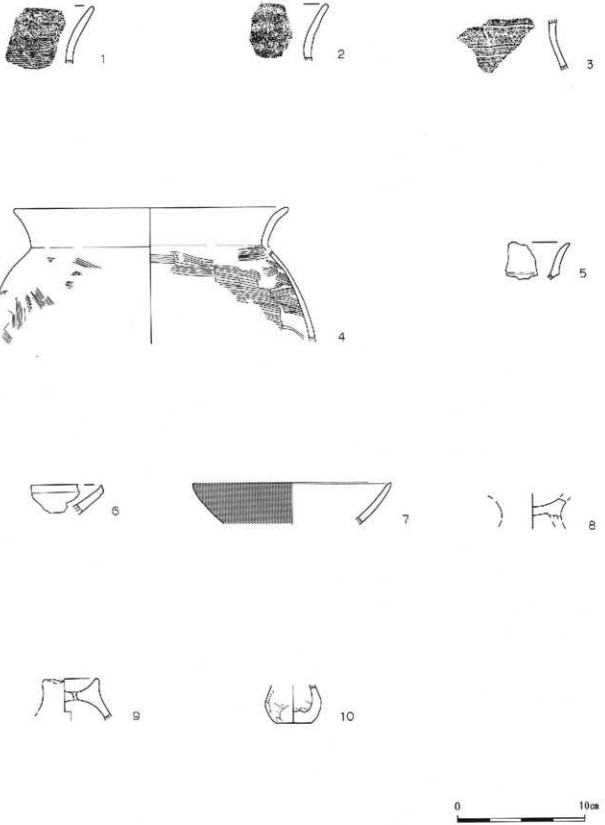




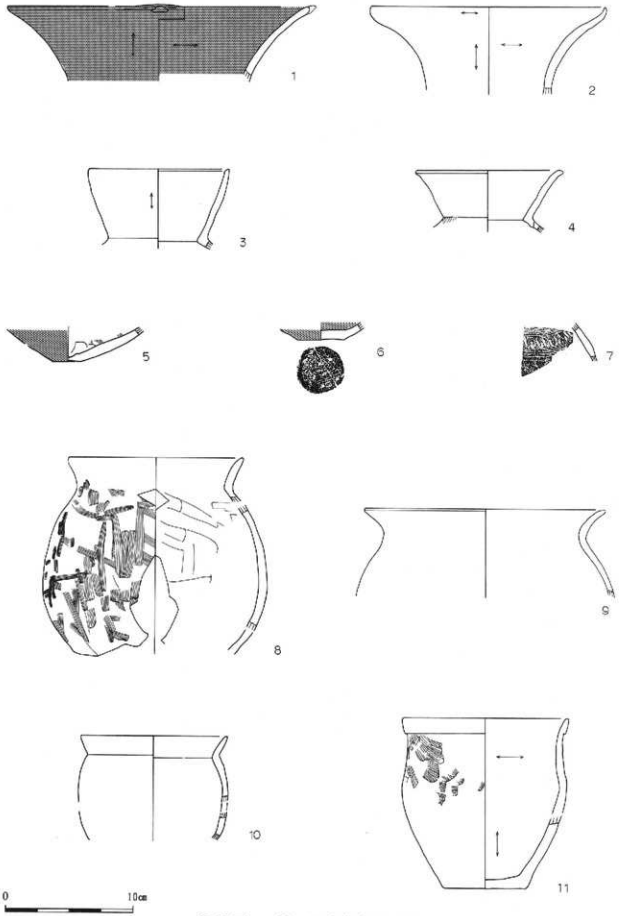




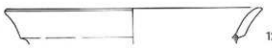
第 44 図　SB－28 遺物実測図



第 45 図　SB－29 遺物実測図

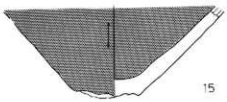


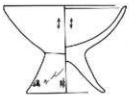
第 46 図　SB－30 遺物実測図 (1)

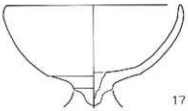

12

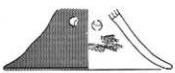
13

14


15


16


17


18

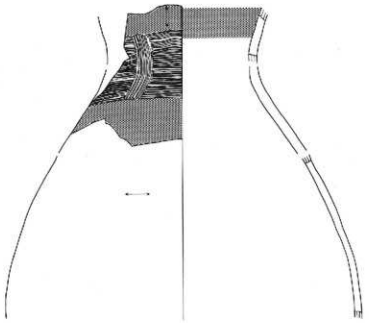
19

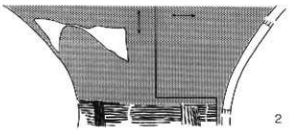
20

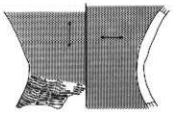
21

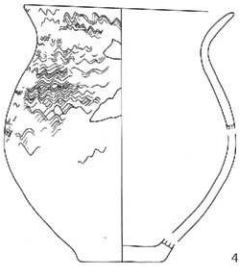
22

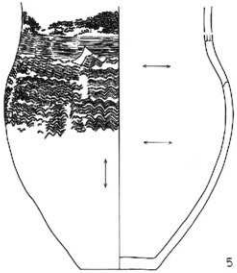
第 46 図　SB－30 遺物実測図 (2)



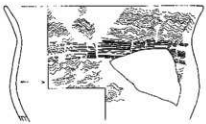


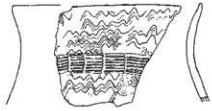


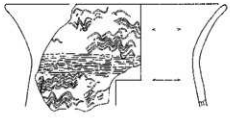


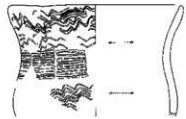


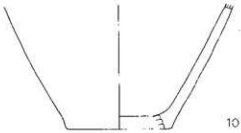
第 47 図　SB－31 遺物実測図(1)



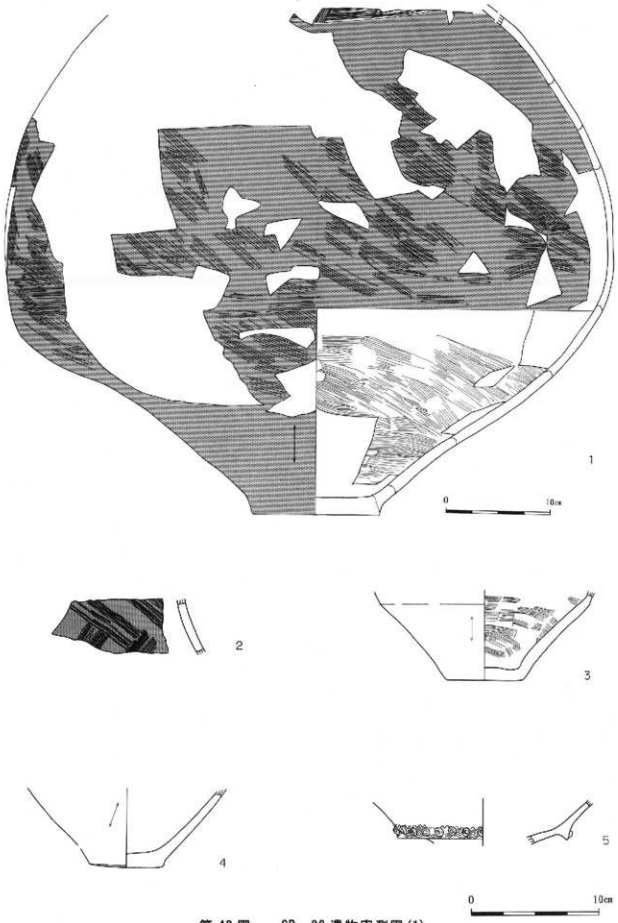




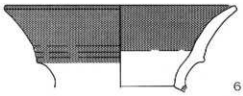


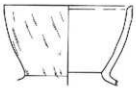


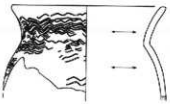
第 47 図　SB－31 遺物実測図 (2)

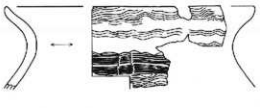


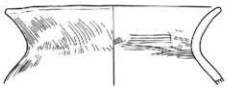
第 48 図　SB－32 遺物実測図 (1)

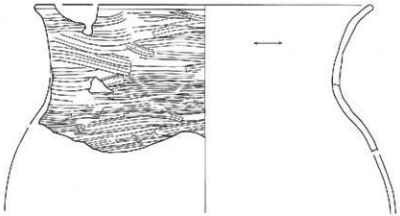




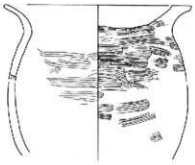


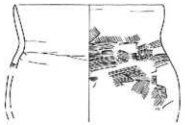


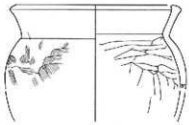


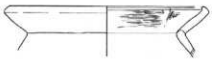


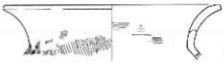
第 48 図　SB－32 遺物実測図(2)

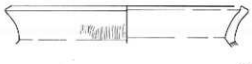




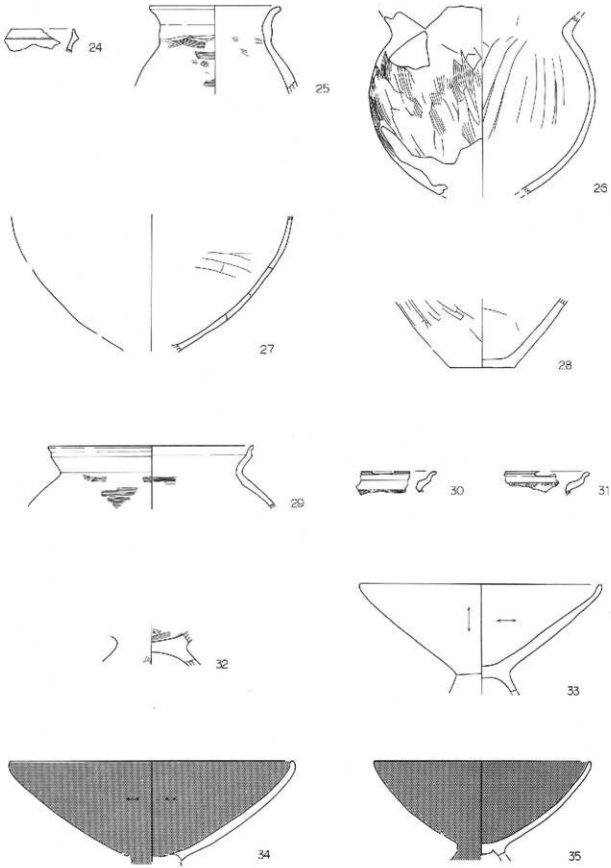




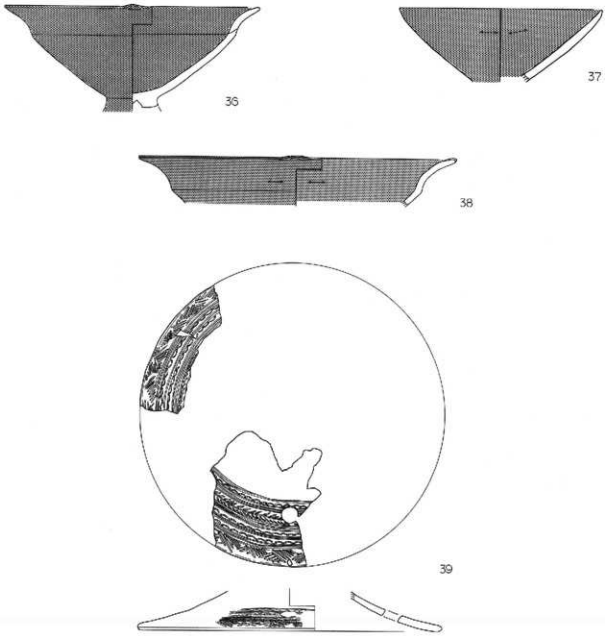




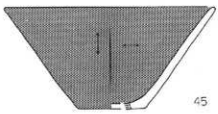
第 48 図　SB－32 遺物実測図 (3)

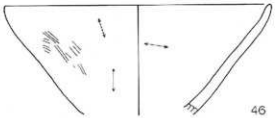


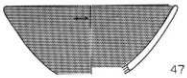
第 48 図　SB－32 遺物実測図 (4)

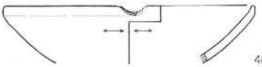


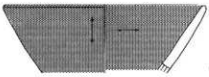
第 48 図　SB－32 遺物実測図 (5)

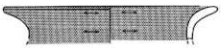


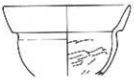




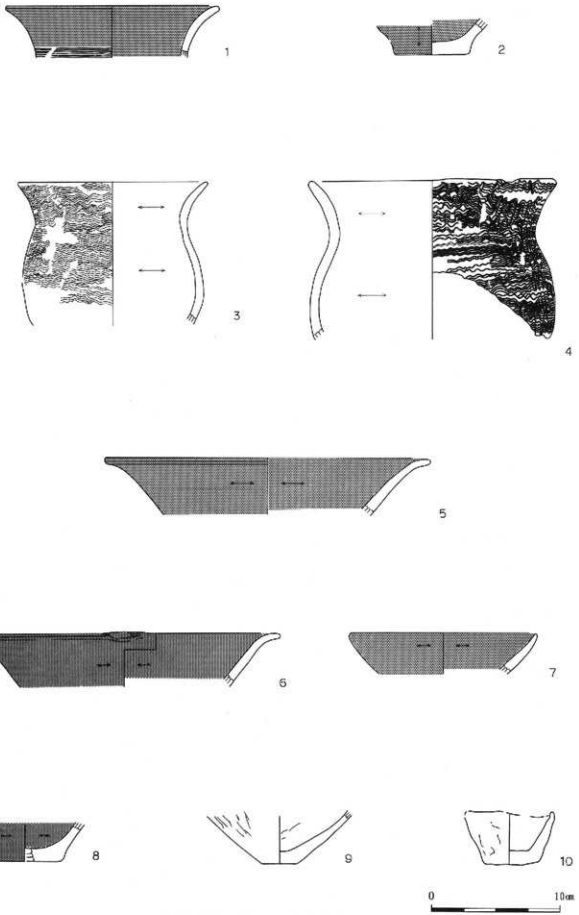




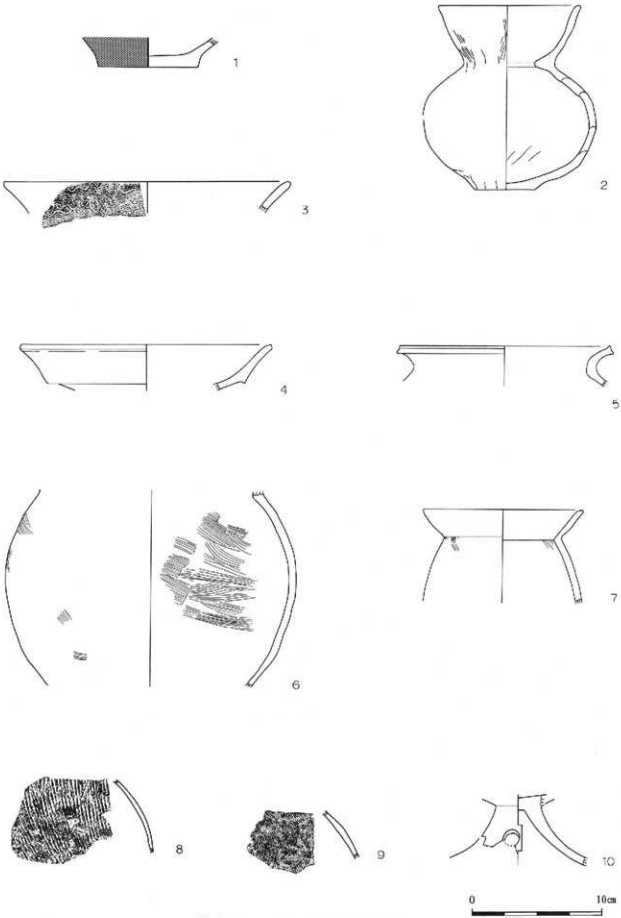




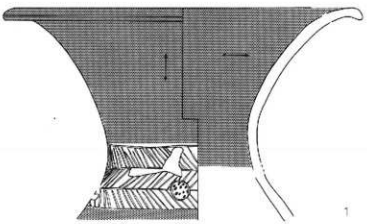
第 48 図　SB－32 遺物実測図 (6)

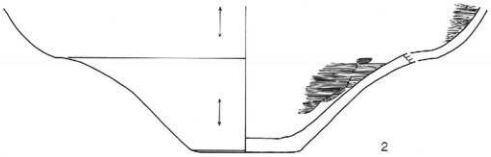


第 49 図　SB－33 遺物実測図

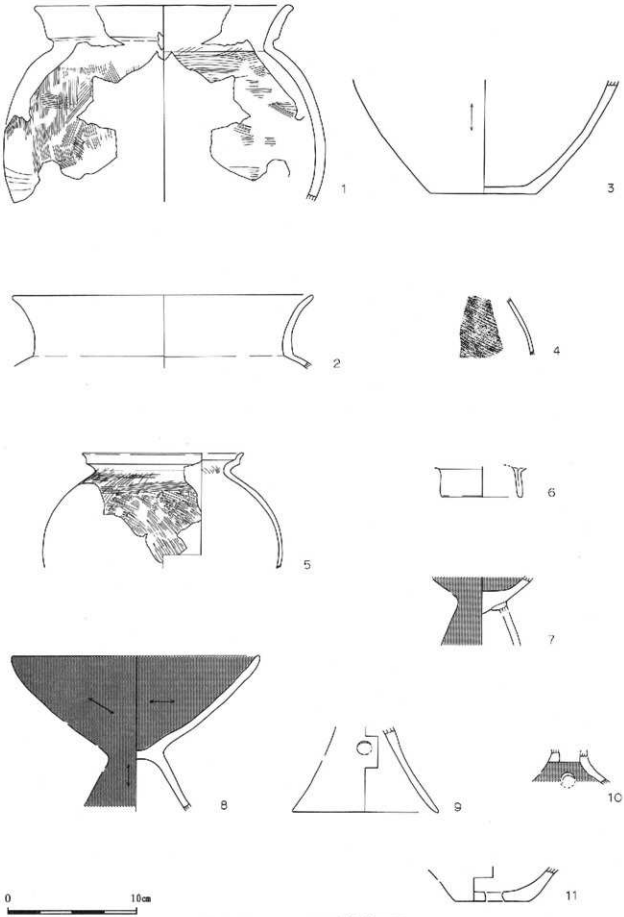


第 50 図　SB－34 遺物実測図

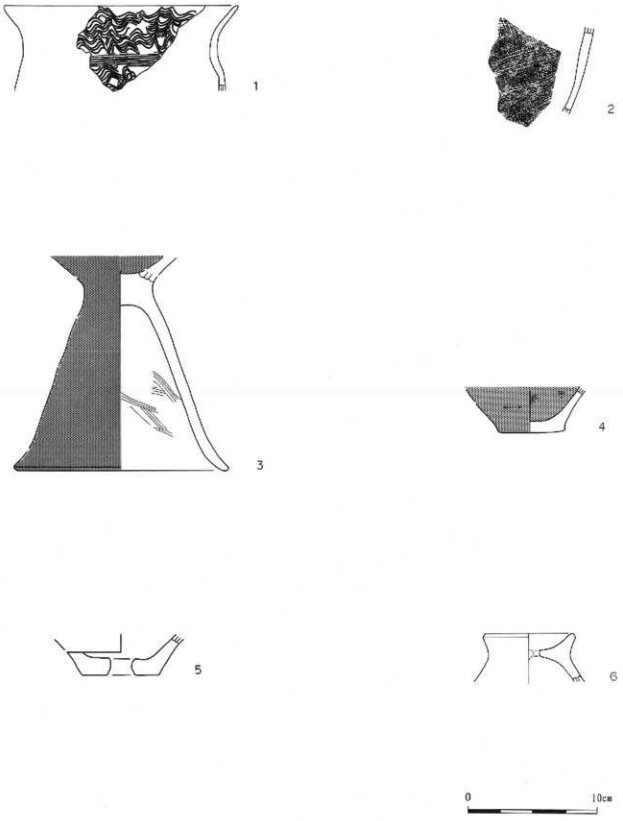




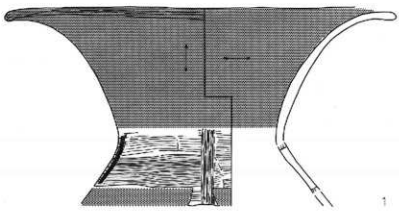
第 51 図　SB－35・36 遺物実測図

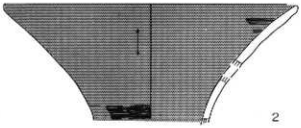


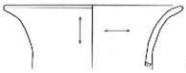
第 52 図　SB－37 遺物実測図

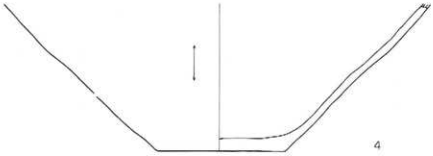


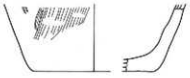
第 53 図　SB－38 遺物実測図



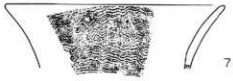


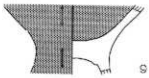


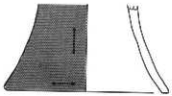


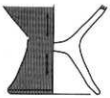


第 54 図　SB－40 遺物実測図(1)

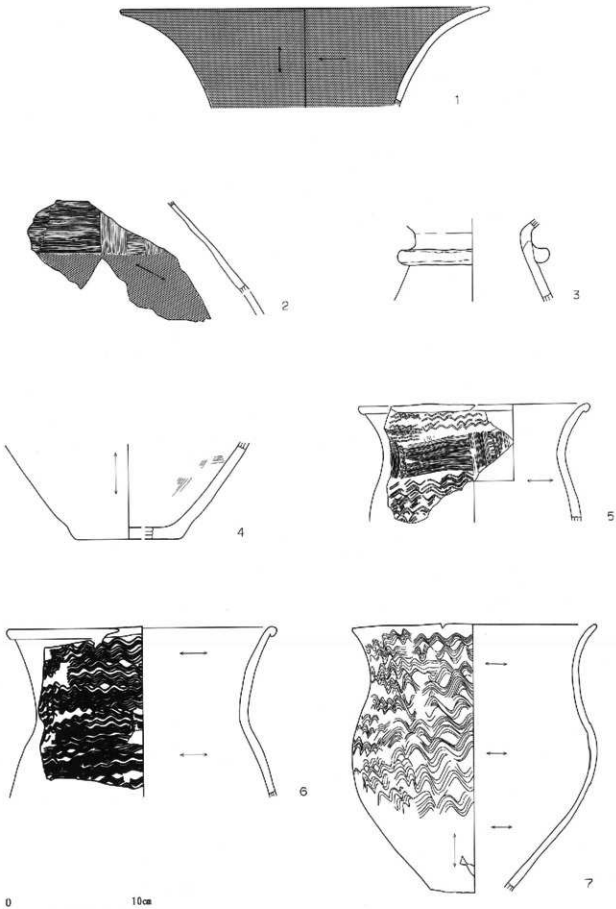




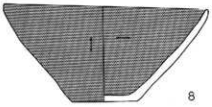


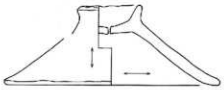


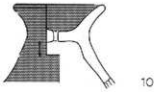
第 54 図　SB－40 遺物実測図(2)



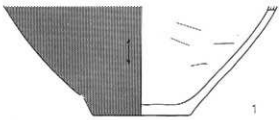
第 55 図　SK－01 遺物実測図 (1)



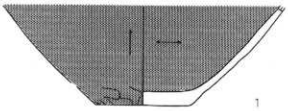




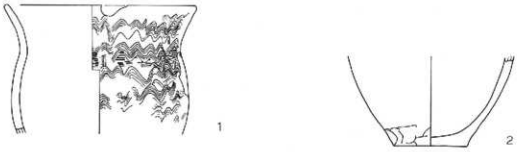
第 55 図　SK－01 遺物実測図(2)



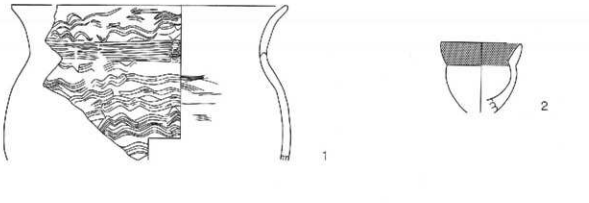
第 56 図　SK－02 遺物実測図



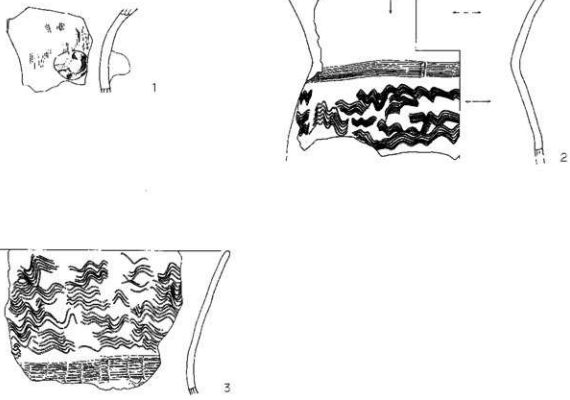
第 57 図　ピット遺物実測図



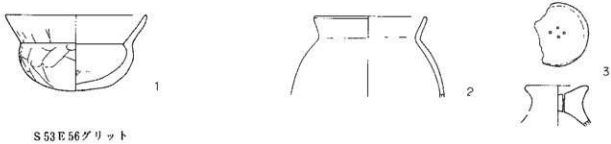
第 58 図　トレンチ－04 遺物実測図



第 59 図　トレンチ－07 遺物実測図



第 60 図　　トレンチ－08 遺物実測図



S 53 E 56グリット

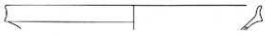
S 54 E 56グリット

第 61 図　　遺構外出土遺物実測図 (1)

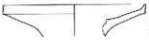
4

5

6

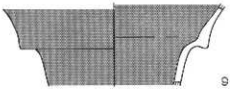


7



8

S54E58グリット

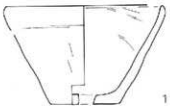


9

S55E58グリット

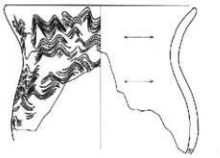
10

S58E54グリット



11

S59E54グリット

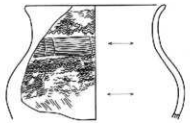


12

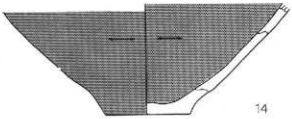
S59E55グリット

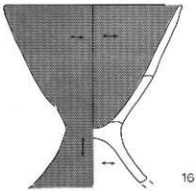
0 10cm

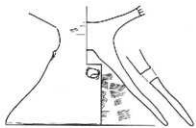
第 61 図　遺構外出土遺物実測図 (2)

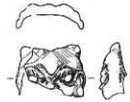


S62E57グリット









0 10cm

0 5cm

第 61 図　遺構外出土遺物実測図(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-16	壺	口径(13.2) 残高 5.0 底径 －	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐	口縁部は大きく外反する	(外) ナデ（ヨコ、ナナメ）の後ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
1	弥生	口縁部一部	(内) 5YR5/4 にぶい赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 7.3 底径 9.8	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐	平底より立ち上がる	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) 剥落
2	弥生	胴部一部～底部	(内) 5YR5/8 明赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 4.1 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐		(外) 矢羽根状文を施す (内) ヘラミガキ
3	弥生	頸部一部	(内) 5YR5/8 明赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 13.1 底径 11.9	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤	平底より立ち上がり、胴部下位で緩く外反する	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩
4	弥生	胴下位～底部	(内) 2.5YR6/8 橙	＊床着	(内) 剥落
SB-16	壺	口径 12.8 器高 15.9 底径 5.2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐	平底 胴部中位に最大径を有する 口径は胴部最大径より大きい	(外) 波状文を下から上へ施す (内) 刷毛調整
5	弥生	ほぼ完存	(内) 5YR5/4 にぶい赤褐	＊床着	
SB-16	壺	口径 10.8 器高 14.1 底径 5.2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐	平底より立ち上がり、胴部より緩やかに外反して口縁部に至る　口径と胴部最大径は同じ　＊床着	(外) 波状文を施す (内)
6	弥生	口縁1/2～底部	(内) 7.5YR5/4 にぶい褐		
SB-16	壺	口径(14.8) 残高 12.2 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐	緩やかに外反する	(外) 波状文、簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
7	弥生	口縁1/4～胴部一部	(内) 5YR6/4 にぶい橙		
SB-16	壺	口径(22.0) 残高 4.0 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3 暗褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を下から上へ施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
8	弥生	口縁部一部	(内) 7.5YR4/3 褐		
SB-16	壺	口径(21.0) 器高 4.0 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/2 暗赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
9	弥生	口縁部一部	(内) 5YR3/6 暗赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 2.4 底径 －	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を施す (内)
10	弥生	口縁部一部	(内) 10YR3/2 黒褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 3.0 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3 暗褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を施す (内)
11	弥生	口縁部一部	(内) 7.5YR3/2 黒褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 1.9 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を施す (内)
12	弥生	口縁部一部	(内) 2.5YR5/6 明赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 2.2 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R2/3 極暗赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
13	弥生	口縁部一部	(内) 7.5R3/3 暗赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 5.0 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4 にぶい黄褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) ヘラミガキ（ヨコ） (内)
14	弥生	口縁部一部	(内) 2.5YR5/6 明赤褐		
SB-16	壺	口径 － 残高 6.4 底径 8.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3 にぶい黄橙	平底より立ち上がる	(外) 刷毛調整（タテ） (内) 刷毛調整（ヨコ）
15	弥生	胴部一部～底部	(内) 10YR6/2 灰黄褐		

第３表　遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-16 16	甕 弥生	口径 − 残高 3.3 底径 6.4 ■■−■−■■	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3 暗褐 (内) 7.5YR3/4 暗褐	平底より立ち上がり、少し外反して胴部に移行する	(外) ヘラケズリ (タテ) ナデ (ヨコ) (内) ヘラケズリ (ヨコ)
SB-16 17	甕 弥生	口径 − 残高 7.5 底径 8.0 ■■−■−■■	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	平底より立ち上がり、緩く丸みを持った胴部へ移行する ＊床着	(外) ヘラケズリ (タテ) (内) ヘラケズリ (ナナメ) の後ヘラケズリ (ヨコ)
SB-16 18	高坏 弥生	口径(25.0) 残高 7.4 裾径 − ■■■−■−■■−■	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	坏部に緩い稜を有し、外反して口縁部に至る 口縁部に突起を有する	(外) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-16 19	高坏 弥生	口径(29.0) 残高 4.2 裾径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3 にぶい橙 (内) 10R5/8 赤	緩やかな坏部 口縁部端で外側に屈折する	(外) ヘラミガキ (ヨコ) (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-16 20	高坏 弥生	口径(22.5) 残高 4.5 裾径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4 暗赤褐 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐	坏部に緩い稜を持ち、外反して口縁部に至る	(外) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-16 21	高坏 弥生	口径 − 残高 8.0 裾径 − 脚部 1/5	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤色 (内) 5YR4/6 暗褐色	脚部に三角形の透かしを有する	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ (ヨコ)
SB-16 22	高坏 弥生	口径 − 残高 5.3 裾径 − ■■■−■■■−■	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐		(外) 脚部ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) 坏部赤色塗彩
SB-16 23	深鉢 弥生	口径(11.8) 残高 9.4 底径 − □■■−■■■−■	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 10R4/8 赤〜2.5YR4/8 赤褐	丸みのある胴部より緩やかに外反して口縁部に至る	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 口縁部赤色塗彩
SB-16 24	深鉢 弥生	口径 − 残高 4.3 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4 暗赤褐 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐	口縁部に直径 2 mmの孔を穿つ	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-16 25	鉢 弥生	口径(17.2) 残高 7.0 底径 − □■■−■■1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-16 26	鉢 弥生	口径(16.0) 残高 6.9 底径 − □■■−■■1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8 赤褐 (内) 2.5YR4/8 赤褐	口縁部の先端で小さく内傾する	(外) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ、ナナメ) 赤色塗彩
SB-16 27	蓋 弥生	抓み径 6.5 器高 9.1 裾径 19.8 ■■■−■■■3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2 灰褐〜5YR4/6 赤褐 (内) 7.5YR4/3 褐〜3/1 黒褐	抓み部から裾部にかけて外反して大きく開く 天井部に1孔を穿つ ＊床着	(外) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミガキ (ヨコ)
SB-16 28	蓋 弥生	抓み径 4.9 器高 8.5 裾径 (14.0) ■■■−■■■−■	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙〜10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 5YR5/6 明赤褐〜10YR3/2 黒褐	裾部は外反する 天井部に孔を刻む (未製品?)	(外) ヘラケズリ ナデ (内) ヘラケズリ
SB-16 29	蓋 弥生	抓み径 5.4 残高 10.7 裾径 − 裾部縁欠損	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐〜4/2 灰褐 (内) 10YR3/2 黒褐	抓み部より緩やかに開く ＊床着	(外) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラケズリ、ナデの後ヘラミガキ (ヨコ)
SB-16 30	ミニチュア 弥生	口径 4.2 器高 2.2 底径 2.2 □■■−■■2/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	手捏ね 平底	(外) ナデ (内) ナデ

第４表　遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB－17 1	壺 弥生	口径 － 残高 25.5 底径 8.8 底部～頸部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4 にぶい橙 (内) 2.5YR6/4 にぶい橙	胴部は球形状に張り、胴部最大径を下位にもつ ＊床著	(外) 頸部に丁字文を施す 胴部へラミガキ（タテ、ヨコ） (内) 刷毛調整
SB－17 2	壺 弥生	口径 － 残高 8.3 底径 － 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4 赤褐～5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) 頸部に丁字文を施す　9条の横帯文を上から下へ施す ヘラミガキ（ヨコ）赤色塗彩 (内) ハケナデ（ヨコ）
SB－17 3	壺 弥生	口径 － 残高 8.0 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	胴部最大径に稜を有する	(外) 胴部上位ヘラミガキ（タテ） 胴部下位ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ナデ（ヨコ）
SB－17 4	壺 弥生	口径 － 残高 2.6 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) ボタン状貼付文を施す (内) ハケナデ（ヨコ）
SB－17 5	壺 弥生	口径 － 残高 4.2 底径 6.0 底部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	上げ底ぎみの底部	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB－17 6	壺 弥生	口径 － 残高 3.6 底径 (6.0) 胴部一底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ
SB－17 7	壺 弥生	口径 － 残高 3.1 底径 5.2 底部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	焼成後に底部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ　ナデ
SB－17 8	壺 弥生	口径 － 残高 3.7 底径 (5.4) 胴部一底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐		(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB－17 9	壺 弥生	口径 － 残高 1.8 底径 4.2 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤 (内) 10R3/6 暗赤		(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB－17 10	壺 弥生	口径(17.0) 残高 4.8 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐-10YR3/1 黒褐		(外) 5条1組の波状文を下から上へ施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB－17 11	壺 弥生	口径(15.8) 残高 3.8 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR2/3 極暗赤褐 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐		(外) 波状文を上から下へ施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB－17 12	壺 弥生	口径(15.6) 残高 4.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐 ～5YR5/2 灰褐	口縁部の先端で小さく内傾する	(外) 波状文を下から上へ施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB－17 13	壺 弥生	口径 － 残高 2.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) (内)
SB－17 14	壺 弥生	口径 － 残高 2.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 7.5YR4/3 褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) ナデ（ヨコ）の後ヘラミガキ (内) ナデ（ヨコ）
SB－17 15	壺 弥生	口径(21.7) 残高 5.7 底径 － 口縁部一胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	頸部で強く外反し、口縁部を外側に折り返す	(外) 縦位の条痕文を施す (内) ヘラケズリ（ヨコ）の後ナデ

第5表　遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-17 16	甕 弥生	口径(14.6) 残高 2.9 底径 − 口縁部−頸部−胴	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR2/1 黒 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部は外反する	(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ ナデ
SB-17 17	甕 土師	口径(10.4) 残高 4.7 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR3/1 黒褐	丸みのある胴部より外反して口縁部に至る	(外) 口縁部ナデ (ヨコ)、ヘラミガキ (内) ナデ (ヨコ) ヘラミガキ
SB-17 18	甕 土師	口径(19.3) 残高 5.8 底径 − 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/2 暗赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐		(外) ヘラケズリ ナデ (ヨコ) (内) ヘラケズリ、ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-17 19	甕 土師	口径(17.0) 残高 3.2 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	口縁部の内側に稜を有して短く外反する	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-17 20	甕 土師	口径 − 残高 3.5 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR4/3 褐		(外) 斜位の条痕文を施す (内) 刷毛調整 (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-17 21	甕 土師	口径(20.6) 残高 3.2 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR3/2 暗赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-17 22	甕 土師	口径(15.5) 残高 2.6 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR6/8 橙	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-17 23	甕 土師	口径(20.0) 残高 3.3 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	頸部より屈曲して口縁部に至る 口縁部の先端は抓み上げられ稜を有する	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-17 24	甕 土師	口径(12.3) 残高 1.7 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-17 25	甕 土師	口径 − 残高 2.7 底径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR5/6 明褐	口唇部に連続した刻み目を施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-17 甕 26	台付 土師	口径(17.0) 残高 3.4 裾径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3 暗赤褐 (内) 2.5YR3/3 暗赤褐	S字状口縁	(外) 胴部刷毛調整 (内) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-17 甕 27	台付 土師	口径 − 残高 3.2 裾径 − 口縁部−胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR2/2 黒褐 (内) 10YR2/2 黒褐	S字状口縁	(外) 胴部刷毛調整 (内) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ
SB-17 甕 28	台付 土師	口径 − 残高 4.0 裾径 8.0 脚部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	接合部より小さく外反して裾部に至る	(外) ヘラケズリの後ナデ (内) ヘラケズリの後ナデ
SB-17 29	甕 土師	口径 − 残高 4.7 底径 − 胴部−脚	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR2/2 黒褐 (内) 7.5YR3/3 暗褐		(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-17 30	甕 土師	口径 − 残高 5.0 底径 − 胴部−脚	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/2 黒褐 (内) 7.5YR3/4 暗褐		(外) (内)

第６表　遺物観察表(4)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-17	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) 刷毛調整
		残高 5.6	焼；良好		
		底径 —	色；(表) 7.5YR3/3 暗褐		(内) ヘラケズリ
31	土師	胴部一部	(内) 10YR3/2 黒褐		
SB-17	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) 刷毛調整
		残高 2.2	焼；良好		
		底径 —	色；(表) 5YR4/6 赤褐		(内) ナデ (ヨコ)
32	土師	胴部一部	(内) 5YR4/6 赤褐		
SB-17	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) 条痕文を施す
		残高 4.3	焼；良好		
		底径 —	色；(表) 7.5YR3/3 暗褐		(内) ナデ
33	土師	胴部一部	(内) 7.5YR4/6 褐		
SB-17	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) 条痕文を施す
		残高 4.1	焼；良好		
		底径 —	色；(表) 5YR4/6 赤褐		(内) ナデ
34	土師	胴部一部	(内) 5YR4/6 赤褐		
SB-17	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) 条痕文を施す
		残高 4.8	焼；良好		
		底径 —	色；(表) 7.5YR3/3 暗褐		(内) ナデ
35	土師	胴部一部	(内) 7.5YR3/2 黒褐		
SB-17	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) 刷毛調整
		残高 6.5	焼；良好		
		底径 —	色；(表) 2.5YR3/4 暗赤褐		(内) ナデ
36	土師	頸部一部	(内) 2.5YR3/3 暗赤褐		
SB-17	高坏	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部に突起を有する	(表) ヘラミガキ (タテ) の後ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
		残高 2.4	焼；良好		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
37	弥生	裾径 —	色；(表) 10R3/4 暗赤		赤色塗彩
		口縁部一部	(内) 10R4/6 赤		
SB-17	高坏	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	緩やかに広がって裾部に至る	(表) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 5.7	焼；良好		赤色塗彩
		裾径(17.2)	色；(表) 10R4/6 赤		(内) ヘラケズリ
38	弥生	脚部 1/6	(内) 5YR4/8 赤褐		
SB-17	高坏	口径 19.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	接合部より丸みをもって開き坏部に稜を有して外反して口縁部に至る	(表) 刷毛調整
		残高 6.8	焼；良好		赤色塗彩
		裾径 —	色；(表) 10R4/8 赤 2.5YR4/6 赤褐		(内) 刷毛調整の後ヘラミガキ (ヨコ、ナナメ) 赤色塗彩
39	土師	坏部 2/3	(内) 10R4/8 赤 2.5YR4/6 赤褐		
SB-17	高坏	口径 14.6	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	坏部に稜を有し、内弯してそのまま口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 6.4	焼；良好		
		裾径 —	色；(表) 5YR5/6 明赤褐		(内) ヘラミガキ (タテ)
40	土師	脚2/3割損	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-17	高坏	口径(15.4)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部は稜を有して外反する	(表) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ
		残高 3.2	焼；良好		
		裾径 —	色；(表) 2.5YR5/6 明赤褐		(内) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ
41	土師	口縁部一部	(内) 5YR6/6 橙		
SB-17	高坏	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	脚部に円形の透かしを有する	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 2.2	焼；良好		
		裾径 26.4	色；(表) 7.5YR6/6 橙		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
42	土師	脚部 1/2	(内) 7.5YR5/4 にぶい褐		
SB-17	高坏	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	脚部に透かしを有する	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 5.5	焼；良好		
		裾径(10.0)	色；(表) 7.5YR5/4 にぶい褐		(内) ヘラケズリ
43	土師	脚部一部	(内) 5YR5/4 にぶい赤褐		
SB-17	深鉢	口径 (9.0)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	胴部より緩やかに外反して口縁部に至る	(表) ヘラミガキ
		残高 3.9	焼；良好		赤色塗彩
		底径 —	色；(表) 2.5YR3/6 暗赤褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
44	弥生	口縁部一部	(内) 5YR4/6 赤褐		口縁部のみ赤色塗彩
SB-17	壺	口径(13.2)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部に鍔状の突起を有する	(表) ヘラケズリの後ヘラミガキ (タテ、ヨコ)
		残高 4.5	焼；良好		(内) ナデ (ヨコ) の後ヘラミガキ (ヨコ)
45	土師	底径 —	色；(表) 2.5YR5/6 明赤褐		
		口縁部一部	(内) 2.5YR5/6 明赤褐		

第7表　遺物観察表(5)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-17 46	鉢 弥生	口径 － 残高 2.3 底径 － 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 2.5YR3/6 暗赤褐	口縁部に1対の孔を有する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-17 47	鉢 弥生	口径(17.0) 残高 3.9 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6 橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部の先端で内弯する	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-18 1	壺 弥生	口径 － 残高 13.6 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 5YR6/6 橙	焼成後、内側より削って1孔を有する ＊床着	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) 刷毛調整（ナナメ）
SB-18 2	壺 弥生	口径 － 残高 8.6 底径 14.0 底部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4 にぶい黄橙～5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR6/6 橙	平底	(外) (内) 剥落
SB-18 3	壺 弥生	口径 － 残高 13.4 底径(12.8) 胴部一底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 ～ 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 5YR6/6 橙 ～ 7.5YR4/1 黒	平底 ＊床着	(外) ヘラミガキ（タテ） (内)
SB-18 4	壺 弥生	口径 － 残高 10.0 底径 10.6 胴部一底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR3/2 黒褐～5YR6/6 橙	平底 ＊床着	(外) ヘラケズリ (内) ヘラミガキ（タテ）
SB-18 5	壺 弥生	口径(24.2) 残高 23.8 底径 － 口縁1/3 胴部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6 褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	丸みの有る胴部より緩やかに外反して口縁部に至る 胴部最大径は口径より大きい	(外) 口縁部波状文を施す 頸部櫛状文を施す (内) ナデ
SB-18 6	壺 弥生	口径 － 残高 26.6 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/8 明赤褐	胴部上位が張る ＊床着	(外) 波状文と櫛描羽状文を施す (内) ナデ
SB-18 7	壺 弥生	口径(28.9) 残高 8.6 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部は緩く外反する	(外) ナデ（ヨコ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-18 8	壺 弥生	口径 － 残高 2.7 底径 4.2 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/2 灰黄褐～7.5Y3/1 オリーブ黒 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	平底	(外) ヘラケズリ（タテ） (内) ナデ
SB-18 9	高坏 弥生	口径(35.0) 残高 11.2 裾径 － 口縁部一底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 10R3/6 暗赤	口縁部で大きく外反する	(外) 赤色塗彩 (内) 赤色塗彩
SB-18 10	高坏 弥生	口径(29.4) 残高 8.1 裾径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 10R3/6 暗赤	口縁部で大きく外反する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-18 11	高坏 弥生	口径(22.5) 残高 10.0 裾径 － 坏部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 ～7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 10R4/6 赤	坏部は内弯し、口縁部で外反する ＊床着	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-18 12	高坏 弥生	口径 － 残高 6.0 裾径 － 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 赤 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙		(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-18 13	高坏 弥生	口径 － 残高 4.6 裾径 － 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 赤 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐		(外) 赤色塗彩 (内) 坏部赤色塗彩

第８表　遺物観察表(6)

遺構図 図版No	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-18 14	深鉢 弥生	口径 － 残高 2.8 底径 － 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	頸部に1孔を穿つ	(外) (内)
SB-18 15	鉢 弥生	口径 － 残高 2.3 底径 5.6 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 10R4/8 赤	平底	(外) 赤色塗彩 (内) 赤色塗彩
SB-18 16	蓋 弥生	脚径 (5.2) 残高 6.3 裾径 － 抓み部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙～10YR4/1 褐灰 (内) 5YR4/6 赤褐	ラッパ状に開く	(外) ヘラケズリ ナデ (内) ヘラケズリ ナデ
SB-19 1	壺 弥生	口径(19.3) 残高 9.0 底径 － 口縁部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤～7.5YR6/6 橙 (内) 10YR3/1 黒褐～5YR6/8 橙	口唇部に山型突起を有する	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-19 2	壺 弥生	口径 － 残高 15.0 底径 － 頸部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	胴部より緩やかに外反して、口縁部に向かう	(外) 頸部にT字文を施す ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 3	壺 弥生	口径 － 残高 43.8 底径 12.5 頸部～底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 10R4/8 赤～2.5YR5/6 明赤褐	平底より立ち上がり胴部下位で反る ＊床着	(外) 頸部にT字文を施す 赤色塗彩 (内) 刷毛調整 赤色塗彩
SB-19 4	壺 弥生	口径 － 残高 5.2 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 7.5YR4/6 褐	接合部より直線的に開く ＊土器焼き炉	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 剥落
SB-19 5	壺 弥生	口径(27.2) 残高 7.0 底径 － 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤		(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 6	壺 弥生	口径 － 残高 21.8 底径 － 胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 2.5YR4/6 赤褐	広口の頸部 ＊床着	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) 刷毛調整 頸部赤色塗彩
SB-19 7	壺 弥生	口径 － 残高 11.2 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4 暗赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐		(外) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ (ヨコ)
SB-19 8	壺 弥生	口径 － 残高 5.8 底径 8.2 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4 暗赤褐 (内) 5YR4/3 にぶい赤褐		(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ
SB-19 9	壺 弥生	口径 － 残高 5.0 底径 8.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4 暗赤 (内) 5YR4/6 赤褐		(外) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 10	壺 弥生	口径 － 残高 3.3 底径 6.5 底部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 2.5YR4/2 灰赤		(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 11	壺 弥生	口径 － 残高 3.2 底径 7.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4 褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 12	壺 弥生	口径 － 残高 4.2 底径 5.6 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3 暗赤褐 (内) 2.5YR3/1 暗赤灰		(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ

第９表　遺物観察表 (7)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-19 13	壺 弥生	口径 − 残高 3.2 底径 7.2 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	平底	(A) ヘラケズリ(タテ) (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-19 14	壺 弥生	口径 − 残高 4.6 底径 (7.0) 底部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	平底	(A) ヘラミガキ(タテ) (内) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 15	壺 弥生	口径 − 残高 4.1 底径 5.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤		(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ(ヨコ、ナナメ) 赤色塗彩
SB-19 16	壺 弥生	口径 − 残高 2.4 底径 8.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	平底	(A) ヘラケズリ (内) 底部ナデの後ヘラケズリ
SB-19 17	壺 弥生	口径 − 残高 1.6 底径 7.6 底部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤		(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ(ヨコ) 赤色塗彩
SB-19 18	壺 弥生	口径 − 残高 2.1 底径 5.7 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 2.5YR5/4 にぶい赤褐		(A) ヘラミガキ(タテ) 赤色塗彩 (内) ナデ
SB-19 19	壺 弥生	口径 − 残高 2.5 底径 8.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	平底 P 8 から出土	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-19 20	壺 弥生	口径 − 残高 6.5 底径 (7.4) 胴部−底部−縁	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	平底	(A) ヘラミガキ(タテ) (内) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 21	壺 弥生	口径 − 残高 3.0 底径 − 胴部−一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR4/4 にぶい赤褐	紐を巻き付けている	(A) (内)
SB-19 22	甕 弥生	口径 14.4 器高 16.8 底径 (6.4) 口縁部−底部−縁	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR3/2 暗赤褐 (内) 5YR4/4 にぶい赤褐	丸みのある胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る 口径は胴部最大径より大きい P 2 から出土	(A) 頸部に 2 連止めの鷹状文を施す 波状文を口縁部は下から上へ、胴部は上から下へ施す (内)
SB-19 23	甕 弥生	口径 (19.4) 残高 16.0 径 − 口縁部−胴部−縁	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR4/3 褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐~10YR6/3 にぶい黄橙	口縁部で緩やかに外反する	(A) 頸部に鷹状文の後、口縁部と胴部に波状文を施す (内) 精緻なヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 24	甕 弥生	口径 (14.7) 残高 14.0 底径 − 口縁部−胴部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る 口径は胴部最大径より大きい	(A) 鷹状文の後、波状文を口縁部は下から上へ、胴部は上から下へ施す (内)
SB-19 25	甕 弥生	口径 (20.0) 残高 9.4 底径 − 口縁部−胴部−縁	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR3/2 黒褐 (内) 7.5YR4/4 褐	口縁部で緩やかに外反する	(A) 2 連止めの鷹状文、波状文を施す (内) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 26	甕 弥生	口径 (16.0) 残高 4.7 底径 − 口縁部−胴部−縁	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/6 橙 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	丸みのあ胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る	(A) 波状文、鷹状文を施す (内) ヘラミガキ(ヨコ)
SB-19 27	甕 弥生	口径 − 残高 8.4 底径 − 口縁部一胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR3/4 暗褐 (内) 7.5YR4/6 褐		(A) 波状文、鷹状文を施す (内) ヘラミガキ(ヨコ)

第 10 表　遺物観察表 (8)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-19 28	甕 弥生	口径(12.3) 残高 8.5 底径 — 口縁部～胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6 明褐 (内) 5YR4/6 赤褐	丸みのある胴部より強く外反して口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
SB-19 29	甕 弥生	口径 15.4 残高 11.4 底径 — 口縁部3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3 にぶい赤褐 (内) 2.5YR6/6 橙	緩やかに外反する	(外) 波状文の後頸部に簾状文を施す (内) ヘラミガキ　ヘラケズリ
SB-19 30	甕 弥生	口径(10.4) 残高 5.7 底径 — 口縁部～胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR2/1 黒褐	胴部は強く張る	(外) 胴部に波状文を施した後簾状文を施し口縁部に波状文を施す　ボタン状の貼付文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 31	甕 弥生	口径 — 残高 16.0 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8 橙 (内) 5YR5/6 明赤褐	胴部より緩やかに外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 32	甕 弥生	口径 — 残高 8.0 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR4/1 褐灰		(外) 波状文を施す 胴部下位刷毛調整 (内) ヘラミガキ
SB-19 33	甕 弥生	口径 — 残高 14.5 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR2/1 黒～5YR7/4 にぶい橙 (内) 2.5YR6/6 橙	緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 34	甕 弥生	口径 — 残高 22.3 底径 8.6 胴部～底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	丸みのある胴部	(外) 横描文による文様を施す (内) ヘラミガキ (ナナメ)
SB-19 35	甕 弥生	口径(33.8) 残高 20.5 底径 — 口縁部～胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙	丸みのある胴部より、緩やかに外反して口縁部に至る 口径は胴部最大径より小さい	(外) 櫛描文による格子状の文様を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ) 胴部刷毛調整
SB-19 36	甕 弥生	口径(33.0) 残高 12.5 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐～7.5YR7/1 灰白 (内) 5YR6/6 橙～5YR3/1 黒褐	口縁部は開く	(外) 櫛描文による格子状の文様を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 37	甕 弥生	口径 — 残高 5.2 底径 — 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 2.5YR3/3 暗赤褐		(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-19 38	甕 弥生	口径 — 残高 7.8 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR3/2 暗赤褐		(外) 櫛描文による格子状の文様を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-19 39	甕 弥生	口径 — 残高 2.2 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	口縁部を折り返して作る	(外) (内)
SB-19 40	甕 弥生	口径 — 残高 1.8 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/2 灰黄褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	口縁部を折り返して作る	(外) (内)
SB-19 41	甕 弥生	口径 — 残高 4.5 底径 7.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 2.5YR6/6 橙～2.5YR4/4 にぶい赤褐		(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ　ナデ ヘラミガキ
SB-19 42	高坏 弥生	口径(19.5) 残高 3.0 脚径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 2.5YR3/6 暗赤褐	口縁部端が屈折する	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラミガキ (ヨコ)

第 11 表　遺物観察表 (9)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-19 43	高坏 弥生	口径 — 残高 3.0 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙	坏底部を突出させて脚部に接合する	(外) 赤色塗彩 (内)
SB-19 44	高坏 弥生	口径 — 残高 4.5 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR6/6 橙～2.5YR6/8 橙	接合部より緩やかに開く	(外) (内) 脚部ヘラケズリ
SB-19 45	高坏 弥生	口径 — 残高 7.5 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 10R5/6 赤～2.5YR5/6 明赤褐	接合部より直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 46	高坏 弥生	口径 — 残高 6.4 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR3/6 暗赤褐～2.5YR5/6 明赤褐	接合部より直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 脚部ヘラケズリ 坏部赤色塗彩
SB-19 47	高坏 弥生	口径 — 残高 5.7 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐～2.5YR5/6 明赤褐	接合部より緩やかに開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 坏部剥落
SB-19 48	高坏 弥生	口径 — 残高 6.8 裾径 — 脚部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	接合部より直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ ナデ
SB-19 49	高坏 弥生	口径 — 残高 4.0 裾径 — 接合部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	坏底部を突出させて脚部に接合する	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-19 50	高坏 弥生	口径 — 残高 7.0 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤～5YR6/4 にぶい橙	接合部より直線的に開く	(外) 脚部ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 脚部ヘラケズリ 坏部ヘラミガキ（タテ） 坏部赤色塗彩
SB-19 51	高坏 弥生	口径 — 残高 6.5 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	坏底部を突出させて脚部に接合する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-19 52	高坏 弥生	口径 — 残高 3.3 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤～2.5YR5/6 明赤褐	坏底部を突出させて脚部接合する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部剥落、赤色塗彩
SB-19 53	高坏 弥生	口径 — 残高 3.5 裾径 — 接合部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4 赤褐 (内) 10R4/4 赤褐	脚部を坏部に埋め込んで接合する	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ 赤色塗彩
SB-19 54	高坏 弥生	口径 — 残高 3.3 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR3/2 暗赤褐	接合部より開く	(外) ヘラミガキ (内) 坏部刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-19 55	高坏 弥生	口径 — 残高 3.5 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 5YR3/1 黒褐	脚部の破断面を擦って整形する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部赤色塗彩
SB-19 56	高坏 弥生	口径 — 残高 5.1 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6 明褐 (内) 5YR4/4 にぶい赤褐	直線的に開いて胴部に至る	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラケズリ
SB-19 57	高坏 弥生	口径 — 残高 9.0 裾径 — 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 赤 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 刷毛調整

第 12 表　遺物観察表 (10)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-19	高坏	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	接合部より直線的に開く	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 5.4	焼；良好		赤色塗彩
		裾径 —	色；(表) 10R4/6 赤		(内) ヘラケズリ
58	弥生	脚部一部	(内) 2.5YR4/8 赤褐		
SB-19	高坏	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	裾部の先端で緩やかに外反する	(表) 脚部ヘラミガキ (タテ)
		残高 9.6	焼；良好		裾部ヘラミガキ (ヨコ)
		裾径(17.0)	色；(表) 10R4/6 赤		赤色塗彩
59	弥生	脚部 1/4	(内) 2.5YR5/6 明赤褐		(内) 刷毛調整
SB-19	深鉢	口径(18.2)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部に2孔を有する	(表) 頸部に櫛状文を施す
		残高 14.6	焼；良好		赤色塗彩
		底径 —	色；(表) 10R4/8 赤~5YR6/6 橙		(内) 口縁部赤色塗彩
60	弥生	口縁部~胴部一部	(内) 5YR5/8 明赤褐~10R4/8 赤		
SB-19	鉢	口径 (7.7)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底より立ち上がり、筒状の胴部より口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (タテ)
		器高 11.6	焼；良好		
		底径 3.8	色；(表) 10YR6/4 にぶい黄橙		(内) ナデ (ヨコ)
61	弥生	口縁部~底部1/3	(内) 10YR6/4 にぶい黄橙		
SB-19	鉢	口径 11.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底より立ち上がり、やや丸みをもって開き口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (タテ)
		器高 6.5	焼；良好		赤色塗彩
		底径 3.4	色；(表) 10R4/6 赤		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
62	弥生	口縁部~底部3/4	(内) 10R4/6 赤		赤色塗彩
SB-19	鉢	口径 9.2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底より立ち上がり、直線的に開いて口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (タテ)
		器高 5.5	焼；良好		赤色塗彩
		底径 3.8	色；(表) 2.5YR5/8 明赤褐~2.5YR3/4 暗赤褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
63	弥生	口縁部~底部2/3	(内) 10R4/6 赤		*ベンガラ付着 赤色塗彩
SB-19	鉢	口径(24.6)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	内弯ぎみに開いて口縁部に至る	(表) 口縁部ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 9.5	焼；良好		体部ヘラミガキ (タテ)
		底径 —	色；(表) 7.5YB4/2 灰褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
64	弥生	口縁部~体部一部	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-19	鉢	口径(12.3)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	内弯して開いて口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 4.7	焼；良好		赤色塗彩
		底径 —	色；(表) 10R4/6 赤		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
65	弥生	口縁部 1/4	(内) 10R4/4 赤褐		赤色塗彩
SB-19	鉢	口径(18.2)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	内弯ぎみに開いて口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 7.1	焼；良好		赤色塗彩
		底径 —	色；(表) 2.5YR4/6 赤褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
66	弥生	口縁部~体部一部	(内) 2.5YR3/4 暗赤褐		赤色塗彩
SB-19	鉢	口径(16.6)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	丸みをもって開き口縁部に至る	(表) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 7.0	焼；良好		赤色塗彩
		底径 —	色；(表) 10R4/8 赤		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
67	弥生	口縁部~体部一部	(内) 10R4/8 赤		赤色塗彩
SB-19	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	底部に1孔を穿つ	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 6.5	焼；良好		
		底径 5.2	色；(表) 2.5YR4/4 にぶい赤褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
68	弥生	底部 1/2	(内) 2.5YR4/8 赤褐		
SB-19	甕	口径 —	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	底部に1孔を穿つ	(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 3.2	焼；良好		
		底径 6.0	色；(表) 5YR5/4 にぶい赤褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
69	弥生	底部	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-19	蓋	鈕径 (6.8)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) ヘラケズリ後ヘラミガキ
		残高 4.4	焼；良好		赤色塗彩
		裾径 —	色；(表) 10R4/4 赤褐		(内) ヘラミガキ
70	弥生	抓み部一部	(内) 10R4/4 赤褐		赤色塗彩
SB-19	蓋	抓み径 5.4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む		(表) ヘラミガキ (タテ)
		残高 4.3	焼；良好		赤色塗彩
		裾径 —	色；(表) 2.5YR4/6 赤褐		(内) ヘラケズリ ナデ
71	弥生	抓み部一部	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-19	蓋	抓み径—	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	天井部に1孔を穿つ	(表)
		残高 4.2	焼；良好		
		裾径 —	色；(表) 7.5YR4/4 褐		(内) ヘラケズリ
72	弥生	抓み部一部	(内) 7.5YR3/2 黒褐		

第 13 表　遺物観察表 (11)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-19 73	蓋 弥生	孤み径 (5.0) 残高 2.5 裾径 — 孤み部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 2.5YR4/2 灰赤	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内)
SB-19 74	蓋 弥生	孤み径 5.0 残高 6.2 裾径 — 孤み部～鉢部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 暗赤褐～10YR6/3 にぶい橙 (内) 10YR6/3 にぶい橙～10YR4/1 褐灰	天井部に1孔を穿つ	(外) (内)
SB-19 75	土製 円盤 弥生	厚さ 0.7 半径 2.2 重さ 17.4 完存	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	壺等の破片を削って作る	(表) ヘラミガキ 赤色塗彩 (裏) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-20 1	壺 土師	口径(19.4) 残高 1.7 底径 — 口縁部一部	胎；石英、黒雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙～7.5YR5/6 明褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部に段を有する	(外) 口縁部にボタン状貼付文を連続して施す (内)
SB-20 2	壺 土師	口径(17.2) 残高 1.1 底径 — 口縁部一部	胎；石英、黒雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(外) 口縁部に波状文を施した後、連続刺突文を施す (内)
SB-20 3	壺 土師	口径 — 残高 2.1 底径 — 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(外) 口縁部にボタン状貼付文を連続して施す (内)
SB-20 4	壺 土師	口径 — 残高 3.5 底径 — 胴部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6 橙～7.5YR6/8 橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	張りのある胴部、頸部に刻み目を施した突帯が巡る	(外) (内) 剥落
SB-20 5	壺 土師	口径 — 残高 7.5 底径 — 胴部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	胴部は強く張る	(外) (内) ヘラケズリ
SB-20 6	壺 土師	口径 11.2 残高 6.6 底径 — 口縁部～胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 赤 (内) 10R3/6 暗赤	口唇部に面取りを施す	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-20 7	壺 弥生	口径 — 残高 6.4 底径 5.2 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 5YR2/3 極暗赤褐	平底より立ち上がり、やや丸みを持った胴部に移行する ＊床着	(外) ヘラミガキ (ヨコ) (内) ヘラミガキ (タテ)
SB-20 8	壺 弥生	口径 — 残高 2.4 底径(12.4) 底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	平底	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) ナデ
SB-20 9	甕 弥生	口径 — 残高 5.8 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/2 黒褐 (内) 7.5YR3/3 暗褐	胴部から口縁部にかけて緩やかに外反する	(外) 胴状文の後、波状文を口縁部は下から上へ、胴部は上から下へ施す (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ (ヨコ)
SB-20 10	甕 弥生	口径 — 残高 2.0 底径 — 口縁部一部	胎；黒雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3 にぶい橙 (内) 10YR5/3 にぶい橙	口縁部を外側に折り返す	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
SB-20 11	甕 土師	口径(16.2) 残高 17.8 底径 — 口縁部～胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい橙～7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR6/6 橙～7.5YR5/4 にぶい橙	張りのない胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-20 12	甕 土師	口径(14.2) 残高 7.5 底径 — 口縁部～胴部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	張りのある胴部より外反して口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整

第 14 表　遺物観察表 (12)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-20 13	壺 土師	口径 — 残高 3.2 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR3/3 明赤褐	胴部より強く外反して口縁部に至る	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 14	壺 土師	口径(13.8) 残高 3.7 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	口縁部は外反する	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 15	壺 土師	口径(14.8) 残高 2.5 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部に段を有する	(外) ナデ (ヨコ) (内)
SB-20 16	壺 土師	口径(15.0) 残高 2.6 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/1 黒褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	口縁部に段を有する	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 17	壺 土師	口径(15.0) 残高 2.9 底径 — 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y3/1 黒褐 (内) 2.5Y2/1 黒	口縁部は外反する	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 18	壺 土師	口径(11.4) 残高 2.5 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR5/6 明褐	口縁部に段を有する	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 19	壺 土師	口径(19.6) 残高 5.0 底径 — 口縁部 1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	丸みのある胴部より屈曲して外反し口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 20	壺 土師	口径(16.8) 残高 2.5 底径 — 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内)
SB-20 21	壺 土師	口径(19.5) 残高 3.3 底径 — 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6 褐 (内) 7.5YR5/6 明褐	屈曲して外反する口縁部 口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 22	壺 土師	口径(11.6) 残高 2.9 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 7.5YR4/6 褐	内側に稜を有して強く外反する 口唇部に面取りを施す	(外) (内)
SB-20 23	壺 土師	口径(20.6) 残高 3.5 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8 明赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	口縁部は強く外反する 口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-20 24	壺 土師	口径(14.1) 残高 3.6 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR6/4 にぶい橙	張りのある胴部より屈曲して外反し口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) (内)
SB-20 25	壺 土師	口径 — 残高 2.7 底径 — 口縁部一部	胎；粗砂粒、礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4 褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部は折り返す	(外) (内)
SB-20 26	壺 土師	口径 — 残高 6.6 底径 — 胴部一部	胎；石英，粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐~7.5YR3/1 黒褐 (内) 7.5YR6/3 にぶい褐		(外) 条痕文を施す (内) ヘラミガキ
SB-20 27	高坏 弥生	口径(14.6) 残高 2.5 脚径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙	坏部に段を有し、屈曲して外反する口縁部に至る	(外) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩

第 15 表　遺物観察表 (13)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-20 28	高坏	口径 − 残高 5.4 裾径 − 坏部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	接合部より丸みを持って開く	(外) (内)
SB-20 29	高坏	口径 − 残高 2.8 裾径 − 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤～5YR5/6 明赤褐		(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 坏部剥落 坏部赤色塗彩
SB-20 30	鉢	抓み径− 器高 4.2 裾径(15.3) 天井部−胴部−底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4 赤褐 (内) 10R4/4 赤褐		(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-21 1	壺	口径(11.9) 残高 9.5 底径 − 口縁部−胴部−底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	内弯する	(外) ヘラケズリ（ヨコ）の後ヘラミガキ (内) ヘラケズリ（ヨコ）の後ヘラミガキ
SB-21 2	壺	口径(14.9) 残高 4.8 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10Y6/3 にぶい黄橙 (内) 5YR5/6 明赤褐	口縁部は内弯する	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-21 3	壺	口径(18.8) 残高 9.2 底径 − 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文、2連止めの最状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-21 4	高坏	口径(12.2) 残高 3.8 裾径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	内弯ぎみの口縁部	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-21 5	高坏	口径 − 残高 3.1 裾径 − 坏部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐		(外) ヘラミガキ (内)
SB-21 6	高坏	口径 − 残高 5.1 裾径 − 接合部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10YR3/1 黒褐	坏部を脚部に突出させて接合する	(外) (内) 坏部ヘラミガキ
SB-21 7	甕	口径 − 残高 10.3 底径 6.1 胴部−底−底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	平底の底部より内弯ぎみに開く	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラケズリ（ヨコ）の後ヘラミガキ
SB-21 8	甕	口径 − 残高 3.6 底径 (6.2) 底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/6 橙	平底に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリ（タテ）の後ヘラミガキ (内) ヘラケズリ（ヨコ）
SB-21 9	鉢	口径(13.7) 残高 6.7 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4 暗赤 (内) 10R4/6 赤	体部はやや丸みを持ちながら直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-21 紡錘 車 10	紡錘車	直径 5.0 厚さ 1.3 重さ 15.5 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(表) 7.5YR6/4 にぶい橙 (裏) 2.5YR5/6 明赤褐	糸の掛け口が刻まれる	(表) 赤色塗彩 (裏) 赤色塗彩
SB-21 ミニチュア 11	ミニチュア	口径 − 残高 3.0 裾径 (7.3) 脚部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐		(外) (内)
SB-22 1	壺	口径 − 残高 25.9 底径 7.4 胴部2/3−底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 ホ−7.5YR3/2 暗赤褐 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐	底部から頸部にかけて緩やかな丸みを持つ	(外) 頸部にT字文を施す ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整

第 16 表　遺物観察表(14)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-22 2	壺 弥生	口径(16.0) 残高 4.8 底径 － 口縁部 1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	緩やかに外反する	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 3	壺 弥生	口径 － 残高 8.0 底径 － 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	口縁部は外反する	(外) ヘラミガキ (タテ) 頸部にT字文を施す 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 4	壺 弥生	口径(36.0) 残高 11.4 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR3/4 暗赤褐	口縁部は大きく開く	(外) ヘラミガキ (タテ、ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 5	壺 弥生	口径(32.4) 残高 6.6 底径 － 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤~5YR6/6 橙 (内) 10R5/6 赤~5YR6/6 橙	口縁部は大きく開く	(外) ヘラミガキ (タテ、ヨコ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 6	壺 弥生	口径(28.0) 残高 9.5 底径 － 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6 橙 (内) 5YR4/8 赤褐	口縁部は大きく開き、外反する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SB-22 7	壺 弥生	口径 － 残高 3.4 底径 － 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) 頸部にヘラ描羽状文を施す (内)
SB-22 8	壺 弥生	口径 － 残高 3.4 底径 － 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐		(外) 頸部にヘラ描羽状文を施す (内)
SB-22 9	甕 弥生	口径 (8.6) 残高 5.1 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 7.5YR5/6 明褐	口縁部は胴部より内傾する 口縁部に鈍代に段を有する	(外) ヘラケズリの後ナデ (内) ヘラケズリ 刷毛調整
SB-22 10	壺 弥生	口径 － 残高 3.1 底径 4.8 底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	平底より立ち上がり外反して胴部に移行する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-22 11	壺 弥生	口径 － 残高 13.4 底径(12.8) 底部~胴部1/4	胎；石英、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4 にぶい黄橙~7.5YR5/8 明褐 (内) 7.5YR5/8 明褐	平底より立ち上がる	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) 刷毛調整
SB-22 12	壺 弥生	口径 － 残高 2.5 底径 6.6 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 2.5YR3/6 暗赤褐		(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩
SB-22 13	甕 弥生	口径(19.2) 残高 14.7 底径 － 口縁部~胴部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/2 灰黄褐~7.5YR6/6 橙 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	胴部より緩やかに外反する	(外) 波状文を施す 頸部に櫛状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 14	甕 弥生	口径 20.2 残高 10.0 底径 － 口縁部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8 橙~10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 2.5YR6/8 橙~10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部に波状文を施す 頸部に櫛状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 15	甕 弥生	口径 13.6 残高 10.7 底径 － 口縁部~胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/2 暗赤褐 (内) 7.5YR3/3 暗褐	胴部より緩やかに外反する	(外) 櫛状文と波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-22 16	甕 弥生	口径 － 残高 11.8 底径 － 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐色 (内) 7.5YR5/6 明褐~10YR3/2 黒褐	胴部より緩やかに外反する	(外) 波状文を施す 頸部に櫛状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)

第 17 表　遺物観察表 (15)

遺構NO 図版NO	器種 種別	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-22 17	壺 弥生	口径 − 残高 6.3 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5YR6/4 にぶい橙~10YR4/1 褐灰 (B) 2.5Y5/2 暗灰黄	口縁部は折り返す	(A) 波状文を施す (B) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-22 18	台付 壺 弥生	口径 − 残高 3.9 裾径 (8.0) 脚部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐		(A) 脚部ヘラミガキ（タテ） (B) 脚部ヘラケズリ
SB-22 19	台付 壺 弥生	口径 − 残高 5.7 裾径 9.0 脚部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/8 赤褐 (B) 2.5YR4/8 赤褐	接合部より緩やかに外反して裾部に至る	(A) 脚部ヘラミガキ（タテ） (B) 脚部刷毛調整
SB-22 20	台付 壺 弥生	口径 − 残高 3.0 裾径 (11.0) 裾部 1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR4/6 赤褐	裾部の先端に面取りを施す	(A) ヘラケズリの後ヘラミガキ (B) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-22 21	高坏 弥生	口径(21.8) 残高 5.0 裾径 − 口縁部~脚部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R5/6 赤 (B) 10R5/6 赤	丸みを持った坏部より内弯して口縁部に至る	(A) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-22 22	高坏 弥生	口径(16.0) 残高 5.9 裾径 − 口縁部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 7.5R4/6 赤 (B) 7.5R4/6 赤	坏部より水平に屈折して口縁部に至る	(A) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (B) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-22 23	高坏 弥生	口径 − 残高 3.2 裾径 − 接合部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (B) 10R4/6 赤~5YR5/6 明赤褐	坏底部を突出させて脚部に接合する	(A) 脚部ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (B) 坏部ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-22 24	高坏 弥生	口径 − 残高 4.9 裾径 − 接合部	胎；黒雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR5/6 明赤褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐		(A) 脚部ヘラミガキ（タテ） (B) 脚部ヘラケズリ 坏部ヘラミガキ
SB-22 25	高坏 弥生	口径 − 残高 7.3 裾径(10.6) 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 2.5YR4/6 赤褐 (B) 5YR6/8 橙	緩やかに外反して開いて裾部に至る	(A) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ ナデ
SB-22 26	高坏 弥生	口径 − 残高 9.0 裾径(17.8) 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R4/6 赤 (B) 2.5YR5/6 明赤褐	緩やかに外反して開いて裾部に至る	(A) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (B) ナデ
SB-22 27	高坏 弥生	口径 − 残高 11.4 裾径(20.0) 脚部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 10R3/6 暗赤褐 (B) 5YR4/4 にぶい赤褐	脚部に三角形の透かしが切り込まれる	(A) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (B) ヘラケズリ ナデ
SB-22 28	片口 鉢 弥生	口径 − 残高 8.8 底径 − 口縁部~脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR4/6 赤褐 (B) 5YR5/4 にぶい赤褐	丸みのある体部より緩やかに外反して口縁部に至る 口縁部に片口をもうける	(A) ヘラケズリ（ナナメ）の後ナデ (B) ヘラケズリ（ナナメ）
SB-22 29	蓋 弥生	摘み径− 残高 4.6 裾径 − 摘み部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(A) 5YR5/6 明赤褐 (B) 7Y5R2/1 黒		(A) (B)
SB-22 30	紡錘 車 弥生	直径 5.0 厚さ 1.2 重さ 30g 径孔完存	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(表) 10R3/4 暗赤 (裏) 10R3/4 暗赤		(表) ヘラミガキ 赤色塗彩 (裏) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-22 31	紡錘 車 弥生	直径 5.5 厚さ 1.7 重さ 30g 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(表) 10YR3/2 黒褐 (裏) 10YR3/2 黒褐		(表) ヘラミガキ (裏) ヘラミガキ

第 18 表　遺物観察表 (16)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	胎質 焼成 色調	成形・形態ほか	整形ほか
SB-23 1	壺 弥生	口径(15.8) 残高 7.1 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙	口縁部は内傾する	(外) ヘラケズリ（ヨコ） (内) ヘラケズリ（ヨコ）
SB-23 2	壺 土師	口径(12.5) 残高 6.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6 橙~7.5YR8/4 浅黄橙 (内) 7.5YR8/4 浅黄橙	口縁部に段を有する	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
SB-23 3	壺 弥生	口径 － 残高 1.6 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8 橙 (内) 5YR6/6 橙		(外) 櫛描文を施す (内)
SB-23 4	壺 弥生	口径 － 残高 1.9 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙	口脚部先端で短く折れる	(外) 波状文を施す (内)
SB-23 5	壺 土師	口径(17.6) 残高 5.2 底径 － 口縁部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/6 橙	頸部より強く屈曲する	(外) 口縁部ナデ（ヨコ） 頸部ヘラケズリ 胴部刷毛調整 (内) ナデ
SB-23 6	壺 土師	口径(14.9) 残高 4.2 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐~5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(外) ナデ（ヨコ） (内) 胴部刷毛調整
SB-23 7	壺 弥生	口径(18.7) 残高 3.9 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8 橙 (内) 5YR6/6 橙	胴部より屈曲して外反する口縁部に至る	(外) 口縁部ナデ（ヨコ） 頸部刷毛調整 (内) 口縁部ナデ（ヨコ） 頸部刷毛調整
SB-23 8	台付 壺 土師	口径(14.7) 残高 3.4 脚径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/1 黒褐 (内) 7.5YR2/1 黒	S字状口縁	(外) 刷毛調整 (内) ヘラミガキ
SB-23 9	壺 土師	口径 － 残高 3.3 底径(11.0) 底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) 刷毛調整 (内) ナデ
SB-23 10	壺 土師	口径 － 残高 4.3 底径 6.0 底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR6/3 にぶい褐		(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-23 11	台付 壺 弥生	口径 － 残高 7.0 脚径 7.7 脚部~胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/2 灰褐~5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR3/1 黒褐~7.5YR5/4 にぶい褐		(外) ヘラミガキ (内)
SB-23 12	高坏 弥生	口径 － 残高 4.9 脚径 － 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 赤 (内) 2.5YR6/6 橙		(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 赤色塗彩 脚部ヘラケズリ 刷毛調整
SB-23 13	高坏 弥生	口径 － 残高 5.9 脚径(14.1) 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6 橙 (内) 7.5YR7/6 橙	緩やかに開いて裾部に至る	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内)
SB-23 14	甑 弥生	口径 － 残高 1.8 底径 9.6 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6 橙 (内) 5YR5/8 明赤褐	平底 焼成後内側より1孔を穿つ	(外) 刷毛調整 (内)
SB-23 15	鉢 弥生	口径 (4.7) 残高 3.7 脚径 － 肌み部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	天井部外面と内面から刺突するが貫通していない	(外) ナデ ヘラケズリ (内) ヘラケズリ

第 19 表　遺物観察表 (17)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-24 1	壺 弥生	口径(17.0) 残高 3.7 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	口縁部は外反する	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩
SB-24 2	壺 弥生	口径(25.2) 残高 2.1 底径 − 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙 (内) 2.5YR6/6 橙	口縁部は大きく外反する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-24 3	壺 弥生	口径(10.8) 残高 3.4 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-24 4	壺 弥生	口径 − 残高 2.8 底径 − 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	緩やかに外反する	(外) 簾描羽状文を頸部に施す 赤色塗彩 (内)
SB-24 5	壺 弥生	口径 − 残高 4.1 底径 (5.2) 底部 1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	平底	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-24 6	甕 弥生	口径(16.0) 残高 5.6 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR4/3 褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 3条1組の櫛描波状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-24 7	甕 弥生	口径 − 残高 4.0 底径 − 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4 褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を下から上へ施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-24 8	甕 弥生	口径 − 残高 5.8 底径 − 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙		(外) 簾状文を施した後、口縁部に波状文を下から上に施す 胴部に櫛描斜状文を施す (内) ヘラミガキ
SB-24 9	甕 土師	口径(10.4) 残高 4.0 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4 暗赤褐 (内) 7.5YR3/3 暗褐	口縁部は屈曲して内寄ぎみに開く	(外) 櫛描文を施す (内)
SB-24 10	甕 土師	口径(19.0) 残高 2.7 底径 − 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部に段を有する	(外) 擬凹線を施す (内)
SB-24 11	甕 土師	口径(15.6) 残高 6.3 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR2/1 黒 (内) 10YR5/3 にぶい黄褐	張りのある胴部より屈曲して口縁部に至る 口縁部に段を有する	(外) 胴部ヘラケズリ (内) 胴部ヘラケズリ
SB-24 12	高坏 弥生	口径 − 残高 3.4 裾径 − 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR3/1 黒褐		(外) 赤色塗彩 (内)
SB-25 1	壺 弥生	口径 − 残高 19.5 底径 − 脚ー裾ー	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	胴部から頸部にかけてスムーズに変化する	(外) ヘラミガキ（タテ） 頸部に文様帯を持たない (内) 胴部ヘラケズリ（ヨコ） 頸部ヘラミガキ（ヨコ）
SB-25 2	壺 弥生	口径 − 残高 3.3 底径 − 頸部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3 にぶい橙 (内) 7.5YR7/3 にぶい橙		(外) 頸部に細い沈線による羽状文を施す (内)
SB-25 3	壺 弥生	口径 − 残高 3.7 底径 − 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙～5Y2/1 黒 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐		(外) 頸部に丁字文を施す 刷毛調整 (内) ヘラケズリ

第 20 表　遺物観察表 (18)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-25 4	壺 弥生	口径 — 残高 6.0 底径 4.4 胴部—底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10R5/6 赤	平底より立ち上がる	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-25 5	壺 弥生	口径 — 残高 5.7 底径 (5.8) 胴部—底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10R5/6 赤	平底より立ち上がる	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-25 6	壺 弥生	口径 — 残高 4.4 底径 (5.6) 底部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤～5YR6/4 にぶい橙 (内) 10R5/6 赤	非常に薄い底部	(外) 底部まで赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-25 7	壺 弥生	口径 — 残高 2.5 底径 6.5 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 5YR6/6 橙	平底	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 剥落
SB-25 8	壺 弥生	口径(13.3) 器高 15.6 底径 5.5 口縁部—胴—底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐～5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	平底より内寄して立ち上がり口縁部で外反する	(外) 波状文、簾状文を施す (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-25 9	壺 弥生	口径 10.5 器高 11.6 底径 6.4 完存	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y7/3 浅黄～7.5YR7/6 橙 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙～2.5Y3/1 黒褐	平底 口径と胴部最大径はほぼ同じ ＊床着	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ
SB-25 10	壺 弥生	口径(13.6) 残高 9.2 底径 — 口縁部—胴部—底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR3/3 暗赤褐	口縁部で緩やかに外反する	(外) 粗い波状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-25 11	壺 弥生	口径(16.4) 残高 11.4 底径 — 口縁部—胴部—底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙	胴部より緩やかに外反して口縁部に至る 口径は胴部最大径より大きい	(外) 波状文を下から上へ施す (内) ヘラミガキ
SB-25 12	壺 弥生	口径(18.5) 残高 5.2 底径 — 口縁部—部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 10YR3/2 黒褐～5YR4/4 にぶい赤褐		(外) 3条1組の櫛描波状文を下から上へ施す (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-25 13	壺 弥生	口径(14.4) 残高 4.0 底径 — 口縁部—部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文、簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-25 14	壺 弥生	口径 — 残高 1.6 底径 — 口縁部—部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
SB-25 15	壺 弥生	口径 — 残高 2.0 底径 — 口縁部—部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8 明赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
SB-25 16	壺 弥生	口径 — 残高 10.0 底径 (8.0) 胴部—底—底部—部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR3/4 暗赤褐	平底より立ち上がり、緩やかに丸みのある胴部に移行する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラケズリの後ナデ
SB-25 17	台付 壺 弥生	口径 15.4 器高 20.5 裾径 9.2 口縁部1/2—底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	丸い胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る 胴部は接合部より外反して開く	(外) 頸部に2連止めの簾状文、口縁部と胴部に波状文を施す (内) 胴部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ
SB-25 18	台付 壺 弥生	口径 — 残高 10.6 裾径 6.4 胴部—底—部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐～2.5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	胴部は緩やかな丸みを持ち、脚部は短く開く 裾部の先端に面取りを施す	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ

第 21 表　遺物観察表 (19)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-25 19	壺 土師	口径(20.7) 残高 3.7 底径 − 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6 橙 (内) 7.5YR6/6 橙	張りのある胴部より屈曲して口縁部に至る	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
SB-25 20	壺 土師	口径(16.2) 残高 3.2 底径 − 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	口縁部は屈曲外反する 口唇部に面取りを施す	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
SB-25 21	壺 土師	口径(22.6) 残高 4.0 底径 − 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐 (内) 7.5YR5/3 にぶい褐→10YR3/1 黒褐	口縁部はやや外反する	(外) ナデ（ヨコ）の後ヘラミガキ（タテ） (内) ナデ（ヨコ）
SB-25 22	壺 土師	口径(16.6) 残高 3.5 底径 − 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 10YR5/3 にぶい黄褐	直線的に開き、外面に緩い稜を有する	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-25 23	壺 土師	口径(18.0) 残高 1.8 底径 − 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐→5YR4/2 灰褐 (内) 5YR3/1 黒褐	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ（ヨコ）の後ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-25 24	壺 土師	口径 13.6 残高 3.2 底径 − 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR4/3 褐	口縁部は直線的に開く 口唇部に面取りを施す	(外) (内)
SB-25 25	壺 土師	口径 − 残高 3.9 底径 − 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-25 26	壺 土師	口径(17.4) 残高 2.5 底径 − 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 7.5YR3/4 暗褐	口縁部は折り返して作る	(外) (内)
SB-25 27	壺 土師	口径 − 残高 6.6 底径 − 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 5YR6/6 橙	丸みのある胴部	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 ヘラミガキ
SB-25 28	壺 土師	口径 − 残高 4.0 底径 − 胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	丸みのある胴部	(外) 横描文を施す (内)
SB-25 29	高坏 弥生	口径 − 残高 6.1 裾径 − 坏部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10R5/6 赤	坏底部を突出させて脚部に接合する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-25 30	高坏 弥生	口径 − 残高 4.4 裾径 − 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 5YR5/6 赤褐	接合部より緩やかに開く	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-25 31	高坏 弥生	口径 − 残高 4.9 裾径 − 接合部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤~2.5YR5/6 赤褐		(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-25 32	高坏 弥生	口径 − 残高 5.5 裾径 − 脚部一脚部	胎；石英、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	接合部より直線的に開く	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 脚部刷毛調整 坏部赤色塗彩
SB-25 33	高坏 弥生	口径 − 残高 10.7 裾径 − 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤 (内) 5YR5/6 明赤褐	接合部より直線的に開く	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内)

第 22 表　遺物観察表 (20)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-25	高坏	口径 － 残高 6.8 裾径(17.8)	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/2 灰黄褐	脚部は緩やかに開く	(外) ヘラケズリの後粗いナデ ヘラミガキ (内) 刷毛調整 ヘラケズリ
34	土師	脚部 一部	(内) 10YR5/2 灰黄褐		
SB-25	鉢	口径 11.2 残高 4.9 底径 5.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐	平底より立ち上がり、直線的に開く 断面は全体的に厚みがある	(外) ヘラミガキ（タテ）
35	弥生	ほぼ完存	(内) 2.5YR5/6 明赤褐		(内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-25	蓋	扒み径 4.8 残高 7.0 裾径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3 暗赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ（タテ） 扒み部ナデ（ヨコ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
36	弥生	扒み部～脚部一部	(内) 5YR3/1 黒褐		扒み部ナデ（ヨコ）
SB-25	蓋	扒み径 4.5 残高 4.8 裾径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3 暗褐	扒み部より緩やかに開く	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
37	弥生	扒み部～脚部一部	(内) 7.5YR3/1 黒褐		
SB-25	蓋	扒み径 5.6 残高 3.8 裾径 －	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐～5YR6/6 橙	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
38	弥生	扒み部	(内) 2.5YR4/6 赤褐		
SB-25	蓋	扒み径 3.7 残高 2.3 裾径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐	扒み部より緩やかに開く	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
39	弥生	扒み部	(内) 5YR3/2 暗赤褐		
SB-25	ミニチュア	口径 － 残高 2.3 底径 3.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤		(外) ヘラミガキ（タテ） 底部まで赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
40	弥生	底部	(内) 10R4/6 赤		
SB-25	深鉢	口径 － 残高 5.0 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐		(外) 横位のＬＲ縄紋を施す (内) ヘラケズリ
41	縄文	胴部一部	(内) 5YR4/8 赤褐		
SB-25	深鉢	口径 － 残高 4.8 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6 明褐		(外) 横位のＲＬ縄紋を回転して施す (内)
42	縄文	胴部一部	(内) 7.5YR6/4 にぶい橙		
SB-26	壺	口径(35.0) 残高 11.4 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6 橙	口縁部は大きく外反する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラミガキ（ヨコ、ナナメ）
1	弥生	口縁部 1/4	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-26	壺	口径(22.8) 残高 5.3 底径 －	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤	口縁部は大きく開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
2	弥生	口縁部一部	(内) 10R4/6 赤		
SB-26	壺	口径 － 残高 12.3 底径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8 明赤褐		(外) 頸部に櫛描文を施す 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) 刷毛調整
3	弥生	胴部～頸部一部	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-26	壺	口径 － 残高 6.0 底径 －	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙		(外) 櫛描羽状文、ボタン状貼付文を施す 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
4	弥生	頸部一部	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-26	壺	口径 － 残高 3.2 底径 －	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙		(外) 櫛描文、ボタン状貼付文を施す (内) 剥落
5	弥生	頸部一部	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-26	壺	口径 － 残高 18.8 底径 7.7	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6 浅黄橙	平底より立ち上がり、胴部より緩やかに外反する	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) 刷毛調整
6	弥生	頸部～底部	(内) 7.5YR7/4 にぶい橙		

第 23 表　遺物観察表 (21)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-26 7	壺 弥生	口径 − 残高 23.2 底径 8.3 胴部−底部2/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	平底より立ち上がり、胴部より緩やかに外反する	(外) 刷毛調整、ヘラミガキ (内) 刷毛調整
SB-26 8	壺 弥生	口径 − 残高 20.5 底径 − 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤 (内) 7.5YR6/3 にぶい褐	丸みのある胴部下位に最大径を有する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
SB-26 9	壺 土師	口径 − 残高 38.0 底径 12.8 胴部2/3−底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	胴部の最大径に緩い稜を有する	(外) ヘラミガキ (内) 刷毛調整
SB-26 10	壺 弥生	口径 − 残高 17.6 底径 7.4 胴部上1/2−底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/2 灰白~2.5YR4/1 黒 (内) 2.5YR4/1 黄灰	平底より立ち上がり、胴部中位で強く張る	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-26 11	壺 土師	口径 12.6 残高 4.9 底径 − 口縁部−胴部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	張りのない胴部より、屈曲して口縁部に至る 口縁部は外側に肥厚する	(外) 刷毛調整、ヘラケズリ (内) 刷毛調整、ヘラケズリ
SB-26 12	壺 土師	口径 − 残高 5.9 底径 6.6 底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR4/1 褐灰~7.5YR5/6 明褐	平底より立ち上がり、丸みを持つ胴部に移行する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-26 13	甕 弥生	口径 23.7 残高 12.4 底径 − 口縁部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4 褐 (内) 7.5YR4/6 赤褐	緩やかに外反する ＊床着	(外) 波状文を施す 2連止めの簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-26 14	甕 弥生	口径 12.0 残高 12.6 底径 − 口縁部−胴部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4 にぶい赤褐~2.5YR4/2 灰赤 (内) 2.5YR4/1 赤灰	胴部より緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-26 15	甕 弥生	口径(19.4) 残高 14.2 底径 − 口縁部−胴部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR4/3 褐	胴部より緩やかに外反する	(外) 波状文を施す　頸部には2連止めの簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-26 16	甕 弥生	口径 − 残高 15.6 底径 − 口縁部−胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR5/1 褐灰~5YR6/6 橙	緩やかに外反する	(外) 波状文を施す　頸部には2連止めの簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-26 17	甕 弥生	口径 − 残高 15.0 底径 − 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 7.5YR4/2 灰褐	張りのある胴部	(外) 波状文と簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-26 18	甕 弥生	口径(22.0) 残高 15.4 底径 − 口縁部−胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	胴部より緩やかに外反し口縁部に至る	(外) ヘラケズリ　ナデ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-26 19	台付 甕 土師	口径 − 残高 5.1 脚径 8.8 脚部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4 にぶい黄橙~10YR5/1 褐 (内) 10YR5/4 にぶい黄橙		(外) (内) ヘラケズリ　ナデ
SB-26 20	台付 甕 弥生	口径 − 残高 5.4 脚径 − 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8 赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐		(外) 脚部ヘラケズリ (内) ヘラケズリ
SB-26 21	高坏 弥生	口径 − 残高 13.0 脚径 14.0 接合部−脚部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 5YR4/8 赤褐		(外) 脚部ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩

第 24 表　遺物観察表 (22)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-26 22	高坏 弥生	口径 — 残高 5.5 裾径 — 接合部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 5YR4/6赤褐	緩やかに開く	(外) 脚部ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-26 23	高坏 弥生	口径 — 残高 6.0 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 脚部ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-26 24	高坏 弥生	口径 — 残高 4.8 裾径 — 脚台部～脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 脚部ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 坏部赤色塗彩
SB-26 25	鉢 弥生	口径(13.8) 器高 5.8 底径 (6.0) 口縁部～底部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R4/8赤	平底より立ち上がり、直線的に開いて口縁部に至る	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-26 26	鉢 弥生	口径(18.4) 残高 7.5 底径 — 口縁部～体部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	体部は直線的に開いて口縁部に至る	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-26 27	鉢 土師	口径(28.6) 残高 9.0 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	体部は直線的に開き、先端で折れて内傾して口縁部に至る	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-26 28	片口 鉢 弥生	口径 20.0 残高 8.5 底径 — 口縁部3/4～体部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6赤 (内) 7.5R4/6赤	片口を有する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-26 29	深鉢 弥生	口径(10.2) 残高 2.5 底径 — 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤褐 (内) 10R4/4赤褐	口縁部は小さく外反する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-26 30	深鉢 弥生	口径 — 残高 2.4 底径 — 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-26 31	深鉢 弥生	口径 14.5 残高 13.0 底径 — 口縁部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R5/6赤	丸みのある胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-26 32	甕 弥生	口径 21.6 器高 14.0 底径 6.0 ほぼ完存	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より直線的に開き、口縁部でやや内弯する 底部に1孔を穿つ	(外) 刷毛調整の後ナデ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-26 33	蓋 弥生	抓み径 5.6 残高 8.5 裾径 — 抓み部～裾部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリ 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-26 34	蓋 弥生	抓み径 (5.4) 残高 12.0 裾径(23.6) 抓み部～体部一裾部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 7.5YR6/6橙	天井部に1孔を穿つ 抓み部より直線的に開いて、緩やかに裾部に至る	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整 赤色塗彩
SB-26 35	蓋 弥生	抓み径 5.4 残高 6.9 裾径 — 抓み部～裾部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR3/4暗褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ナデ (内) ヘラケズリ 刷毛調整
SB-26 36	ミニチュア 土師	口径 7.2 器高 8.7 底径 (4.7) 口縁部～底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐～2.5Y2/1黒 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり、緩やかに外反する 口縁部は短く外に肥厚する	(外) ヘラケズリ 刷毛調整の後ナデ (内) ヘラケズリ

第 25 表　遺物観察表 (23)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-26 37	ミニチュア 弥生	口径 4.2 器高 5.6 底径 2.6 ほぼ完存	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4 にぶい橙~10YR1.7/1 黒 (内) 7.5YR7/6 橙~10YR1.7/1 黒	ツボのミニチュア	(外) ヘラケズリ (内)
SB-27 1	壺 弥生	口径(14.6) 残高 3.0 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4 暗赤 (内) 10R3/4 暗赤	口縁部は受け口状を呈する 2か所に孔を穿つ	(外) 鎌状文を施す ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-27 2	壺 弥生	口径 — 残高 3.9 底径 — 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙		(外) 頸部にT字文を施す ボタン状貼り付け文を有する 赤色塗彩 (内)
SB-27 3	壺 弥生	口径 — 残高 4.6 底径 (7.6) 底部 1/3	胎；石英、粗砂粒，礫含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 2.5GY2/1 黒	平底	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
SB-27 4	壺 土師	口径 — 残高 2.9 底径 — 頸部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/2 暗赤褐 (内) 10R3/2 暗赤褐	二重口縁 連続して刻目を施す	(外) ヘラミガキ 頸部上部のみ赤色塗彩 (内) 頸部上部のみ赤色塗彩
SB-27 5	壺 土師	口径 — 残高 4.7 底径 — 頸部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐	張りのある体部より屈曲して 長く外傾して口縁部に至る	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) 胴部ヘラケズリ 口縁部ヘラミガキ
SB-27 6	甕 弥生	口径 12.3 残高 6.4 底径 — 口縁部~頸部3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 7.5YR4/2 灰褐	張りのある胴部より外反して 口縁部に至る	(外) 波状文と鎌状文を施す (内) 刷毛調整
SB-27 7	甕 弥生	口径(14.8) 残高 3.5 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR3/3 暗赤褐		(外) 4条1組の波状文を下から上に施文する (内) ヘラミガキ
SB-27 8	甕 弥生	口径 (7.7) 残高 5.0 底径 — 口縁部~胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/4 暗褐 (内) 7.5YR4/4 褐	緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ
SB-27 9	壺 弥生	口径 — 残高 5.2 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	外反する	(外) 櫛描文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-27 10	壺 土師	口径(14.6) 残高 4.3 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR6/6 橙	張りのある胴部より屈曲し直 線的に短く外反して口縁部に 至る 口唇部に面取りを施す	(外) (内) ナデ (ヨコ)
SB-27 11	壺 土師	口径(14.4) 残高 8.6 底径 — 口縁~胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/2 黒褐~5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	張りのある胴部より屈曲して 外反し口縁部に至る	(外) 刷毛調整 口縁部ナデ (ヨコ) (内) ヘラミガキ
SB-27 12	壺 土師	口径 16.1 残高 19.7 底径 — 口縁部~胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR2/1 黒 (内) 5YR4/6 赤褐	張りのある胴部より屈曲して 外反し口縁部に至る *床着	(外) ヘラケズリ ナデ (内) ナデ ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-27 13	壺 土師	口径(19.6) 残高 3.5 底径 — 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR3/3 暗褐~5YR5/6 明赤褐	二重口縁	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-27 14	台付 甕 土師	口径 (8.0) 残高 6.5 脚径 — 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 赤褐 (内) 5YR6/6 橙	脚部の先端は内側に折り返す	(外) 刷毛調整 (内)

第 26 表　遺物観察表 (24)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-27 15	高坏 土師	口径 － 残高 5.0 裾径 － 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6 橙 (内) 5YR5/6 明赤褐	脚部に透かしを有する	(外) ヘラミガキ (内) ヘラケズリ
SB-27 16	高坏 土師	口径 － 残高 3.5 裾径 － 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	脚部に3か所の円形の透かしを有する	(外) ヘラミガキ (内) 脚部ヘラケズリ
SB-27 17	高坏 土師	口径 － 残高 3.9 裾径 8.5 裾部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y4/1 灰～5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5Y5/2 暗灰～5YR5/6 明赤褐	直線的に開く	(外) (内) 脚部刷毛調整
SB-27 18	高坏 土師	口径 － 残高 3.3 裾径(17.6) 裾部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	脚部に透かしを有する	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-27 19	器台 土師	口径 8.4 器高 8.7 裾径 9.4 脚部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	脚部に6か所の透かしを有する	(外) ヘラミガキ (内) 脚部刷毛調整 坏部ヘラミガキ
SB-27 20	器台 弥生	口径 － 残高 3.2 裾径 － 脚部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 2.5YR3/4 暗褐	脚部に透かしを有する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
SB-27 21	鉢 土師	口径(10.8) 器高 5.2 底径 2.7 口縁部～胴～底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	平底より立ち上がり、直線ぎみに開いて口縁部に至る	(外) ヘラケズリ (内) ヘラミガキ
SB-27 22	鉢 土師	口径(12.4) 残高 3.9 底径 － 口縁部 1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙 (内) 2.5YR6/6 橙	口唇部の内側に面取りを施す	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-27 23	鉢 土師	口径 (9.8) 残高 3.6 底径 － 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明褐 (内) 2.5YR6/6 橙	張りのある胴部より屈曲して口縁部に至る	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ
SB-27 24	甕 弥生	口径 － 残高 2.3 底径 (8.0) 底部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/6 橙	平底に1孔を穿つ	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-27 25	蓋 土師	摘み径 4.2 器高 5.2 裾径(17.4) 胴部～裾部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙～7.5YR5/2 灰褐 (内) 5YR6/4 にぶい橙～N2/無	天井に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリの後ナデ (内) ヘラケズリの後ナデ
SB-27 ミニチュア 26	ミニチュア 土師	口径 7.1 器高 2.6 底径 5.5 口縁部～底部2/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐～10YR3/1 黒褐	平底で浅い	(外) ナデの後ヘラミガキ (内) ナデの後ヘラミガキ
SB-28 1	壺 弥生	口径(21.0) 残高 5.5 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁は大きく外反する	(外) 刷毛調整 (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-28 2	壺 弥生	口径 － 残高 1.8 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/2 暗赤褐 (内) 2.5YR3/4 暗赤褐	口縁部を折り返して作る	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ
SB-28 3	壺 土師	口径(11.6) 残高 5.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 7.5YR4/6 褐	張りのある胴部より屈曲して外反する口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) ヘラケズリ ナデ (内) 刷毛調整

第 27 表　遺物観察表(25)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-28	甕	口径(15.8)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	強りのある胴部より屈曲して	(外) 刷毛調整
		残高 2.8	焼；良好	外反する	
		底径 －	色；(外) 7.5YR3/3 暗褐		(内)
4	土師	口縁部一部	(内) 7/5YR4/4 褐		
SB-28	台付	口径(15.6)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	S字状口縁台付甕	(外) 刷毛調整
	甕	残高 4.0	焼；良好		
		裾径 －	色；(外) 5YR3/3 暗赤褐		(内) ヘラミガキ
5	土師	口縁部一部	(内) 5YR3/4 暗赤褐		
SB-28	甕	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	丸みのある胴部	(外) 刷毛調整
		残高 4.5	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙		(内) ナデ
6	土師	胴部一部	(内) 7.5YR5/3 にぶい橙		
SB-28	台付	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	緩やかに開く	(外)
	甕	残高 2.9	焼；良好		
		裾径 7.0	色；(外) 7.5YR4/3 褐		(内)
7	土師	脚部一部	(内) 2.5YR4/6 赤褐		
SB-28	高坏	口径(16.8)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	坏部は直線的に開く	(外) ヘラミガキ
		残高 7.1	焼；良好		赤色塗彩
		裾径 －	色；(外) 10R4/4 赤褐		(内) ヘラミガキ
8	弥生	口縁部一部	(内) 10R2/1 赤黒		
SB-28	高坏	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ）
		残高 5.4	焼；良好		
		裾径(10.8)	色；(外) 10YR4/1 褐灰		(内) 刷毛調整 ヘラケズリ
9	弥生	脚部一部	(内) 10YR3/1 黒褐		
SB-28	高坏	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	脚部に透かしを有する	(外) ヘラミガキ
		残高 4.3	焼；良好	坏部は稜を有して折れて開く	
		裾径 －	色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐		(内) 脚部ヘラケズリ
10	土師	脚一裾部一番	(内) 7.5YR6/4 にぶい橙		
SB-29	甕	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	外反する	(外) 波状文と簾状文を施す
		残高 4.5	焼；良好		波状文は下から上に向かって
		底径 －	色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐		施文する
1	弥生	口縁部一部	(内) 5YR4/6 赤褐		(内)
SB-29	甕	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	外反する	(外) 波状文と簾状文を施す
		残高 4.4	焼；良好		波状文は下から上に向かって
		底径 －	色；(外) 5YR4/6 赤褐色		施文する
2	弥生	口縁部一部	(内) 5YR4/6 赤褐色		(内)
SB-29	甕	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	緩やかに外反する	(外) 櫛描文を施す
		残高 4.0	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 7.5YR3/2 黒褐		(内) ヘラミガキ
3	弥生	頸部一部	(内) 5YR4/8 赤褐		
SB-29	甕	口径(21.0)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	張りのある胴部より屈曲し外	(外) 刷毛調整
		残高 10.7	焼；良好	反して口縁に至る	
		底径 －	色；(外) 5YR5/6 明赤褐	＊床着	(内) 刷毛調整
4	土師	口縁一胴部一番	(内) 5YR5/6 明赤褐		
SB-29	壺	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	段を有する	(外)
		残高 3.0	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐		(内)
5	土師	口縁部一部	(内) 2.5YR4/6 赤褐		
SB-29	甕	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ（ヨコ）
		残高 2.2	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 5YR5/6 明赤褐		(内) ナデ（ヨコ）
6	土師	口縁部一部	(内) 7.5YR5/4 にぶい褐		
SB-29	高坏	口径(15.6)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	丸みをもって開く	(外) ヘラミガキ
		残高 3.2	焼；良好		赤色塗彩
		裾径 －	色；(外) 5YR6/4 にぶい橙～7.5YR4/1 褐		(内)
7	弥生	口縁部一部	(内) 5YR6/4 にぶい橙～7.5YR4/1 褐		
SB-29	高坏	口径 －	胎；雲母、粗砂粒含む	脚部を坏部に埋め込む	(外) ヘラミガキ
		残高 2.5	焼；良好		
		裾径 －	色；(外) 5YR4/6 赤褐		(内) 坏部ヘラミガキ
8	土師	接合部	(内) 5YR4/6 赤褐		

第 28 表　遺物観察表 (26)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-29 9	甕 弥生	抓み径 4.2 残高 3.3 胴径 － 抓み部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	天井部に1孔を穿つ	(外) ナデ (内) ヘラケズリ
SB-29 10	ミニチュア 土師	口径 － 残高 3.0 底径 2.8 底部～胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	手捏ね土器	(外) (内)
SB-30 1	壺 弥生	口径(24.2) 残高 6.0 底径 － 口縁部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4 暗赤 (内) 10R4/6 赤	外反して大きく開く	(外) 赤色塗彩 (内) 赤色塗彩
SB-30 2	壺 弥生	口径 18.5 残高 6.9 底径 － 口縁部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部は受け口状を呈する ＊床着	(外) ヘラミガキ（タテ、ヨコ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-30 3	壺 土師	口径(11.0) 残高 6.3 底径 － 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	胴部より屈曲して直線的に開き口縁部に至る	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) 刷毛調整 ナデ
SB-30 4	壺 土師	口径(11.4) 残高 4.9 底径 － 口縁部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	胴部より屈曲し直線的に長く外反する	(外) 口縁部ナデ（ヨコ）刷毛調整 (内)
SB-30 5	壺 弥生	口径 － 残高 2.8 底径 2.3 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10YR7/2 にぶい黄橙		(外) ヘラミガキ 底部まで赤色塗彩 (内) ヘラケズリ 刷毛調整
SB-30 6	壺 弥生	口径 － 残高 1.4 底径 3.7 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/8 赤 (内) 10R4/6 赤	＊床着	(外) 底部は刷毛調整 赤色塗彩 (内) 赤色塗彩
SB-30 7	壺 土師	口径 － 残高 3.0 底径 － 胴部～底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6 橙 (内) 7.5YR7/6 橙～7.5YR6/2 灰褐	張りのある胴部	(外) 櫛描文を施す (内)
SB-30 8	甕 土師	口径(13.8) 残高 15.5 底径 － 口縁部～胴部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙～7.5YR4/2 灰褐 (内) 2.5YR6/6 橙	口縁部で外反する	(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-30 9	甕 土師	口径(18.9) 残高 7.0 底径 － 口縁部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR7/6 橙	張りのある胴部より屈曲外反して口縁部に至る	(外) 口縁部ナデ（ヨコ） (内) 口縁部ナデ（ヨコ）
SB-30 10	甕 土師	口径(11.5) 残高 8.2 底径 － 口縁部～胴部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部で屈曲し外反する	(外) ヘラケズリ (内) 口縁部刷毛調整 胴部ヘラケズリ
SB-30 11	甕 土師	口径 12.8 器高 13.4 底径 6.4 口縁部～胴部 2/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/2 にぶい黄橙～7.5YR3/1 黒褐 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	平底より立ち上がり、緩やかにやや外反して口縁部に至る 口縁部は折り返す ＊床着	(外) 刷毛調整 (内) 口縁部ヘラミガキ（ヨコ） 胴部ヘラミガキ（タテ）
SB-30 12	甕 土師	口径(20.2) 残高 2.8 底径 － 口縁部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	段を有して外反する	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
SB-30 13	甕 土師	口径 － 残高 2.0 底径 － 口縁部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙 (内) 5YR4/3 にぶい赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）

第 29 表　遺物観察表 (27)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-30 14	甕 土師	口径 － 残高 3.9 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6 橙~7.5YR3/1 黒褐 (内) 5YR6/8 橙	口縁部を折り返して作る	(外) ナデ (内) ヘラミガキ
SB-30 15	高坏 弥生	口径 － 残高 7.2 裾径 － 坏部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤~7.5YR6/6 橙	＊土器散炉	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 赤色塗彩
SB-30 16	高坏 土師	口径 9.8 器高 6.9 裾径 6.0 脚部1/2~脚部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6 橙 (内) 5Y4/1 灰	口縁部に面取りを施す ＊床着	(外) 坏部ヘラミガキ（タテ） 脚部刷毛調整 (内) 坏部ヘラミガキ（タテ）
SB-30 17	高坏 土師	口径 13.9 残高 8.0 裾径 － 坏部3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR6/6 橙	稜を有して内弯する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-30 1	高坏 土師	口径 － 残高 4.8 裾径(13.3) 脚部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6 橙 (内) 5YR5/6 明赤褐	脚部は透かしを有し、ラッパ状に開く	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
SB-30 19	甕 弥生	口径 － 残高 5.7 底径 6.2 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐~2.5YR2/1 黒褐 (内) 5YR6/8 橙	平底に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-30 20	甕 弥生	口径 － 残高 2.0 底径 5.9 底部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	平底に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-30 21	蓋 弥生	抓み径 4.7 残高 3.3 裾径 － 抓み部~体部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙~5YR5/2 灰褐	抓み部より開く	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-30 22	蓋 弥生	抓み径 5.9 残高 2.1 裾径 － 抓み部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR4/3 にぶい赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリ ナデ (内) ヘラケズリ ナデ
SB-31 1	壺 弥生	口径 － 残高 24.6 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙~7.5YR5/6 橙 (内) 5YR5/6 明赤褐~10YR3/2 黒褐	やや張りのある胴部より緩やかに頸部ですぼまる	(外) 頸部にT字文を施す 赤色塗彩 (内) 赤色塗彩
SB-31 2	壺 弥生	口径 － 残高 11.8 底径 － 頸部 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/6 明赤褐~2.5YR4/3 にぶい赤褐 (内)2.5YR7/6 橙~2.5YR4/2 灰赤	大きく外反して開く	(外) 頸部にT字文を施す ヘラミガキ（タテ）赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-31 3	壺 弥生	口径 － 残高 8.0 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4 赤褐 (内) 10R3/4 暗赤		(外) 頸部に櫛描文を施す ヘラミガキ（タテ）赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-31 4	甕 弥生	口径 16.6 器高 20.1 底径 6.2 ほぼ完存	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4 にぶい赤褐~5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	平底より立ち上がり、丸みのある胴部より強く外反して口縁部に至る	(外) 波状文を施す (内)
SB-31 5	甕 弥生	口径 － 残高 21.0 底径 6.0 頸部~底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/3 にぶい褐	平底より立ち上がり、丸みのある胴部に移行する 胴部上位が張る ＊床着	(外) 波状文と簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-31 6	甕 弥生	口径(15.8) 残高 9.0 底径 － 口縁部~胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	胴部より緩やかに外反して口縁部に至る	(外) 波状文を施す 2連止めの簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）

第 30 表　遺物観察表 (28)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-31 7	甕 弥生	口径(15.0) 残高 7.7 底径 － 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を口縁部は下から上へ 胴部は上から下へ施す (内) ヘラミガキ
SB-31 8	壺 弥生	口径(17.2) 残高 8.0 底径 － 口縁部1/4 頸部～胴	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐 (内) 10YR3/2 黒褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 簾状文を施した後、波状文を 施す (内) ヘラケズリ ヘラミガキ（ヨコ）
SB-31 9	壺 弥生	口径(13.5) 残高 9.0 底径 － 口縁部～胴部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	胴部より緩やかに外反して口 縁部に至る	(外) 波状文と簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-31 10	甕 弥生	口径 － 残高 9.8 底径 (8.0) 胴部～底部一片	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 7.5YR4/3 褐	平底より立ち上がり、直線的 に開く胴部に移行する	(外) ヘラミガキ (内)
SB-31 11	甕 土師	口径 － 残高 1.6 底径 6.4 底部 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR4/3 にぶい赤褐	平底	(外) ヘラケズリ (内) 刷毛調整
SB-31 12	甕 土師	口径 － 残高 3.0 底径 6.6 底部 3/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	平底	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリ
SB-31 13	壺 土師	口径 － 残高 2.5 底径 7.0 底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	平底	(外) ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-31 14	高杯 土師	口径 － 残高 3.1 裾径 － 接合部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	脚部を杯部に埋め込み接合す る	(外) ヘラミガキ (内) 杯部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ ナデ
SB-31 15	鉢 土師	口径(21.4) 残高 6.8 底径 － 口縁部～体部一片	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/1 赤灰 (内) 2.5YR4/1 赤灰	直線的に開く	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) 刷毛調整
SB-32 1	壺 弥生	口径 － 残高 48.5 底径 13.0 胴部2/3～底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙～5YR4/1 褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	胴部は下膨れの形態を呈する	(外) 頸部に丁字文を施す 刷毛調整の後ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
SB-32 2	壺 弥生	口径 － 残高 4.4 底径 － 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR4/8 赤褐	外反する	(外) 櫛描文を施す 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-32 3	壺 弥生	口径 － 残高 7.1 底径 6.0 胴下位～底部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR7/6 橙	胴部は下位で外反する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) 刷毛調整
SB-32 4	壺 弥生	口径 － 残高 6.3 底径 5.8 胴部～底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	平底より立ち上がり、直線的 に開いて胴部に移行する	(外) ヘラミガキ（ナナメ） (内)
SB-32 土師	壺	口径 － 残高 3.0 底径 － 口縁部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	段を有する	(外) ボタン状貼付文を連続して施 す ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-32 6	壺 土師	口径(18.0) 残高 6.5 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部は胴部より屈曲し、稜 を経て外反する 口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ 口唇部赤色塗彩 (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ 口唇部赤色塗彩

第 31 表　遺物観察表(29)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-32 7	壺 土師	口径 10.0 残高 6.3 底径 － 口縁部-頸部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4 にぶい橙~7.5YR5/2 にぶい褐 (内)7.5YR6/4 にぶい橙~7.5YR5/2 にぶい褐	体部より折れて、内湾ぎみに長く開く口縁部に至る	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-32 8	壺 弥生	口径(11.6) 残高 7.4 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8 赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐~5YR3/4 暗赤褐	丸みのある胴部より強く外反して口縁部に至る	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32 9	壺 弥生	口径(19.8) 残高 6.5 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る 口縁部は受け口ぎみである	(外) 頸部に2連止めの重弧文を施す　波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32 10	壺 弥生	口径(14.2) 残高 7.5 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR4/2 灰褐	緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32 11	壺 弥生	口径(16.8) 残高 5.9 底径 － 口縁部-頸部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-32 12	壺 土師	口径(26.4) 残高 16.5 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR4/6 褐	張りのある胴部より外反して口縁部に至る	(外) 櫛描文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-32 13	壺 土師	口径(14.7) 残高 12.1 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR4/4 にぶい赤褐	丸みのある胴部より折れて外反して口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-32 14	壺 土師	口径 11.5 残高 9.5 底径 － 口縁部-頸部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8 赤褐 (内) 7.5YR4/3 褐	丸みのある胴部より外反して口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-32 15	壺 土師	口径 12.0 残高 9.2 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR4/2 灰褐	張りのある胴部より折れて、直線的に開いて口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部ナデ (ヨコ) 胴部刷毛調整 (内) ヘラケズリ
SB-32 16	壺 土師	口径(15.4) 残高 4.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	張りのある胴部より折れて、直線的に開いて口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) 刷毛調整
SB-32 17	壺 土師	口径(16.8) 残高 4.3 底径 － 口縁部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 口縁部ナデ (ヨコ) 胴部刷毛調整 (内) 口縁部ナデ (ヨコ) 胴部刷毛調整
SB-32 18	壺 土師	口径(18.0) 残高 2.9 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/1 黒褐 (内) 7.5YR5/3 にぶい褐	胴部より屈折して外反し口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) ヘラケズリ　ナデ (ヨコ)
SB-32 19	壺 土師	口径(14.3) 残高 3.7 底径 － 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 7.5YR4/2 灰褐	口縁部は外反する 口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ)　刷毛調整 (内) ナデ (ヨコ)　刷毛調整
SB-32 20	壺 土師	口径(17.4) 残高 3.1 底径 － 口縁部 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4 にぶい橙 (内) 2.5YR6/4 にぶい橙	張りのある胴部より緩やかに外反して口縁部に至る	(外) 口縁部ナデ (ヨコ) 胴部刷毛調整 (内) ヘラケズリ　刷毛調整
SB-32 21	壺 土師	口径(12.0) 残高 5.2 底径 － 口縁部-頸部-3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	胴部より緩やかに外反する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整

第 32 表　遺物観察表 (30)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-32 22	壺 土師	口径 － 残高 4.2 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 刷毛調整 赤色塗彩 (内) 刷毛調整 ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-32 23	壺 土師	口径 － 残高 3.4 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) ハケナデ (内) ヘラミガキ
SB-32 24	壺 土師	口径 － 残高 1.9 底径 － 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	口縁部の先端に稜を有する	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
SB-32 25	壺 土師	口径 10.2 残高 10.0 底径 － 口縁部～胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR4/6 赤褐	胴部より緩やかに「コ」の字状に外反する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-32 26	壺 土師	口径 － 残高 15.2 底径 － 口縁部～胴部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	球形の胴部より折れて、短く外反して口縁部に至る	(外) 刷毛調整 ヘラケズリ (内) ヘラケズリ
SB-32 27	壺 土師	口径 － 残高 10.7 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8 明赤褐～2.5YR3/2 暗赤褐 (内) 2.5YR5/8 明赤褐	球形を呈する	(外) ヘラケズリの後ナデ (内) ヘラケズリの後ナデ
SB-32 28	壺 土師	口径 － 残高 5.5 底径 5.2 胴部一部一底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/1 暗赤灰 (内) 2.5YR5/4 にぶい赤褐	平底より立ち上がり、胴部に移行する	(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ ナデ
SB-32 29	台付 壺 土師	口径(16.0) 残高 5.0 裾径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR6/4 にぶい橙	S字状口縁	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-32 30	台付 壺 土師	口径 － 残高 1.8 裾径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 10YR3/2 黒褐	S字状口縁	(外) 刷毛調整 ヘラミガキ (内) 刷毛調整
SB-32 31	台付 壺 土師	口径 － 残高 1.9 裾径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3 にぶい橙 (内) 7.5YR7/3 にぶい橙	S字状口縁	(外) 刷毛調整 (内) ナデ
SB-32 32	台付 壺 土師	口径 － 残高 2.0 裾径 － 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐		(外) 脚部ヘラケズリ、刷毛調整 (内) 坏部刷毛調整
SB-32 33	高坏 弥生	口径(19.0) 残高 8.7 裾径 － 坏部～脚部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	坏部は接合部より直線的に開き、先端で緩く内側に折れる	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-32 34	高坏 弥生	口径(22.2) 残高 7.9 裾径 － 坏部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤 (内) 10R3/6 暗赤	坏部は接合部より内湾ぎみに開き、先端でさらに内湾する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-32 35	高坏 弥生	口径(17.0) 残高 7.8 裾径 － 坏部 1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10R5/6 赤	坏底部を突出させて接合する 坏部は内湾する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-32 36	高坏 弥生	口径 19.8 残高 8.5 裾径 － 坏部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙～2.5YR3/1 暗赤灰 (内) 2.5YR6/6 橙～2.5YR3/1 暗赤灰	坏部は段を経て、外反して口縁部に至る 口縁部に突起を有する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩

第 33 表　遺物観察表(31)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-32 37	高坏 弥生	口径(15.8) 残高 5.8 裾径 — 口縁部 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 10R4/8 赤	坏部は直線的に開き、先端で緩く内側に折れる	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ナナメ） 赤色塗彩
SB-32 38	高坏 弥生	口径(25.0) 残高 3.8 裾径 — 口縁部 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10R5/6 赤	坏部に段を有して屈曲して外反し、口縁部に至る 口縁部に突帯を有する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-32 39	高坏 土師	口径 — 残高 3.3 裾径(24.0) 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8 橙~2.5YR4/2 灰赤 (内) 5YR6/8 橙	脚部に円形の透かしを有する	(外) ヘラミガキ 沈線文による文様を施す (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-32 40	高坏 土師	口径 — 残高 4.7 裾径 (7.2) 脚柱部~裾部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	脚部に3カ所の透かしを有する	(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ
SB-32 41	高坏 土師	口径 — 残高 4.3 裾径 — 脚柱部~裾部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	脚部に3カ所の透かしを有する	(外) ヘラミガキ (内) 脚部ヘラケズリ ナデ 坏部ヘラミガキ
SB-32 42	高坏 土師	口径 — 残高 3.7 裾径 — 脚柱部~裾部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	脚部に4カ所の透かしを有する	(外) 脚部ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ
SB-32 43	高坏 土師	口径 — 残高 3.5 裾径(18.2) 脚部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙~5YR3/3 暗赤褐 (内) 5YR6/6 橙~5YR3/3 暗赤褐	脚部に円形の透かしを有する	(外) ヘラミガキ (内) 刷毛調整
SB-32 44	器台 土師	口径(10.6) 残高 2.3 裾径 — 坏部 1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/4 にぶい橙	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ（ヨコ） (内) ヘラミガキ
SB-32 45	鉢 弥生	口径(16.3) 残高 13.0 底径 (5.3) 口縁部~底部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 5YR6/6 橙	平底より立ち上がり、直線的に開いてそのまま口縁部に至る	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-32 46	鉢 弥生	口径(20.8) 残高 8.6 底径 — 口縁部~体部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/1 褐灰 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙~7.5YR5/2 灰褐	坏部は直線的に開き、口縁部の先端で緩く内屈する	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) ヘラミガキ（ナナメ）
SB-32 47	鉢 弥生	口径(13.4) 残高 5.4 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/3 暗赤褐 (内) 10R3/3 暗赤褐	内弯する	(外) 精致なヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) 精致なヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-32 片口 鉢 48	 弥生	口径(19.7) 残高 4.6 底径 — 口縁部~体部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部に片口を有する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-32 49	鉢 弥生	口径(15.4) 残高 5.4 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4 暗赤 (内) 10R4/6 赤	内弯する	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-32 50	深鉢 弥生	口径(16.8) 残高 2.8 底径 — 口縁部 一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤褐 (内) 10R3/6 暗赤褐	胴部より緩やかに外反する	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-32 51	鉢 土師	口径 (9.8) 残高 5.5 底径 — 口縁部~体部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/8 明赤褐	丸い体部より屈折して段を経て、開いて口縁部に至る	(外) ヘラケズリ ナデ (内) ヘラケズリ ナデ

第 34 表　遺物観察表 (32)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-32	片口	口径 －	胎；石英、粗砂粒含む	口縁部に片口を有する	(ヽ) ヘラミガキ
	鉢	残高 2.3	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 5YR5/6 明赤褐		(内) ヘラミガキ
52	弥生	口縁部一部	(内) 5YR3/2 暗赤褐		
SB-33	壺	口径(16.3)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	外反する	(外) 頸部に櫛状文を施す
		残高 4.1	焼；良好		赤色塗彩
		底径 －	色；(外) 10R4/4 赤褐		(内) ヘラミガキ
1	弥生	口縁部一部	(内) 10R4/4 赤褐		赤色塗彩
SB-33	壺	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ
		残高 2.4	焼；良好		赤色塗彩
		底径 5.6	色；(外) 10R3/3 暗赤褐		(内) ヘラミガキ
2	弥生	底部	(内) 5YR3/3 暗赤褐		
SB-33	壺	口径(14.8)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を施す
		残高 11.3	焼；良好	口縁部と胴部最大径はほぼ同	
		底径 －	色；(外) 5YR3/2 暗赤褐	じ	(内) ヘラミガキ (ヨコ)
3	弥生	口縁部～胴部一部	(内) 2.5YR4/6 赤褐		
SB-33	壺	口径(19.3)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	張りのある胴部より外反して	(外) 波状文を上から下へ施す
		残高 12.5	焼；良好	口縁部に至る	
		底径 －	色；(外) 10YR5/2 灰黄褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
4	弥生	口縁部～胴部一部	(内) 10YR5/2 灰黄褐		
SB-33	高坏	口径(25.2)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部の先端で折れて、更に	(外) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 4.5	焼；良好	開く	赤色塗彩
		裾径 －	色；(外) 10R3/6 暗赤		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
5	弥生	口縁部一部	(内) 10R3/6 暗赤		赤色塗彩
SB-33	高坏	口径(24.0)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	口縁部の先端で折れて、更に	(外) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 4.1	焼；良好	開く	赤色塗彩
		裾径 －	色；(外) 10R4/6 赤	口縁部に突起を有する	(内) ヘラミガキ (ヨコ)
6	弥生	口縁部一部	(内) 10R4/6 赤		赤色塗彩
SB-33	高坏	口径(14.4)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	体部は内弯ぎみ	(外) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 3.4	焼；良好	口縁部の先端で更に内弯する	赤色塗彩
		裾径 －	色；(外) 10R4/6 赤		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
7	弥生	口縁部一部	(内) 10R3/4 暗赤		赤色塗彩
SB-33	鉢	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底	(外) ヘラミガキ (ヨコ)
		残高 2.9	焼；良好		底部まで赤色塗彩
		底径 (5.4)	色；(外) 10R3/4 暗赤		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
8	弥生	体部～底部一部	(内) 10R4/4 赤褐		赤色塗彩
SB-33	鉢	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	小さい底部より立上がり、大	(外) ヘラケズリ
		残高 3.6	焼；良好	きく開いて体部に移行する	
		底径 2.7	色；(外) 7.5YR6/4 橙		(内) ヘラケズリ
9	弥生	体部～底部	(内) 7.5YR3/1 黒褐		
SB-33	ミニ	口径 7.0	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底	(外) ナデ
	チュ	器高 4.2	焼；良好	手捏ね	
	ア	底径 4.0	色；(外) 5YR4/6 赤褐		(内) ナデ
10	弥生	完形	(内) 7.5YR5/4 にぶい褐		
SB-34	壺	口径 －	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	平底	(外) ヘラミガキ (タテ)
		残高 2.3	焼；良好		赤色塗彩
		底径 7.8	色；(外) 5YR5/6 明赤褐～10R4/6 赤		(内) ヘラミガキ (タテ)
1	弥生	底部	(内) 2.5YR5/6 明赤褐		
SB-34	壺	口径(10.8)	胎；石英、粗砂粒含む	平底より立ち上がり、強く張	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ
		器高 14.5	焼；良好	った偏平の胴部より折れて、	
		底径 4.6	色；(外) 2.5YR5/8 明赤褐	直線的に開く口縁部に至る	(内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
2	土師	口縁部～底部	(内) 5YR6/4 にぶい橙		
SB-34	甕	口径(22.2)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	外反する	(外) 波状文を下から上へ施す
		残高 2.5	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐～7.5YR3/1 黒褐		(内) ヘラミガキ (ヨコ)
3	弥生	口縁部一部	(内) 7.5YR5/4 にぶい褐～7.5YR4/1 褐灰		
SB-34	甕	口径(19.6)	胎；石英、雲母、粗砂粒含む	段を有する	(外) 刷毛調整
		残高 3.6	焼；良好		
		底径 －	色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐		(内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
4	土師	口縁部 1/4	(内) 5YR6/6 橙		

第 35 表　遺物観察表 (33)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-34 5	甕 土師	口径(16.3) 残高 2.9 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部は強く外反する 口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ) ヘラケズリ
SB-34 6	壺 土師	口径 — 残高 15.5 底径 — 胴部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4 暗赤褐 (内) 5YR4/2 灰褐	球形胴	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-34 7	壺 土師	口径(12.2) 残高 7.3 底径 — 口縁部~胴部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3 褐~7.5YR3/3 黒褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐~2.5YR3/1 黒赤褐	胴部より屈折して、直線的に開いて口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 ヘラケズリ
SB-34 8	壺 土師	口径 — 残高 6.8 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	丸みのある胴部	(外) 刷毛調整 (内) ナデ
SB-34 9	壺 土師	口径 — 残高 4.8 底径 — 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2 灰褐 (内) 5YR5/4 にぶい赤褐	丸みのある胴部	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-34 10	高坏 土師	口径 — 残高 5.6 脚径 — 脚部~脚部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	脚部に3か所の透かしを有する	(外) 脚部ヘラミガキ (内) 脚部ヘラケズリ 坏部ヘラミガキ
SB-35 SB-36 1	壺 弥生	口径 28.0 残高 16.5 底径 — 口縁部3/4~頸部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	口縁部はアサガオの花状に開き先端で更にめくれるように開く ＊底着	(外) 頸部に櫛描羽状文を施す ボタン状貼付文を施す 赤色顔料 (内) 刷毛調整 ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-35 SB-36 2	壺 弥生	口径 — 残高 11.5 底径 (8.4) 底部1/2~頸部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3 にぶい橙 (内) 7.5YR7/3 にぶい橙	平底 胴部低位はくびれる	(外) 刷毛調整 (内) ナデ
SB-35 SB-36 3	甕 弥生	口径 — 残高 6.3 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/4 暗褐 (内) 7.5YR5/6 明褐	緩やかに外反する 胴部上位に最大径を持つ	(外) 簾状文と波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-37 1	甕 土師	口径(19.6) 残高 15.5 底径 — 口縁部~胴部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	強く張った胴部より折れて、口縁部に至る 口縁部は段を有する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-37 2	甕 土師	口径(23.6) 残高 5.8 底径 — 口縁部一部	胎；粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙	口縁部は張りのある胴部より折れて外反する	(外) 刷毛調整の後ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-37 3	甕 土師	口径 — 残高 9.0 底径 (8.2) 底部~胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4 にぶい赤褐 (内) 5YR6/6 橙~5YR3/3 暗赤褐	平底より立ち上がり、胴部下位は少し丸みを持つ	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラミガキ (タテ)
SB-37 4	甕 土師	口径 — 残高 5.0 底径 — 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR4/3 にぶい赤褐		(外) 刷毛調整 (内) ナデ
SB-37 5	台付 甕 土師	口径(12.3) 残高 9.1 脚径 — 口縁部1/2~脚	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	口縁部はS字状を呈する	(外) 刷毛調整 (内) ナデ
SB-37 6	台付 甕 土師	口径 — 残高 2.4 脚径 6.2 台部 3/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	台部	(外) ナデ (内) ナデ

第 36 表　遺物観察表 (34)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-37 7	高坏 弥生	口径 － 残高 5.3 裾径 － 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤~5YR5/6 明赤褐	坏部を突出させて接合する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ、赤色塗彩 脚部ヘラケズリ
SB-37 8	高坏 弥生	口径 19.2 残高 12.3 裾径 － 坏部~脚部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤~5YR6/4 にぶい橙	坏部は接合部より直線的に開き、口縁部に至る	(外) ヘラミガキ（ナナメ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩
SB-37 9	高坏 土師	口径 － 残高 6.7 裾径 11.4 脚部 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	脚部に円形の透かしを有する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラケズリ
SB-37 10	器台 土師	口径 － 残高 2.7 裾径 － 接合部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 2.5YR5/4 にぶい赤褐	脚部に3か所の透かしを有する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラケズリ
SB-37 11	甕 土師	口径 － 残高 2.7 底径 5.7 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	底部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
SB-38 1	甕 弥生	口径(18.3) 残高 6.8 底径 － 口縁部~一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 5YR4/2 灰褐	口縁部は緩く外反する	(外) 波状文を施した後頸部に櫛状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-38 2	甕 弥生	口径 － 残高 9.0 底径 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐		(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SB-38 3	高坏 弥生	口径 － 残高 17.0 裾径(16.2) 脚部~脚一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6 暗赤 (内) 10R3/6 暗赤	脚部は接合部より直線的に開き、裾部先端で大きく開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（タテ） 脚部は刷毛調整 坏部赤色塗彩
SB-38 4	鉢 弥生	口径 － 残高 3.3 底径 4.9 脚~一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	平底	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 底部まで赤色塗彩 (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SB-38 5	甕 弥生	口径 － 残高 2.8 底径 6.0 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR4/8 赤褐	平底に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ
SB-38 6	蓋 弥生	抓み径 6.7 残高 3.8 裾径 － 抓み部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 7.5YR4/3 褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ
SB-40 1	壺 弥生	口径 30.5 残高 14.8 底径 － 頸部1/2~一	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/6 赤	口縁部は大きく外反する	(外) 頸部にT字文を施す 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 口縁部のみ赤色塗彩
SB-40 2	壺 弥生	口径(22.6) 残高 10.3 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6 明褐 (内) 7.5YR6/6 橙	大きく外反する	(外) 頸部に櫛描文を施す ヘラミガキ（タテ）赤色塗彩 (内) 刷毛調整 赤色塗彩
SB-40 3	壺 土師	口径(13.8) 残高 5.2 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	外反する	(外) ヘラミガキ（タテ） (内) ヘラミガキ（ヨコ）
SB-40 4	壺 弥生	口径 － 残高 11.6 底径 10.2 底部~胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	平底 胴部低位は直線的に開く ＊土器敷炉	(外) 精致なヘラミガキ（タテ） (内) 剥落 ヘラミガキ

第 37 表　遺物観察表 (35)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SB-40 5	壺 弥生	口径 — 残高 5.3 底径 (9.5) 底部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR6/6 橙		(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
SB-40 6	台付 甕 弥生	口径(14.8) 残高 14.0 裾径 — 口縁部～胴部～胴部～胴	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐～10YR4/1 褐灰 (内) 10YR5/2 灰黄褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-40 7	甕 弥生	口径(17.0) 残高 5.0 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部は外反する	(外) 波状文を上から下へ施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SB-40 8	甕 土師	口径 — 残高 3.0 底径 — 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ (ヨコ) (内) ナデ (ヨコ)
SB-40 9	高坏 弥生	口径 — 残高 5.5 裾径 — 接合部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6 赤 (内) 7.5R4/6 赤～2.5YR5/6 明赤褐	坏部は底部を突出させて接合する	(外) ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) 坏部ヘラミガキ 赤色塗彩
SB-40 10	高坏 弥生	口径 — 残高 6.9 裾径 12.7 胴部～裾部 1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 5YR6/6 橙		(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ナデ ヘラケズリ
SB-40 11	高坏 土師	口径 — 残高 4.7 裾径 — 接合部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR4/2 灰赤～2.5YR5/6 明赤褐		(外) ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラミガキ 脚部ナデ
SB-40 12	台付 深鉢 弥生	口径 — 残高 7.0 裾径 6.7 胴部～胴部～胴部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8 明赤褐 (内) 2.5YR4/3 にぶい赤褐	脚部は接合部より直線的に開く	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (タテ) 脚部ヘラケズリ
SK-01 1	壺 弥生	口径(28.6) 残高 8.0 底径 — 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	口縁部は大きく外反する	(外) ヘラミガキ (タテ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ (ヨコ) 赤色塗彩
SK-01 2	壺 弥生	口径 — 残高 10.5 底径 — 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 2.5YR5/6 明赤褐		(外) 頸部にT字文を施す ヘラミガキ (ナナメ) 赤色塗彩 (内) 剥落
SK-01 3	壺 弥生	口径 — 残高 6.5 底径 — 頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR4/8 赤褐	頸部に鍔を有する	(外) ヘラケズリ (内) ナデ
SK-01 4	壺 弥生	口径 — 残高 7.5 底径 (8.0) 胴部～底部～胴	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4 にぶい赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	平底より立ち上がり、胴部下位から直線的に開く	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) 刷毛調整
SK-01 5	甕 弥生	口径(17.8) 残高 9.3 底径 — 口縁部～胴部 1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/2 黒褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部は小さく折り返す	(外) 波状文、頸部にT字文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SK-01 6	甕 弥生	口径(21.0) 残高 13.3 底径 — 口縁部 1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR5/6 明赤褐	口縁部を外側へ折り返す	(外) 波状文を施す (内) ヘラミガキ (ヨコ)
SK-01 7	甕 弥生	口径 18.6 残高 21.0 底径 — 口縁部～胴部 1/	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3 にぶい褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	胴部から緩やかに外反して口縁部に至る 口径と胴部最大径は同じ	(外) 波状文を上から下へ施す (内) 精緻なヘラミガキ (ヨコ)

第 38 表　遺物観察表 (36)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
SK-01 8	鉢 弥生	口径 15.6 残高 7.8 底径 − 口縁部1/2~体部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6 赤 (内) 10R4/8 赤	平底より立ち上がり直線的に開き、口縁部先端で僅かに内弯する	(外) ヘラミガキ（タテ） 底部まで赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
SK-01 9	蓋 弥生	抓み径 4.2 残高 6.3 裾径 (16.6) 抓み部~縁部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6 赤褐 (内) 5YR4/8 赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリの後ヘラミガキ (内) 粗いヘラミガキ
SK-01 10	蓋 弥生	抓み径 6.8 残高 6.2 裾径 − 抓み部~縁部~体	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6 暗赤褐 (内) 5YR4/6 赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) ナデ　ヘラケズリ
SK-01 11	蓋 弥生	抓み径 4.4 残高 2.5 裾径 − 抓み部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/1 褐灰 (内) 5YR5/6 明赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ
SK-01 12	蓋 弥生	抓み径 4.4 残高 1.1 裾径 − 抓み部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	天井部に1孔を穿つ	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
SK-02 1	壺 弥生	口径 − 残高 8.6 底径 7.6 縁部~体~底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 5YR6/6 橙	平底より立ち上がり、胴部下位から直線的に開く	(外) ヘラミガキ（タテ） 赤色塗彩 (内) 刷毛調整
P−01 1	壺 弥生	口径 − 残高 7.8 底径 7.4 縁部~体~底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐~2.5YR4/1 赤灰 (内) N3/ 暗灰	平底より立ち上がり、胴部下位から直線的に開く	(外) ヘラミガキ　ヘラケズリ 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ 赤色塗彩
トレンチ4 1	甕 弥生	口径 15.0 残高 10.1 底径 − 口縁部~胴部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐 (内) 7/5YR5/4 明褐	強りぎみの胴部より屈曲して外反して口縁部に至る	(外) 簾状文を施した後、波状文を施す (内) ヘラミガキ
トレンチ4 2	甕 弥生	口径 − 残高 7.1 底径 5.8 縁部~体~底部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい橙~N3/ 暗灰 (内) 2.5YR6/4 にぶい橙	平底より立ち上がり、丸みを持った胴部に移行する	(外) ヘラケズリ (内) ヘラミガキ
トレンチ7 1	甕 弥生	口径(21.4) 残高 12.2 底径 − 口縁部~胴部~体	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR6/6 橙~5YR4/2 灰褐		(外) 波状文、2連止めの簾状文を施す (内) 刷毛調整
トレンチ7 2	ミニチュア 土師	口径 (6.4) 残高 5.5 底径 − 口縁部~胴部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙~5YR6/4 にぶい橙 (内) 5YR6/6 橙	丸みのある胴部より屈折して外傾して口縁部に至る	(外) ヘラケズリ　ナデ 口縁部赤色塗彩 (内) ヘラケズリ　ナデ 口縁部赤色塗彩
トレンチ8 1	壺 土師	口径 − 残高 6.7 底径 − 胴部~部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4 にぶい赤褐 (内) 5YR6/4 にぶい赤褐	突起を有する	(外) 刷毛調整 (内) ヘラミガキ
トレンチ8 2	甕 弥生	口径(22.1) 残高 14.6 底径 − 口縁部~胴部~体	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4 にぶい褐~7.5YR4/3 褐 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 頸部に簾状文、胴部に波状文を施す (内) ヘラケズリの後ヘラミガキ（ヨコ）
トレンチ8 3	甕 弥生	口径(20.9) 残高 11.4 底径 − 口縁部~部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐~10YR7/2 にぶい黄橙 (内) 5YR5/8 明赤褐~5YR3/1 黒褐	口縁部は長く緩やかに外反する	(外) 口縁部に波状文を施した後、頸部に簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
遺構外 1	鉢 土師	口径 11.0 残高 6.0 底径 − 口縁部1/2~底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	偏平の体部より屈折して口縁部に至る	(外) ヘラケズリ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ

第 39 表　遺物観察表 (37)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
遺構外 2	壺 土師	口径 (8.5) 残高 6.3 底径 － 口縁部～胴部～底	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙～5YR4/1 褐 (内) 5YR6/4 にぶい橙	丸みのある胴部より折れて、外傾して口縁部に至る	(外) ヘラケズリ (内) ヘラケズリ
遺構外 3	蓋 弥生	抓み径 4.7 残高 3.2 底径 － 抓み部 2/3	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/3 にぶい黄橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙～10YR3/2 黒褐	天井部に1孔を穿つ	(外) ヘラミガキ (内) ヘラケズリ
遺構外 4	壺 弥生	口径(13.5) 残高 6.0 底径 － 口縁部～胴部～底	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
遺構外 5	壺 土師	口径(20.0) 残高 2.6 底径 － 口縁部一部	胎；粗砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3 にぶい褐 (内) 7.5YR6/3 にぶい褐	口唇部に面取りを施す	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
遺構外 6	壺 土師	口径 － 残高 7.1 底径 － 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR3/2 暗赤褐	丸みのある胴部	(外) 刷毛調整 (内) ナデ
遺構外 7	壺 土師	口径(20.2) 残高 1.9 底径 － 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙～7.5YR5/2 灰褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部の先端を抓み上げて作る	(外) ナデ（ヨコ） (内) ナデ（ヨコ）
遺構外 8	器台 土師	口径(11.2) 残高 2.5 裾径 － 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4 にぶい橙 (内) 5YR7/4 にぶい橙	口唇部に面取りを施す 口縁部の先端を抓み上げて作る	(外) ヘラミガキ (内) ヘラミガキ
遺構外 9	壺 弥生	口径 － 残高 6.5 底径 － 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	段を有する	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
遺構外 10	台付 甕 弥生	口径(14.0) 残高 5.2 底径 － 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6 赤褐 (内) 2.5YR4/6 赤褐	S字状口縁	(外) 刷毛調整 (内) ヘラミガキ
遺構外 11	甕 弥生	口径 11.2 器高 7.8 底径 5.4 口縁2/3～底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/6 にぶい橙	底部に1孔を穿つ 胴部は直線的に開き、口縁部の先端で僅かに内側に折れる	(外) 刷毛調整の後ヘラミガキ (内) 刷毛調整の後ヘラミガキ
遺構外 12	甕 弥生	口径 14.8 残高 11.7 底径 － 口縁～胴部～底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6 褐 (内) 7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部は緩やかに外反する 胴部最大径は口径より大きい	(外) 波状文を上から下へ施す (内) ヘラミガキ（ヨコ）
遺構外 13	甕 弥生	口径(10.8) 残高 9.0 底径 － 口縁～胴部～底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6 明褐 (内) 7.5YR6/6 橙	胴部最大径は口径より大きい	(外) 波状文、簾状文を施す (内) ヘラミガキ
遺構外 14	壺 弥生	口径 － 残高 8.7 底径 6.8 胴部～底	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6 赤 (内) 10R5/6 赤	平底より立ち上がり、胴部下位で直線的に開く	(外) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 赤色塗彩
遺構外 15	壺 弥生	口径 － 残高 1.0 底径 － 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6 明赤褐 (内) 5YR5/6 明赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) 波状文を施す 口唇部にボタン状貼付文を施す (内)
遺構外 16	高坏 弥生	口径(14.0) 残高 14.1 裾径 － 口縁1/4～脚	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8 赤 (内) 10R4/8 赤～5YR5/6 明赤褐	坏部は直線的に開き、傾きは小さい	(外) 刷ﾍﾗﾐｶﾞｷ(ﾖｺ) 脚ﾍﾗﾐｶﾞｷ(ﾀﾃ) 赤色塗彩 (内) ヘラミガキ（ヨコ） 坏部赤色塗彩

第 40 表　遺物観察表(38)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量 残存	器質	成形・形態ほか	整形ほか
遺構外 17	高坏 土師	口径 － 残高 9.4 脚径 12.4 脚部-脚	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	脚部に透かしを3孔有する	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) 脚部刷毛調整
遺構外 18	鉢 土師	口径 11.2 器高 5.7 底径 2.4 口縁部-脚1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6 明赤褐 (内) 2.5YR5/6 明赤褐	底部は上げ底状を呈す 丸みのある体部より緩い稜を経て、小さく外反する口縁部に至る	(外) ヘラミガキ (タテ) (内) ヘラミガキ (ヨコ)
遺構外 19	玩具 鞴羽	残高 2.7 一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6 橙 (内) 5YR6/6 橙	型出し 鬼の面が表現されていると思われる	(外) (内)

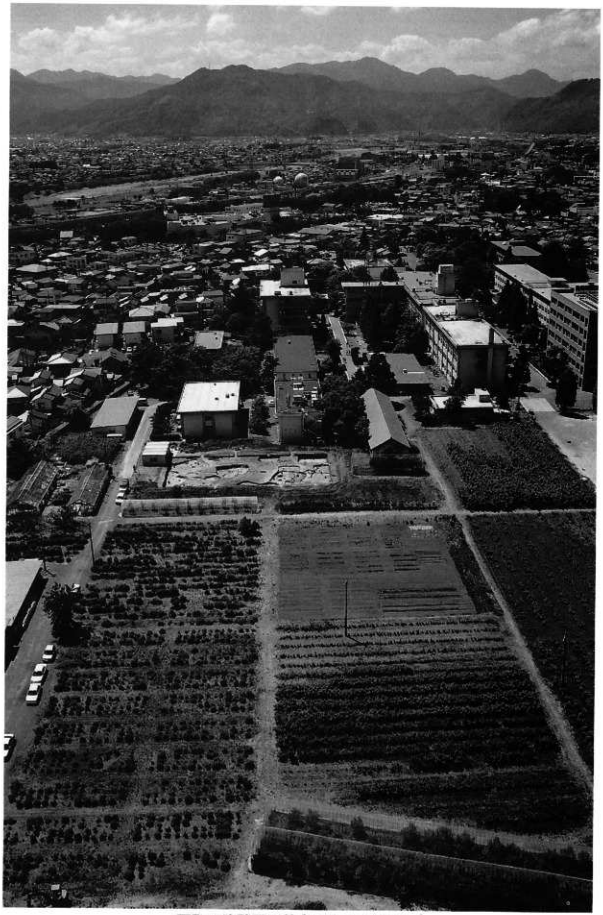
第 41 表　遺物観察表 (39)

写真番号	遺構番号	器種	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重さ g	材質	備考
1	SB－23	石鏃	2.5	1.3	0.7	2.1	黒曜石	
2	SB－23	石鏃	(1.7)	1.3	0.4	0.9	黒曜石	
3	SB－16	石包丁	(7.0)	4.0	0.4	20.5	頁岩	
4	SB－32	石戈	(4.7)	3.2	0.5	13.4	頁岩	
5	SB－40	打製石斧	12.2	5.2	1.8	114.9	頁岩	
6	SB－26	打製石斧	(5.0)	3.7	1.1	29.3	砂質泥岩	
7	SB－30	砥石	16.3	5.8	5.6	662.0	砂岩	
8	遺構外	砥石	10.2	3.8	1.5	103.4	シルト岩	S52E59
9	遺構外	磨石	9.5	8.7	2.8	403.0	石英ひん岩	S61E52
10	遺構外	破片	6.0	4.4	1.3	36.6	石英	
11	SB－22	破片	3.5	3.0	2.0	35.0	石英	
12	遺構外	破片	4.3	1.3	1.0	6.5	石英	S52E57
13	トレンチ3	磨石	18.5	6.8	5.5	1056.0	安山岩	
14	SB－31	敲石	14.7	4.5	3.0	421.0	石英ひん岩	
15	SB－25	蓋	6.5	4.5	2.0	77.8	安山岩	
16	遺構外	磨石	5.2	4.3	2.5	81.7	安山岩	S59E55
17	トレンチ3	くぼみ石	9.8	8.1	4.0	396.0	安山岩	
18	SB－33	不明	(9.6)	(7.7)	5.2	470.0	頁岩	
19	SB－25	磨石	9.5	6.0	3.2	240.0	ひん岩	
20	SB－23	磨石	(11.3)	8.0	3.2	352.0	石英斑岩	
21	SB－24	磨石	7.8	7.0	5.0	324.0	安山岩	
22	SB－23	敲石	9.3	2.7	2.7	133.0	安山岩	
23	SB－22	磨石	(11.0)	7.5	3.6	439.0	安山岩	
24	SB－17	磨石	11.0	6.8	4.4	520.0	安山岩	
25	SB－17	磨石	6.6	4.7	2.7	119.6	安山岩	

第 42 表　遺物観察表（石器等）

写　真　図　版

PL 1



下町田遺跡周辺航空写真（上が西）